

広島県のがん登録

(平成22年集計)



平成25年5月

広 島 県
社 団 法 人 広 島 県 医 師 会
公 益 財 団 法 人 放 射 線 影 響 研 究 所

ごあいさつ

がんは、昭和54年（1979）以降30年以上連續して本県の死亡原因の第1位という状況が続いており、今もなお、高齢化の進展等を背景に、がんによる死亡者数は増加しています。

このような状況の中、県内のがん発生状況やその特性を把握し、予防活動の有効性及び医療水準の評価等を行うことにより、効果的ながん対策の推進を図るため、県では、平成14年（2002）10月から「広島県地域がん登録事業」を社団法人広島県医師会と公益財団法人放射線影響研究所の協力のもと実施して参りました。

この間、両法人や県内医療機関の皆様の多大な御尽力により、本県のがん登録件数は増加し、精度も著しく向上しており、がん対策に欠くことのできない基礎資料として、今後より一層、その役割を増していくものと考えます。

特に、平成24年（2012）1月に開始された、住民基本台帳ネットワークを活用した生存確認調査により、初めて5年生存率（平成18年（2006）診断）が御報告できることとなりました。

また、本年度に策定した「広島県がん対策推進計画（第2次）」においても、取組の柱の一つとして「がん登録」の推進を掲げ、がん登録の精度向上はもとより、登録データの積極的な活用とともに、県民の皆様への情報提供の充実を図ることとしております。

県としましては、今後とも、地域がん登録の普及啓発に努めますとともに、がん登録で得られる貴重な情報をがん対策の企画・評価に有効に活用し、「がん対策日本一」の実現に向けた取組を進めて参ります。

終わりに、報告書の発行にあたり御尽力をいただいた皆様に心より感謝申し上げますとともに、医療関係者や行政関係者の皆様には、十分に御活用いただき、それぞれのお立場からがん対策に取り組んでいただきますようお願い申し上げます。

平成25年（2013）5月

広島県知事 湯崎 英彦

「広島県のがん登録（平成22年集計）」に寄せて

この度、「広島県のがん登録（平成22年（2010）集計）」を発刊することができました。この場を借りて、関係者の皆様方に深く感謝申し上げます。しかもこれまでの報告書が、遡ること4年前のがん診断分をまとめた報告書であったのに対して、3年前のがん診断分をまとめることができたという意味で、報告書作成までの期間を短縮することができたことになります。登録精度に於いて全国でもトップレベルを誇る広島県のがん登録ですが、さらに即時性も高めることができたと考えております。広島県におけるがん対策に使われるデータがより最新に近いものとなり、実情に合ったがん対策の立案に役立つことでしょう。報告書の作成に携わっていただいた関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

さて、本報告書では初めて5年相対生存率の成績を表とともに掲載しました。平成16年（2004）診断のがん資料から得られた5年相対生存率は全部位で66.6%でありました。それぞれの部位別・進行度別の相対生存率も合わせて掲載しておりますのでご覧ください。

平成22年（2010）集計においても登録精度の高さは維持されています。DCN割合は平成21年（2009）集計の8.1%から7.2%、DCO割合は5.0%から4.8%へと向上しております。遡り調査の90%を越える回収率を実現できていることがそこに反映されていることは間違ひありません。DCN割合、DCO割合の向上は日々の登録業務にあたっていただいている医療機関の皆様のご理解とご協力の賜であります。皆様方に深く感謝申し上げます。

これまで、広島県のがん登録は広島市地域がん登録、広島県腫瘍登録とデータを相互利用しながら量的、質的にも全国トップレベルのがん登録に育っていました。そして、この度の報告書の発行で即時性と予後についての解析という内容の充実が進みました。今後は、このがん登録データをどのように活用していくかが鍵になると考えます。

広島県医師会では、今後ともがん登録事業の一層の推進とともに、啓発活動を行い、広島県民のためのがん対策に寄与してまいりたいと考えております。関係者の皆様方の更なるご支援ご協力のほど、何とぞよろしくお願ひ申し上げます。

平成25年（2013）5月

広島県医師会長 平松 恵一

「広島県のがん登録（平成22年集計）」に寄せて

平成22年（2010）年集計報告書である本書を、平成21年（2009）集計報告書とほぼ同時に発行することができ、がんの診断から地域がん登録報告書発行までの期間を1年縮めて2年半とすることができました。この10年を目途として進められてきた地域がん登録標準化事業において、診断から報告書発行までの期間（即時性）を3年以内にするという目標を、標準化に着手して9年目に達成することができました。従来から広島県地域がん登録は良好な量的および質的精度を維持してきましたが、これにより即時性も高めることができました。ご協力くださいました医療機関の皆様、本事業を共同で遂行してくださっている広島県医師会地域がん登録室の皆様に感謝申し上げます。特に、広島県地域がん登録を病理診断の面からご支援くださっている広島県腫瘍登録事業では、病理検査依頼箋報告書や標本の提出、診断のコード化作業などを速めてくださり、この目標達成に大きな寄与をされました。関係の病理医の先生方、各施設病理部の皆様に感謝申し上げます。

本報告書では、新たに5年相対生存率の結果を掲載することができました。これにより、がんの実態把握に必須である罹患、死亡、および予後に関する統計指標が揃うこととなりました。今後の広島県のがん対策に活用されることを願っております。また、医療機関の皆様にも、これらの予後情報を治療評価や研究活動に大いにご活用いただければと願っております。

本事業を受託して参りました当研究所といたしましては、本事業をはじめ、広島市地域がん登録事業、広島県腫瘍登録事業を通して、広島県におけるがん対策の推進に微力ながら貢献できればと考えております。また、がん登録資料を利用して放射線被曝とがん罹患の関連やがん罹患に関与するさまざまな因子を明らかにするという当研究所の使命にも邁進する所存です。

今後とも皆様のご協力、ご理解のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

平成25年（2013）5月

放射線影響研究所理事長 大久保 利晃

目 次

I 「広島県地域がん登録」事業の今後の課題	1
II 広島県地域がん登録の概要	2
1. 目的	2
2. 経緯	2
3. 方法	2
(1) 資料の収集方法	2
(2) 登録対象	3
(3) 登録作業	3
(4) 集約作業	4
(5) 生存確認調査	5
(6) 相対生存率算出方法	5
(7) 人口統計	5
(8) データのバックアップ	6
4. 用語の説明	6
III 平成22年（2010）の結果	10
1. がん死亡	10
(1) 部位別がん死亡数	10
(2) 全国との比較	11
(3) 二次保健医療圏別の標準化死亡比	12
2. がん罹患	13
(1) 登録精度（上皮内がんを除く）	13
(2) 部位別がん罹患数および罹患割合	15
(3) 年齢階級別がん罹患率	17
(4) 発見経緯	22
(5) 臨床進行度	23
(6) 受療割合	24
(7) 二次保健医療圏別の登録精度（上皮内がんを除く）	25
(8) 二次保健医療圏別の標準化罹患比（上皮内がんを除く）	26
3. 5年相対生存率（2006年診断）	27
4. 罹患（罹患数、年齢調整罹患率）と死亡（死亡数、年齢調整死亡率）の年次推移 （2003年～2010年）	29
5. 登録精度指標の推移	31
IV おわりに	32
V 付表	
表1-A 罹患数、罹患割合（%）、粗罹患率、年齢調整罹患率（人口10万対） 及び累積罹患率（人口100対）；部位別、性別 上皮内がんを除く	33
表1-B 罹患数、罹患割合（%）、粗罹患率、年齢調整罹患率（人口10万対） 及び累積罹患率（人口100対）；部位別、性別 上皮内がんを含む	34
表2-A 年齢階級別罹患数、罹患割合（%）；部位別、性別 上皮内がんを除く	35
表2-B 年齢階級別罹患数、罹患割合（%）；部位別、性別 上皮内がんを含む	36
表3-A 年齢階級別罹患率（人口10万対）；部位別、性別 上皮内がんを除く	37
表3-B 年齢階級別罹患率（人口10万対）；部位別、性別 上皮内がんを含む	38
表4-A 発見経緯（%）；部位別 上皮内がんを除く	39
表4-B 発見経緯（%）；部位別 上皮内がんを含む	40
表5-A 臨床進行度分布（%）；部位別 上皮内がんを除く	41
表5-B 臨床進行度分布（%）；部位別 上皮内がんを含む	42
表6-A 受療割合（%）；部位別 上皮内がんを除く	43

表6－B	受療割合(%)；部位別 上皮内がんを含む	44
表7－A	切除内容(%)；部位別 上皮内がんを除く	45
表7－B	切除内容(%)；部位別 上皮内がんを含む	46
表8－A	精度指標；部位別、性別 上皮内がんを除く	47
表8－A'	精度指標；部位別、性別 上皮内がんを除く	48
表8－B	精度指標；部位別、性別 上皮内がんを含む	49
表8－B'	精度指標；部位別、性別 上皮内がんを含む	49
表9	死亡数、死亡割合(%)、粗死亡率、年齢調整死亡率(人口10万対) 及び累積死亡率(人口100対)；部位別、性別	50
表10	年齢階級別死亡数、死亡割合(%)；部位別、性別	51
表11	年齢階級別死亡率(人口10万対)；部位別、性別	52
表12－A	5年相対生存率(%) 部位別、性別	53
表12－B	5年相対生存率(%) 主要部位別、性別、臨床進行度別	54
付表1	がん罹患数及び罹患率；詳細部位別、性別	55
付表2	がん死亡数及び死亡率；詳細部位別、性別	57
付表3－A	受療割合詳細(%)；部位別 上皮内がんを除く	59
付表3－B	受療割合詳細(%)；部位別 上皮内がんを含む	60
付表4－A	医療圈別、保健所別罹患数；部位別、性別 上皮内がんを除く	61
付表4－B	医療圏別、保健所別罹患数；部位別、性別 上皮内がんを含む	61
付表4－C 1	標準化死亡比(全国との比較)；部位別、性別	62
付表4－C 2	二次保健医療圏別標準化死亡比(広島県との比較)；部位別、性別	62
付表4－D	二次保健医療圏別標準化罹患比(広島県との比較)；部位別、性別	63
付表5－A	市区町村別罹患数；部位別、性別 上皮内がんを除く	64
付表5－B	市区町村別罹患数；部位別、性別 上皮内がんを含む	65
付表6－1	広島県地域がん登録における罹患数に対する資料源ごとの数(詳細)	66
付表6－2	広島県地域がん登録における罹患数に対する資料源ごとの割合(%) (詳細)	66
付表6－3	広島県地域がん登録における罹患数に対する資料源の数	66
付表6－4	広島県地域がん登録における罹患数に対する資料源の割合(%)	66
付表7－1	罹患数の年次推移	67
付表7－2	年齢調整罹患率の年次推移	67
付表7－3	死亡数の年次推移	67
付表7－4	年齢調整死亡率の年次推移	67

VI 参考資料

1. 二次保健医療圏	69
2. 広島県地域がん登録届出票	70
(1) 届出票(平成18年まで)	70
(2) 届出票 改訂版(平成19年から)	71
(3) 届出票と届出票の書き方 第3版(平成22年1月から)	72
3. 広島県地域がん登録届出票(平成18年まで)項目と地域がん登録標準登録票項目の対応表	79
4. 広島県腫瘍登録データと地域がん登録標準登録票項目の対応表	84
5. 広島県地域がん登録・広島県腫瘍登録届出施設	86
6. 地域がん登録届出件数の年ごとの動き	88
7. 広島県・広島市地域がん登録資料の相互利用に関する協定書	89
8. 広島県がん対策推進協議会がん登録推進部会委員名簿	91
9. 広島県医師会 地域がん登録運営委員会委員名簿	92
広島県地域がん登録システム推進事業実施要領	93
広島県地域がん登録システム推進事業資料利用審査委員会設置要領	96
広島県地域がん登録資料の利用手続要項	98

I 「広島県地域がん登録」事業の今後の課題

今回で8回目の「広島県がん登録」報告書を刊行することができました。初年度の平成14年（2002）には235件のがん届出がありましたが、平成24年（2012）には28,736件の届出となり、各医療機関のご協力が強力に印象付けられます。今年度の報告書は昨年の報告時より、より高いがん患者把握率、より高い精度を持つ内容となっております。また、特筆すべき点が2つあります。一つは2006年診断患者の98%の症例について5年生存の有無、すなわち、5年生存率の算定をがんの部位別に行なったことです。2つ目はup dateな集計・解析作業が行われたということです。通常の全国人口統計にしても最低2年遅れの公表がなされておりますが、今回の広島県地域がん登録集計は平成22年（2010）に診断された23,028症例についての集計・解析であり、時差の少ない情報を提供できる環境作りができたことです。

さて、今後の課題として幾つかの点を指摘したいと思います。一つは今年内に国会へ提出予定の「がん登録等の推進に関する法律」の効果です。すべての病院に義務付けられるがん登録は、これまでに大きな壁であった県境を跨いだ患者の動き、他県へ移動したがん患者の生存追跡、同一人物・同一がんの徹底などの問題が解消され、より広範囲で、より精度の高い5年生存率の把握、ひいては国民・県民への正確な情報提供へと向かうと思われます。広島県がん条例の成立を待つ声がありますが、まず、この法律の効果を見たあとでの議論となると思います。2つ目はそれぞれの病院における得手・不得手が明確になってくることです。各医療圏内にあるがん拠点病院の、その地域住民との結びつきの強さが数値として出てきます。また、拠点病院外での病院において、特定がん患者が集中するという、その病院の得手ながんが明確になりつつあります。病院とくに拠点病院における得手・不得手の課題はがん治療の均てん化という観点から、今後、深い議論が必要になってくると思います。3つ目は広島県内病院で五大がんに関して、検診、精査、治療、フォローアップを分担する、広島県特有の「がん医療ネットワーク」が形成され、途切れの無いがん患者への対応を行っておりますが、その精度、成果に関しての評価の検討がなされておりません。がん治療の均てん化という視点から解析の可能性を議論しなければならないでしょう。4つ目は、届出提供病院、がんサポート・ドクター（がんよろず相談医）、緩和ケア医などへの得られた資料の還元です。届出票提供病院は、5年目における患者の生死が判明しておりますので、是非とも利用して頂きたいと思います。がんよろず相談医や緩和ケア医へのがん資料の提供は、その方法論から議論しなければならないと思います。以上は対応が急がれる課題の一部です。

収穫期となった「広島県地域がん登録」事業からさまざまなデータが出て参ります。その結果が広島県の施策として有効活用されるとともに、県民にとって正確で、必要な、そして分かり易い情報として提供されねばなりません。広島県内医療機関のさらなるご協力をお願い致します。

平成25年（2013）5月

広島県がん対策推進協議会

前がん登録推進部会長 鎌田 七男

II 広島県地域がん登録の概要

1. 目的

広島県地域がん登録とは、広島県民に発生したがんの診断から治癒、または死亡にいたるまでの情報を多方面から収集し、個々の患者ごと、さらに個々のがんごとに集約する仕組みのことである。これらの情報を使用して、がん予防の推進、がん医療の向上を図り、県民の健康に役立てる目的としている。

2. 経緯

- 広島県地域がん登録のこれまでの経緯を示す。
- 平成14年（2002）10月 広島県地域がん登録システム推進事業を開始
 - 平成17年（2005）4月 広島県腫瘍登録（いわゆる病理登録）と一体化。病理診断に基づく詳細ながん情報の収集を開始
 - 平成19年（2007）1月 第3次対がん総合戦略研究事業「がん罹患・死亡動向の実態把握の研究」班（以下、祖父江班という）が推奨する標準登録票項目を採用し、届出票を改訂（第2版）
祖父江班が提供する標準データベースシステム（DBS）導入
(注：標準DBSは平成23年（2011）に祖父江班から独立行政法人国立がん研究センターに譲渡された)
 - 平成20年（2008）7月 遷り調査開始
祖父江班の全国がん罹患モニタリング集計に参加を開始
 - 平成21年（2009）8月 広島市地域がん登録・広島県地域がん登録の資料相互利用の協定書を締結。
広島市で収集された情報と相互利用することで、より精度の高いがん統計を整備することを目指す
 - 平成22年（2010）1月 標準登録票項目の改訂に伴い、届出票を改訂（第3版）
 - 平成24年（2012）1月 住基ネットによる診断から5年後の生存確認調査開始（2006年診断～）

3. 方法

（1）資料の収集方法

1) 広島県地域がん登録（臨床登録）

①広島県地域がん登録届出票

広島県内の医療機関から、広島県地域がん登録届出票に一人の患者の原発部位ごとにがんの情報を記載して届け出る、届出方式である。医療機関からの届出は、初回治療時の退院時および死亡退院時であり、広島県医師会へ追跡可能なゆうパックで郵送される。

②人口動態調査死亡票

人口動態調査において作成された人口動態調査死亡票（以下、死亡票という）について目的外利用の許可を得て、広島県内で作成された転写書類を入手している。

2) 広島県腫瘍登録（病理登録）

広島県内の医療機関および検査センターから、診断した腫瘍について、病理診断依頼箋および病理診断報告書の写と悪性についてはそれを代表する組織プレパラートを広島県医師会に届け出る、届出方式である。これらの腫瘍情報は広島県腫瘍登録実務委員会のメンバーである病理医が国際疾病分類－腫瘍学第3版（以下、ICD-O-3という）により、腫瘍の部位と組織診断をコード化する。さらに腫瘍の病期、原発巣、標本の採取方法（手術あるいは生検）の情報についてもコード化を行う。コード化する際には、必要に応じて病理医がプレパラートを鏡検して組織診断を確認している。これらの情報は、広島県医師会にて入力され、（公財）放射線影響研究所内のデータベースに保管される。その後、1年に1度、約1年分のデータを広島県地域がん登録データベースへ移送されている。

3) 広島市地域がん登録

広島市地域がん登録では、広島市内とその周辺の医療機関の協力を得て、委託先である（公財）放射線影響研究所の職員が医療記録からがんの診療記録を原発部位ごとに採録している。これらの情報はデータベースに登録され、広島県地域がん登録データと相互利用されている。

（2）登録対象

1) 広島県地域がん登録（臨床登録）

①広島県地域がん登録届出票

診断時住所が広島県内で、上皮内がんを含む悪性腫瘍（ICD-O-3の性状2または3）、および中枢神経系腫瘍（脳・脊髄・髄膜）は良性・悪性にかかわらず登録対象としている。

②人口動態調査死亡票（死亡票）

死亡票において腫瘍と記載があるもの（ICD-O-3の性状1）、上皮内がんを含む悪性腫瘍（ICD-O-3の性状2または3）、および中枢神経系腫瘍（脳・脊髄・髄膜）は良性・悪性にかかわらず登録対象としている。

2) 広島県腫瘍登録（病理登録）

広島県腫瘍登録で収集した情報のうち、上記広島市地域がん登録の登録対象となるものを対象としている。

3) 広島市地域がん登録

広島市地域がん登録の登録対象は、診断時住所が広島市内で、その他の登録要件は広島県地域がん登録の登録対象と同様である。

（3）登録作業

医療機関から提出された届出票について、がんの原発部位および病理診断情報をICD-O-3でコード化し、標準DBSを用いて入力作業を行う。

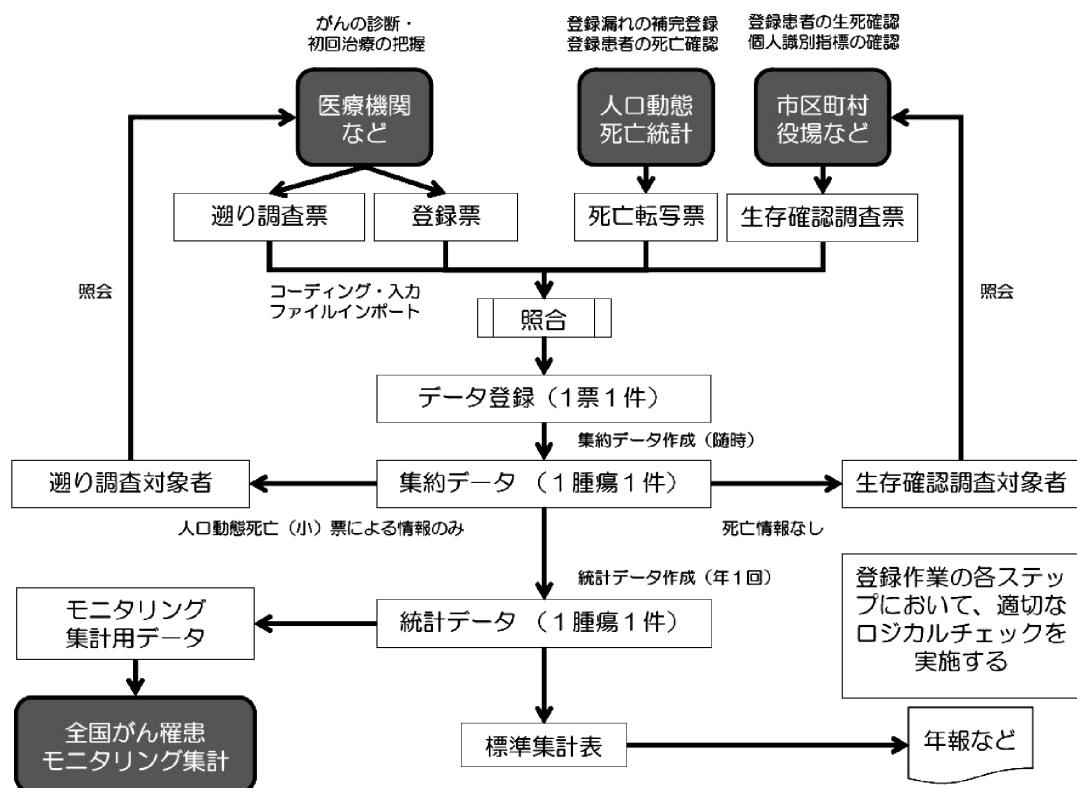
(4) 集約作業

平成22年（2010）のがん罹患統計では、以下の資料のうちICD-O-3において性状コードが2（上皮内がん）または3（悪性）のものについて、標準DBSに基づいて集約作業を行った（図A）。

- ・広島県地域がん登録届出票（診断年月日が平成22年（2010）以前のもの）
- ・人口動態調査死亡票（死亡年月日が平成22年（2010）以前のもの）

まず、以前に登録されたことがある患者かどうかの照合を行った（個人同定）。その後、原発部位について、1腫瘍1件の情報として集約した。多重がんの判定についてはIARCの多重がんの判定基準に基づき判定を行った。そして、はじめて死亡票でがん情報が登録されたものについて、原発部位、病期、治療方法などの情報を詳しく得るために、遡り調査を実施した。その上で、上記資料と、下記資料について再度集約作業を行った。

- ・広島県腫瘍登録用病理診断報告書写（標本採取年月日が平成22年（2010）以前のもの）
- ・遡り調査票（死亡年が平成22年（2010）のもの）



図A 広島県地域がん登録における登録作業の流れ
(地域がん登録の手引き 改訂第5版より引用)

広島県地域がん登録届出票および広島県腫瘍登録用病理診断報告書写の件数は表Aの通りであった。これらの資料について、平成18年以前は広島県では独自の届出票で情報を収集していたので、祖父江班が提唱する地域がん登録の標準登録票項目へ変換し、集約、集計を行った（巻末参考資料4）。また、遡り調査については、平成22年（2010）は死亡情報で初めて診断された症例2,036件のうち、1,098件に対して遡り調査を実施し、回答数1,002件（回収率は91.3%）であった。

表A 広島県地域がん登録届出票および広島県腫瘍登録用病理診断報告書写における件数
(平成22年(2010))

平成 22 年	
広島県地域がん登録届出票	23,028
広島県腫瘍登録病理診断報告書写	30,231

(5) 生存確認調査

広島県地域がん登録では、以下の情報に基づき最終生存確認日を把握している。

- ・届出票に記載されている死亡日
- ・県内の全死亡票により把握された死亡日（2010年12月31日まで）
- ・住民基本台帳ネットワークシステムより把握された死亡日、転居日、診断から5年後の生存確認日のうちいちずれか早い方（2006年以降に新たに診断された患者）

(6) 相対生存率算出方法

1) 集計対象

2006年診断患者のうち、次の（ア）から（オ）を除くものを生存率の集計対象とした。

- (ア) 死亡情報のみで登録された患者(DCO症例)
- (イ) 悪性以外、大腸の粘膜がんを含む上皮内がん
- (ウ) 多重がんのあるケースでは第2がん以降のがん
- (エ) 年齢不詳および100歳以上の症例
- (オ) がん死亡情報からの遡り調査による症例(DCO症例を除くDCN症例)
なお、小児がんについては診断時年齢が0歳～14歳のものを対象とした。

2) 計算方法

- ①診断日を起点とした実測生存率をKaplan-Meier法を用いて算出する。
- ②対象とするがん患者と同じ性、年齢、出生年の一般集団の生存確率から計算した期待生存率で除して相対生存率を求める。
- ③期待生存率は、0.5歳分加算したコホート生存率表に基づき、EdereII法を用いて計算する。
このコホート生存率表は、国立がん研究センターがん対策情報センターがん統計研究部から毎年計算、提供されるものを用いた。

(7) 人口統計

罹患率集計には、国立がん研究センターがん対策情報センターがん情報統計部と国立社会保障・人口問題研究所人口動態研究部との共同開発により作成された平成22年(2010)都道府県別人口データを用いた。

また、医療圏別の標準化死亡比および標準化罹患比の算出には、平成22年(2010)国勢調査人口(総人口)を用いた。

表B 平成22年（2010）広島県および二次保健医療圏別の性別、年齢階級別人口

二次保健医療圏	合計	0~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70~74	75~79	80~84	85+
男性																			
広島県	1,380,671	63,594	65,936	68,756	70,741	72,186	79,389	91,421	109,741	92,817	84,610	83,580	95,952	115,359	91,046	70,405	57,109	39,951	28,078
広島	650,217	32,039	32,659	33,359	33,413	32,540	37,724	44,952	55,406	47,189	41,718	38,257	42,421	51,307	39,850	30,023	22,512	14,970	10,043
広島西	68,040	2,868	3,176	3,432	3,504	3,035	3,723	3,913	4,785	4,316	4,035	4,417	5,352	6,181	4,708	3,550	2,961	2,131	1,496
呉	128,704	4,886	5,187	5,929	5,914	6,566	7,069	7,815	9,338	7,895	7,317	7,312	8,716	11,680	10,135	8,044	6,776	4,629	3,351
広島中央	114,393	5,216	5,234	5,626	7,712	10,181	6,969	7,449	8,506	7,191	6,668	6,205	6,984	8,449	6,796	4,860	4,097	2,810	1,988
尾三	125,439	4,949	5,531	5,926	5,858	5,000	6,295	7,083	8,293	7,066	6,905	8,186	9,692	11,607	9,139	7,478	6,943	5,254	3,703
福山・府中	247,989	11,671	12,081	12,381	11,733	10,675	13,433	16,131	19,009	15,419	14,415	14,961	17,787	20,651	16,646	13,059	10,312	7,263	5,147
備北	45,889	1,930	2,032	2,064	2,017	1,687	2,004	2,465	2,851	2,434	2,368	3,071	3,690	4,111	2,861	2,731	2,949	2,452	2,002
女性																			
広島県	1,480,079	60,585	62,490	65,650	66,357	68,989	76,944	89,630	108,791	93,004	85,367	85,219	97,582	119,840	100,416	83,227	78,642	65,046	72,300
広島	699,049	30,672	31,148	31,889	31,854	34,299	39,406	46,457	56,749	47,801	42,067	39,459	43,717	53,840	44,222	34,619	30,444	24,255	26,974
広島西	74,824	2,646	2,973	3,250	3,500	3,460	3,852	4,013	5,013	4,487	4,331	4,937	5,592	6,427	4,955	4,245	3,986	3,354	3,602
呉	138,300	4,688	5,024	5,416	5,725	5,545	5,830	6,855	8,506	7,717	7,236	7,471	8,841	12,426	11,271	9,737	9,619	7,809	8,513
広島中央	112,834	4,977	4,969	5,354	6,113	6,968	5,830	6,764	7,894	6,871	6,512	6,303	6,982	8,749	6,982	5,541	5,327	4,519	5,573
尾三	137,821	4,745	5,080	5,601	5,645	5,123	5,710	6,593	8,313	7,237	7,399	8,120	9,787	11,769	10,221	9,157	9,580	8,313	8,894
福山・府中	266,281	11,095	11,452	12,102	11,224	10,513	13,422	15,827	19,087	16,092	14,915	15,492	18,524	21,566	18,224	15,030	13,864	11,374	12,739
備北	50,960	1,732	1,914	2,007	1,956	1,506	1,775	2,319	2,579	2,297	2,442	2,935	3,450	3,999	3,376	3,592	4,256	3,999	4,725

(8) データのバックアップ

広島県地域がん登録で収集された届出票および遡り調査票は、(公財) 放射線影響研究所内の資料庫内のキャビネットにて保管されている。その資料庫およびキャビネットは厳重に施錠されており、情報保護に努めている。また、標準データベースに入力された情報は、バックアップサーバーにて毎日バックアップをとっている。また災害時に備えて、月に1回サーバー情報のバックアップを暗号化して県庁に保管している。暗号化のパスワードは県医師会で保管している。

4. 用語の説明

1) 届出数

医療機関から提出された届出票の枚数（1届出1件）

2) 届出患者数

医療機関から届出された患者と人口動態調査死亡票から登録された人の数（1患者1件）

3) 罹患数

ある年における1月1日から12月31日の間に初めてがんと診断されたがんの数（1腫瘍1件）

4) がん死亡数

がんが原死因であるものの数を示す。原死因とは、人口動態調査死亡票における死因欄の記述から一定の規則に基づいて選択された死亡の原因のことである。厚生労働省において死因欄の複数の記述をコード化し、その中から一定の規則にしたがって原死因を選択している。広島県では人口動態統計の目的外利用許可を得て、厚生労働省でコード化された情報を電子媒体で入手している。

5) 粗罹患率（粗死亡率）

罹患数（死亡数）を同時期の観察人口で除したもの。通常は人口10万人対で表現される。

$$\text{粗罹患率（粗死亡率）} = \frac{\text{罹患数（死亡数）}}{\text{人口}} \times 100,000$$

6) 年齢調整罹患率（年齢調整死亡率）

異なる地域あるいは異なる時期の2つの集団について、がんの罹患率（あるいは死亡率）を比較する場合、2つの集団の年齢ごとの人口の割合が異なると単純に粗罹患率（あるいは粗死亡率）で比較することができない。そのため、観察集団の人口構成が基準集団の人口構成と等しいと仮定して、観察集団の年齢階級別罹患率を基準集団にあてはめて全年齢での罹患率（死亡率）、すなわち年齢調整罹患率（年齢調整死亡率）を計算する。通常は人口10万人対で表現する。

$$\frac{(\text{観察集団の年齢階級別罹患率(死亡率)} \times \text{標準人口のその年齢階級別人口}) \text{の年齢階級の総和}}{\text{標準人口の総和}} \times 100,000$$

昭和60年（1985）モデル人口は、わが国の昭和60年（1985）の国勢調査人口をベビーブームなどの極端な増減を補正し、四捨五入によって千人単位として作成した仮想の人口集団である。また、世界人口は「瀬木-Dollの世界人口」と呼ばれるもので、WHOにおいて各国の統計値を国際比較するために作成された仮想の人口集団である。

7) 累積罹患率（累積死亡率）

0歳からある年齢までの1歳年齢階級別罹患率（1歳年齢階級死亡率）の合計値である。累積罹患率（累積死亡率）が0.1（10%）以下である場合は、累積罹患リスク（累積死亡リスク）の近似値を考えることができる。ここで、累積罹患リスク（累積死亡リスク）とは100人中何人がその病気に罹患（死亡）するかという割合である。累積罹患率（累積死亡率）は、通常0-74歳がよく用いられ、小児がんの場合は0-14歳累積罹患率（累積死亡率）が用いられる。100対で表現する。0-74歳までの累積罹患率（累積死亡率）および累積罹患リスク（累積死亡リスク）の具体的な計算方法は以下である。

0-74歳の累積罹患率（100対）

$$= (0-4\text{歳の年齢階級別罹患率} \times 5\text{年} + \dots + 70-74\text{歳の年齢階級別罹患率} \times 5\text{年}) / 1000$$

(年齢階級別罹患率は人口10万対)

$$0-74\text{歳の累積罹患リスク} = 1 - \exp(-\text{累積罹患率})$$

8) 標準化罹患比（標準化死亡比）

標準化罹患比（死亡比）とは、観察集団の年齢階級別罹患率（死亡率）が基準集団の年齢階級別罹患率（死亡率）と等しいと仮定して、基準集団の年齢階級別罹患率（死亡率）を観察集団の人口構成にあてはめて、起きてくるであろう罹患数（死亡数）を計算する。この、「起きてくるであろう罹患数（死亡数）」を期待罹患数（死亡数）と呼び、各年齢階級の期待罹患数（死亡数）の和と、実際の罹患数（死亡数）の比をとって標準化罹患比（死亡比）とする。値が信頼区間の範囲を超えて、1を越えていれば基準集団よりも罹患率（死亡率）が高いことを表し、信頼区間の範囲を超えて、1より低いと基準集団よりも罹患率（死亡率）が低いことを表す。

$$\text{標準化罹患比(死亡比)} = \frac{\text{観察集団で発生した罹患数(死亡数)}}{\text{期待罹患数(死亡数)}}$$

9) DCN 割合、DCO 割合

DCN (death certificate notification) 割合とは、罹患数に対する死亡票で初めて登録されたがんの割合であり、DCO (death certification only) 割合とは、罹患数に対する死亡票のみで登録された数である。IM 比 (incidence/mortality ratio) とは、がんの罹患数と死亡数の比である。DCN 割合はがん登録の完全性の精度指標として用いられており、DCO 割合はがん登録の診断精度の指標として用いられている。

$$\text{DCN 割合} = \frac{\text{死亡票で初めて登録されたがんの数}}{\text{罹患数}} \times 100 \quad (\%)$$

$$\text{DCO 割合} = \frac{\text{死亡票のみで登録されたがんの数}}{\text{罹患数}} \times 100 \quad (\%)$$

$$\text{IM 比} = \frac{\text{がん罹患数 (I)}}{\text{がん死亡数 (M)}}$$

国立がん研究センターが提供する MCIJ2007 (Monitoring of Cancer Incidence in Japan)においては、DCN が30%未満またはDCO が25%未満、かつ IM 比が1.5以上を良好な精度としてあげられている。

10) HV 割合および MV 割合

HV (histologically verified cases) 割合は、罹患数に対する組織診の結果のあるがんの割合であり、MV (microscopically verified cases) 割合は、罹患数に対する組織診だけでなく細胞診も含め顕微鏡的に確かめられたがんの割合である。これらはがん登録データの診断精度の指標として用いられる。

$$\text{HV 割合} = \frac{\text{組織診断の結果のあるがんの数}}{\text{罹患数}} \times 100 \quad (\%)$$

$$\text{MV 割合} = \frac{\text{細胞診も含めた顕微鏡的に確かめられたがんの数}}{\text{罹患数}} \times 100 \quad (\%)$$

11) 遷り調査

死亡票で初めてがんが確認できた症例について、死亡診断をした医療機関に届出票の提出を依頼する調査。広島県地域がん登録では、死亡症例についてはおおよそ2年後に初めてその他のがん情報と集約され、初めてがんが確認された症例かどうかを判定している。また、その症例が腫瘍登録からの病理情報がある場合でも、がんの病巣の拡がりや発見経緯、治療方法等についても詳しく知るために、通り調査の対象としている。

12) 相対生存率

性別、年齢、診断年が異なる集団において、がん患者の予後を比較するために、がん患者について計測した生存率（実測生存率）を対象者と同じ性別、年齢をもつ日本人の期待生存率で除したものという。

$$\text{相対生存率} = \frac{\text{実測生存率}}{\text{期待生存率}}$$

13) 二次保健医療圏

医療法に基づき広島県が定めた圏域であり、広島、広島西、呉、広島中央、尾三、福山・府中、備北の7つに分けられる（巻末参考資料1）。

14) 国際疾病分類第10版（ICD-10）

ICD-10とは国際疾病分類（International Classification of Disease: ICD、日本名「疾病、傷害及び死因統計分類提要」）のことであり、本報告書中の部位名は、ICD-10の分類で示したものである。

15) 国際疾病分類－腫瘍学第3版（ICD-O-3）

国際疾病分類－腫瘍学（International Classification of Disease for Oncology）は、国際疾病分類を基にして、腫瘍の局在分類に組織型を示すための補助分類として作成されたものである。現在用いられている第3版は2000年に刊行されたものであり、腫瘍の局在と形態の両方に対しての分類とコード化が体系统づけられるようになっている。

III 平成22年（2010）の結果

1. がん死亡

(1) 部位別がん死亡数

平成22年（2010）のがん死亡数は8,070人（男性4,778人、女性3,292人）であった。部位別に死亡数をみると、男では肺がんが最も多く、次いで胃がん、肝および肝内胆管がんの順に多かった。女では肺がん、胃がん、肝および肝内胆管がんの順で多かった。（図1-1、表9参照）

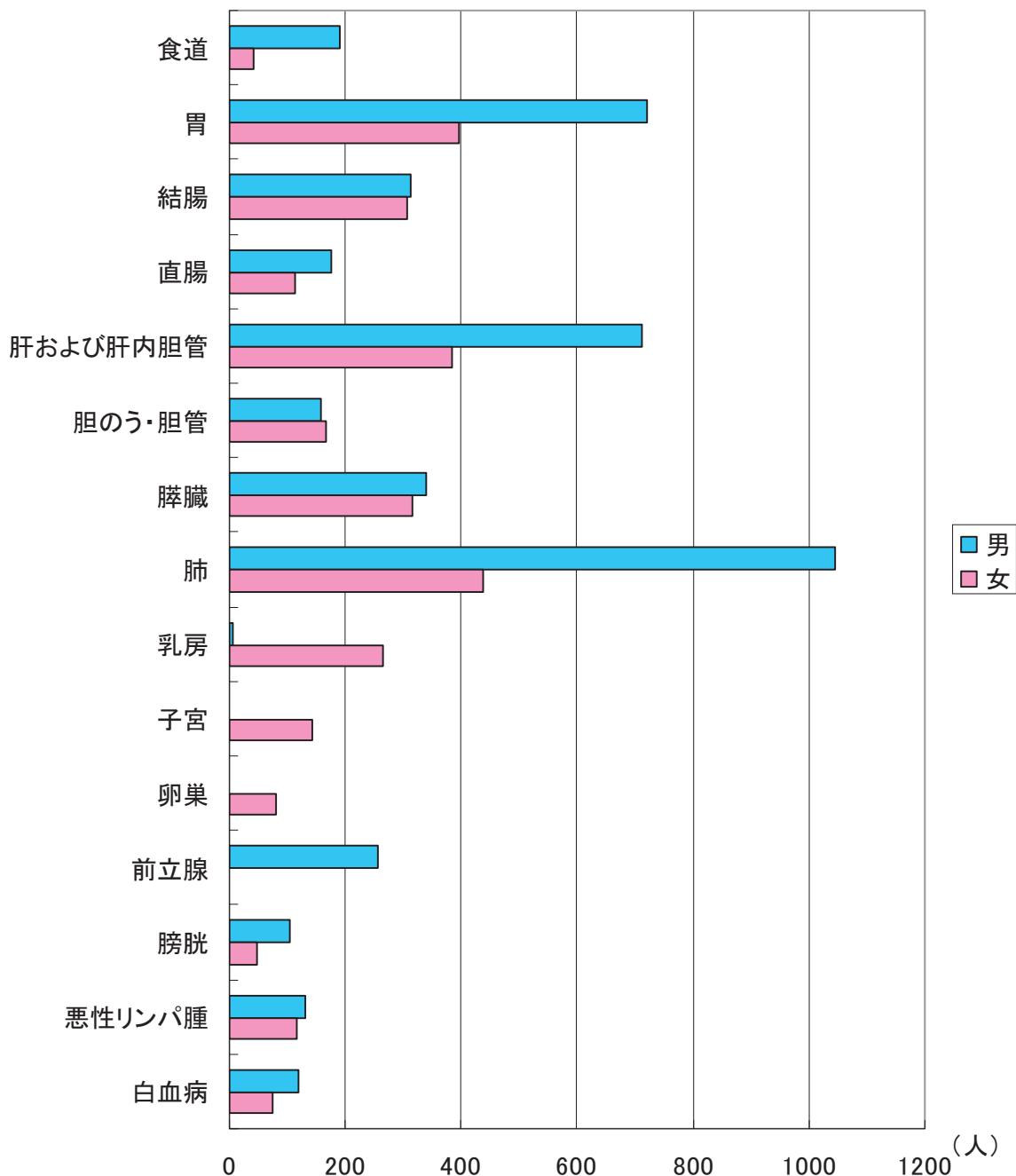


図1-1 部位別がん死亡数

(2) 全国との比較

全国を基準とする標準化死亡比は全部位で、男が0.98、女が0.98であった。部位別にみると、男では食道がん、直腸がん、胆のう・胆管がん、肺がん、女では結腸がん、胆のう・胆管がん、卵巣がんで有意に低かった。男女とも肝および肝内胆管がんの標準化死亡比が有意に高かった。(図1-2、付表4-C1参照)

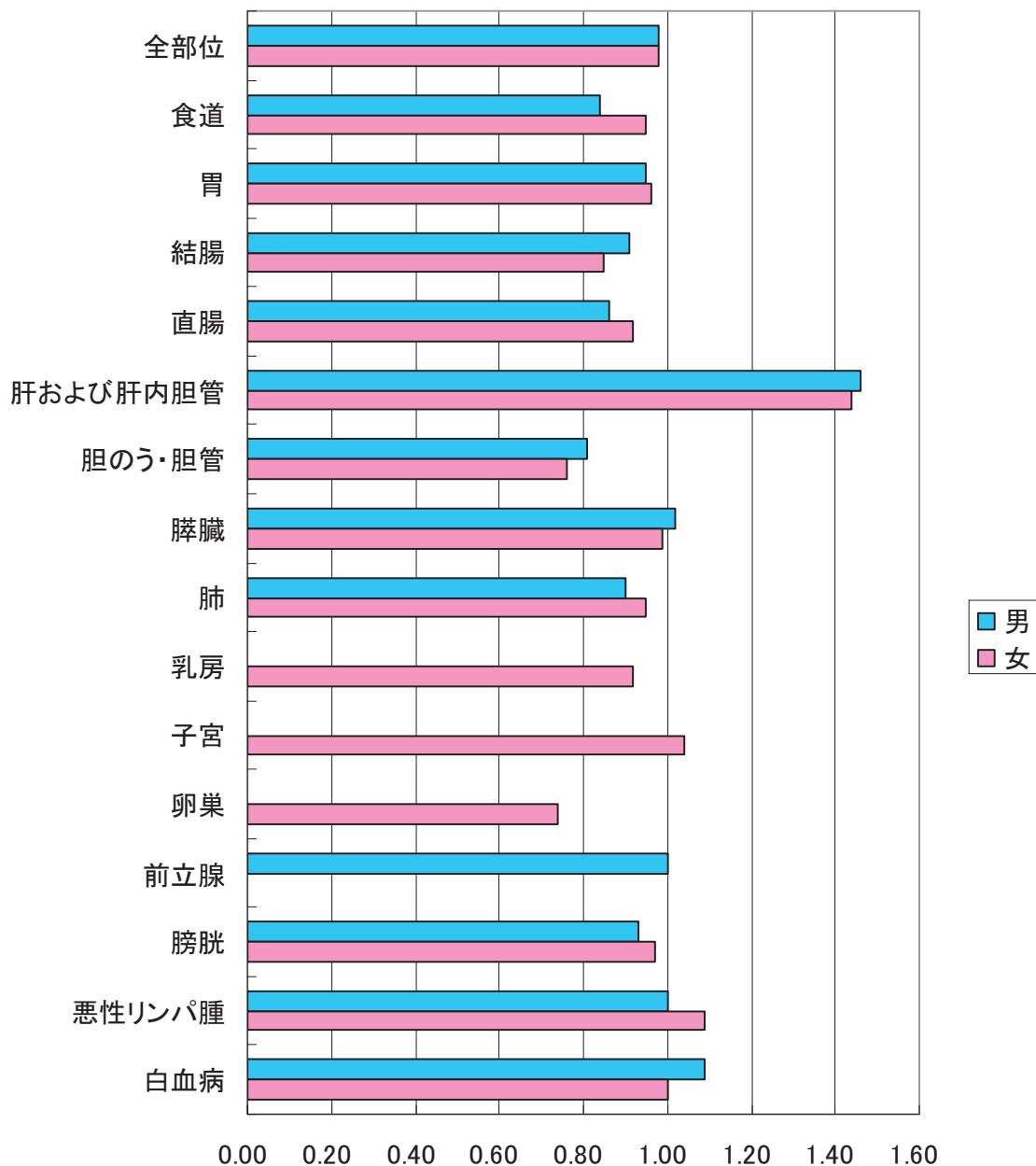


図1-2 部位別標準化死亡比（全国を基準）

(3) 二次保健医療圏別の標準化死亡比

広島県を基準として二次保健医療圏別の標準化死亡比を見ると、全部位については男では呉圏域が1.09、尾三圏域が1.08と若干高めであったが、その他の圏域で有意な差はなかった。また女では広島圏域が1.07と高く、備北が0.84と低かった※。(図1-3、付表4-C2参照)

*標準化死亡比は95%信頼区間が1を挟んでいる場合は、1と差がないとみなす。

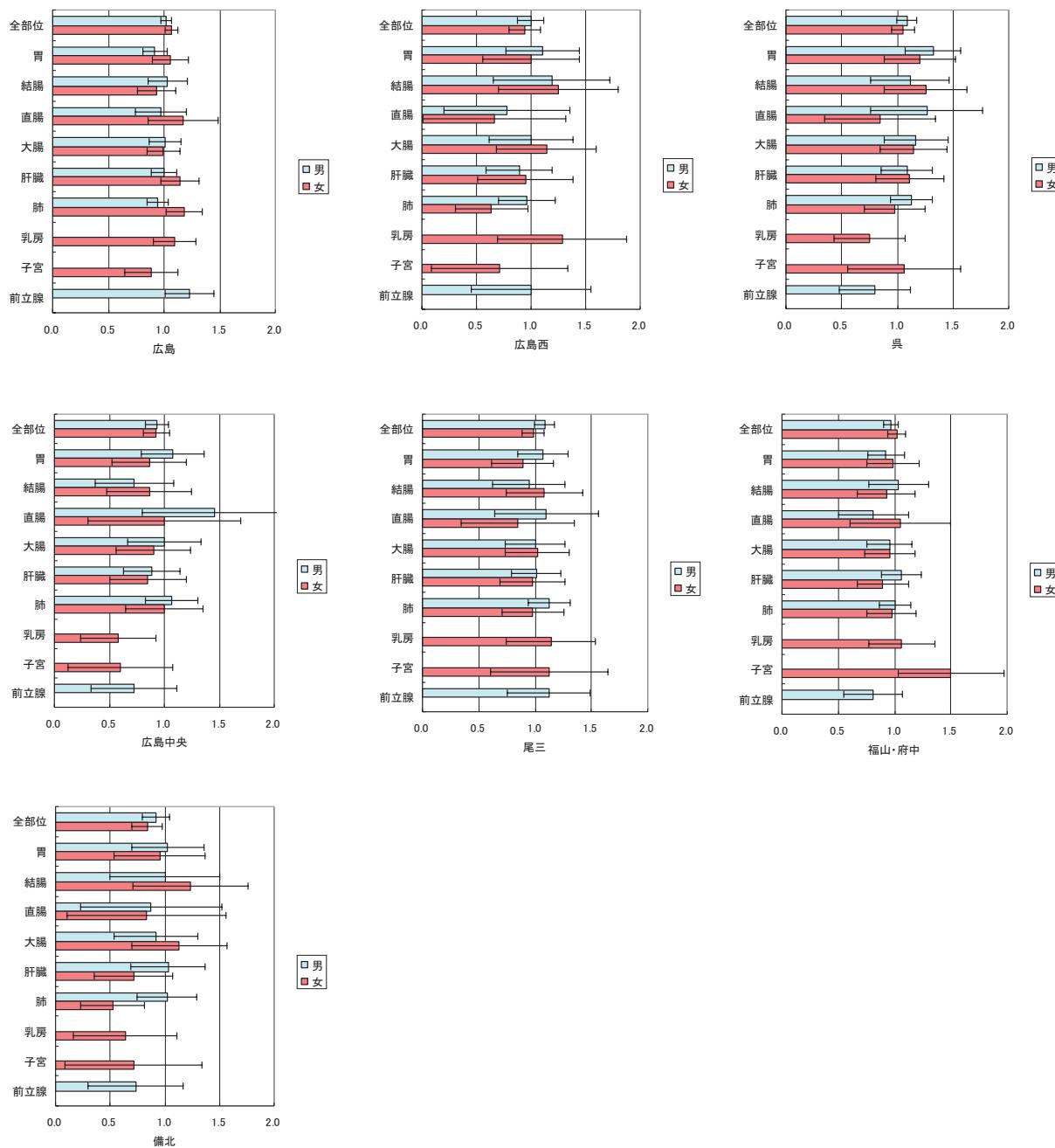


図1-3 二次保健医療圏別標準化死亡比（広島県を基準）

2. がん罹患

(1) 登録精度（上皮内がんを除く）

DCN 割合は全部位で7.2%（上皮内がんを含むと6.3%）であった。昨年度は8.1%（上皮内がんを含むと7.2%）であり、登録の完全性の精度がさらに向上している。部位別にみると、DCN 割合は、予後不良の部位において高く、多発性骨髄腫、胆のう・胆管がん、肝および肝内胆管がん、膵臓がんで15%を超えていた。DCO 割合は全部位で4.8%（上皮内がんを含むと4.3%）であった。（図2-1、表8-A、B参照）

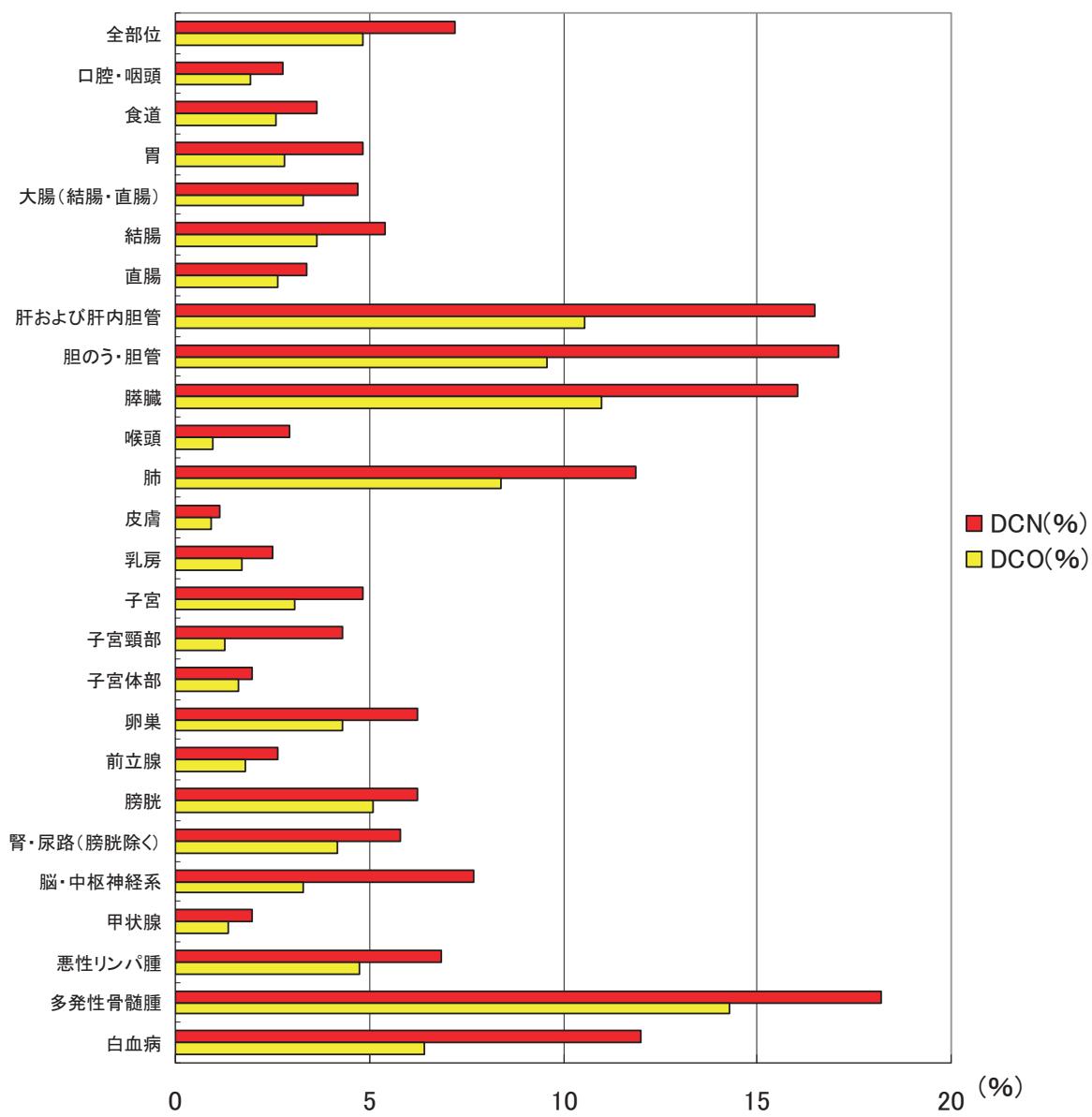


図2-1 部位別 DCN 割合・DCO 割合

IM 比は全部位で2.49(上皮内がんを含むと2.82) であった。昨年は2.52(上皮内がんを含むと2.86) であり、昨年より減少している。皮膚がん、甲状腺がん、前立腺がん、子宮体がんなど予後が良好な部位において IM 比が高かった。(図 2-2、表 8-A、B 参照)

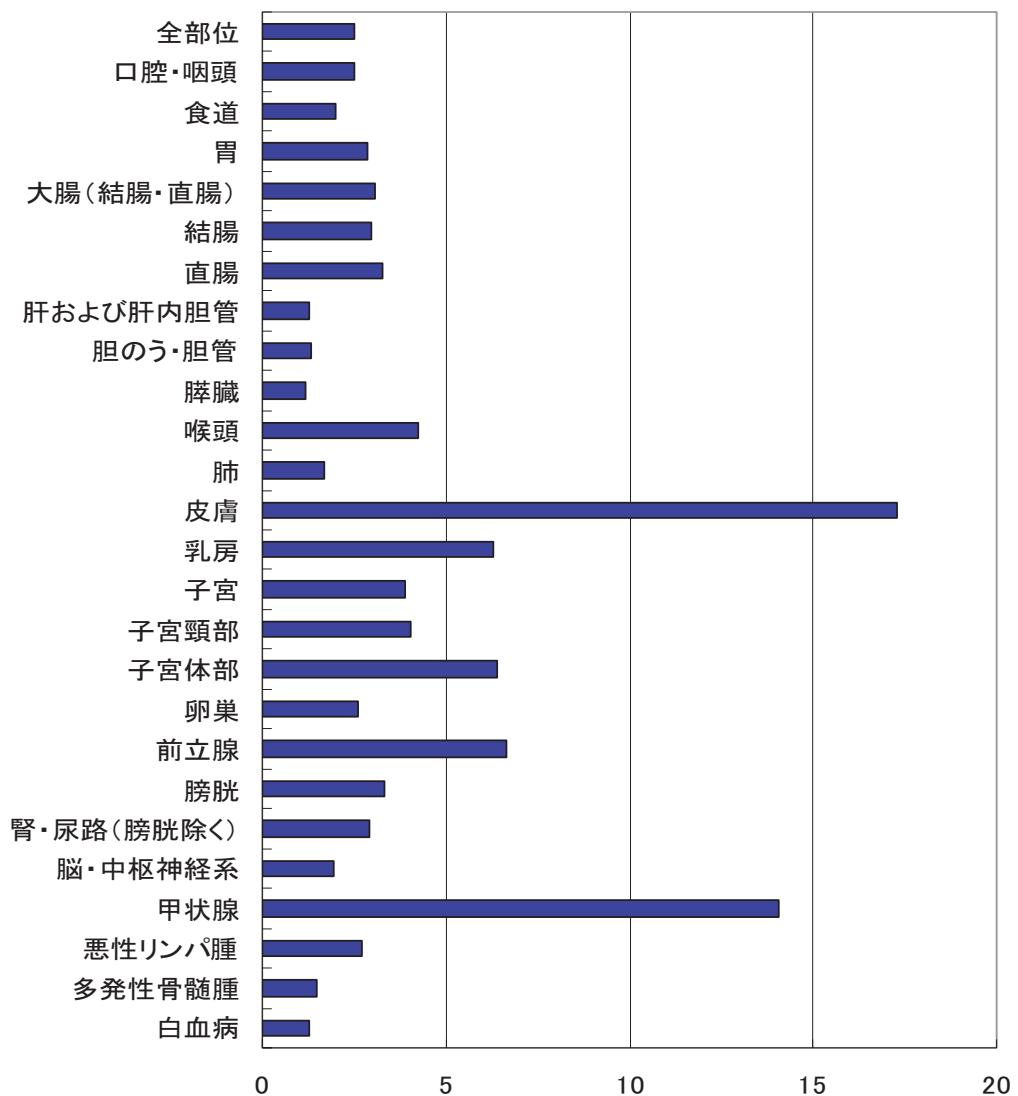


図 2-2 部位別 IM 比

罹患数における資料源をみると臨床登録からの届出情報が83.7%と最も多く、次いで病理登録からの届出情報が71.6%であった。

表C 広島県地域がん登録罹患数における資料源ごとの数および割合 (上皮内がんを除く)

罹患数	広島県地域がん 登録情報 (臨床登録)	広島県腫瘍 登録情報 (病理登録)	広島市地域がん 登録情報 (採録情報)	死亡情報で初めて 把握された症例 (DCN)	死亡情報のみ の症例 (DCO)
20,029	16,760	14,331	706	1,440	965
	83.7%	71.6%	3.5%	7.2%	4.8%

平成26年3月訂正

(2) 部位別がん罹患数および罹患割合

平成22年（2010）のがん罹患数は20,029件（上皮内がんを含むと22,693件）であった。男では11,505件（上皮内がんを含むと12,829件）、女では8,524件（上皮内がんを含むと9,864件）であった。また、がんの年齢調整罹患率（昭和60年日本人口で調整、人口10万対）は男467.2（上皮内がんを含むと524.2）、女319.9（上皮内がんを含むと391.5）であった。

がん罹患数を部位別にみると、男では胃がんが最も多く、次いで前立腺がん、肺がんの順に多かった。女では乳がんが最も多く、次いで胃がん、結腸がんの順に多かった。（図2-3、図2-4、図2-5、表1-A、B参照）

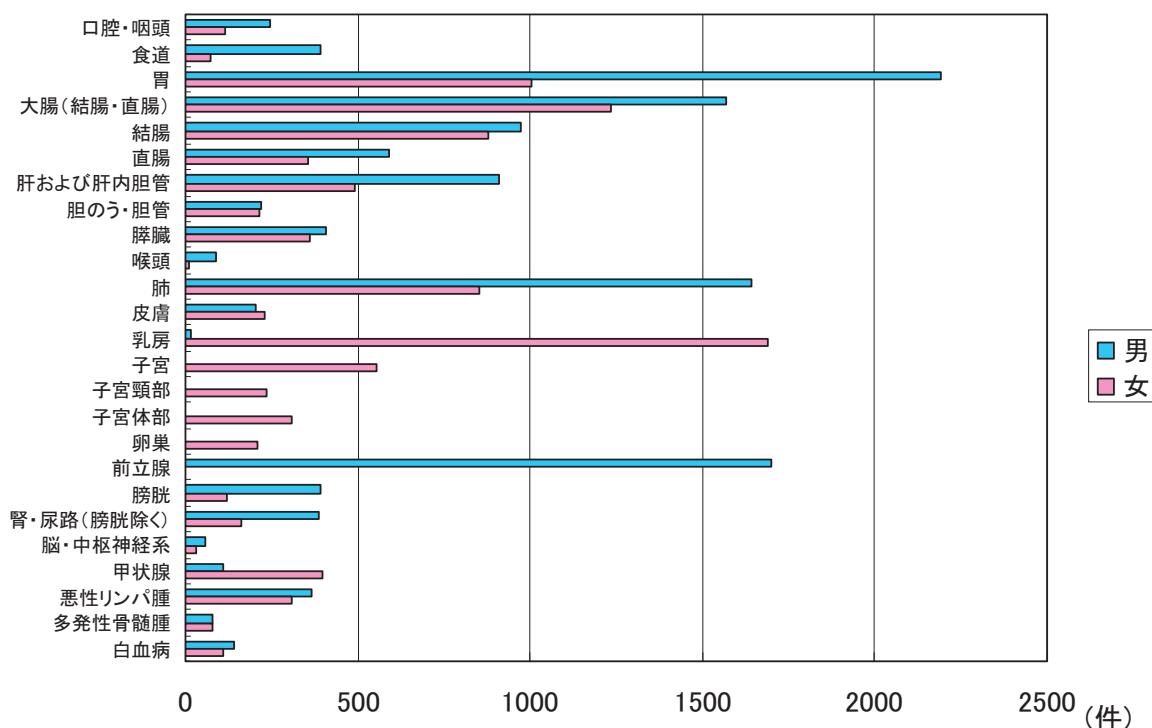


図2-3 部位別がん罹患数（上皮内がんを除く）

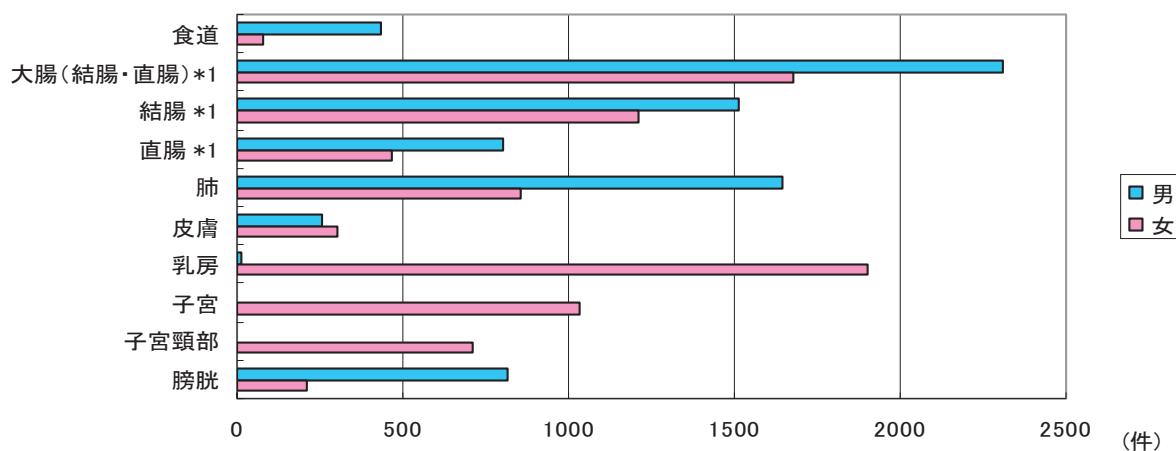


図2-4 部位別がん罹患数（上皮内がんを含む）

*1 粘膜がんを含む

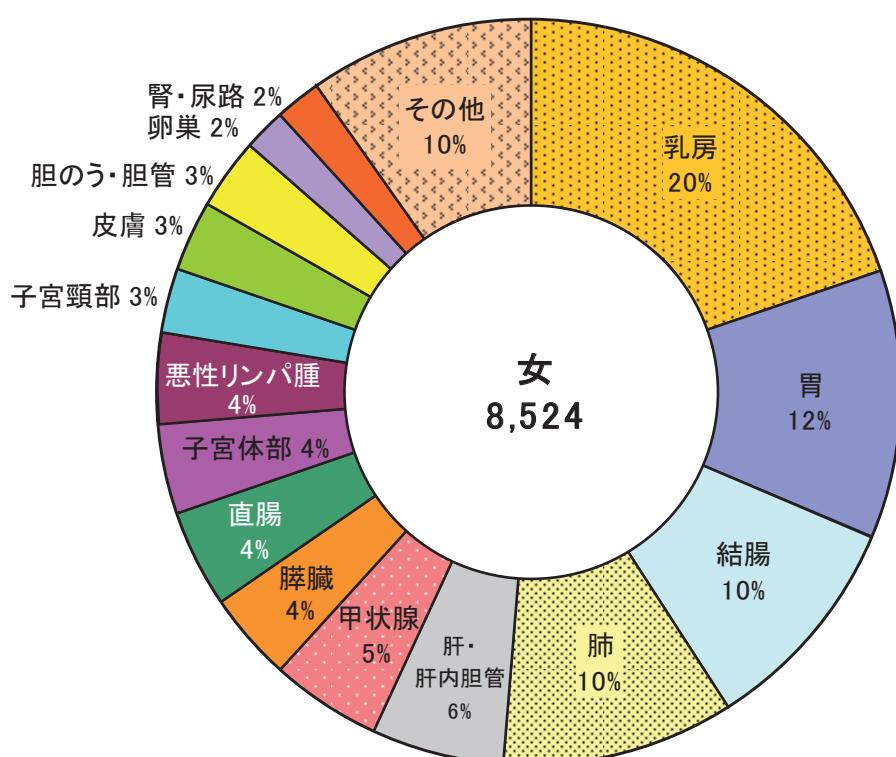
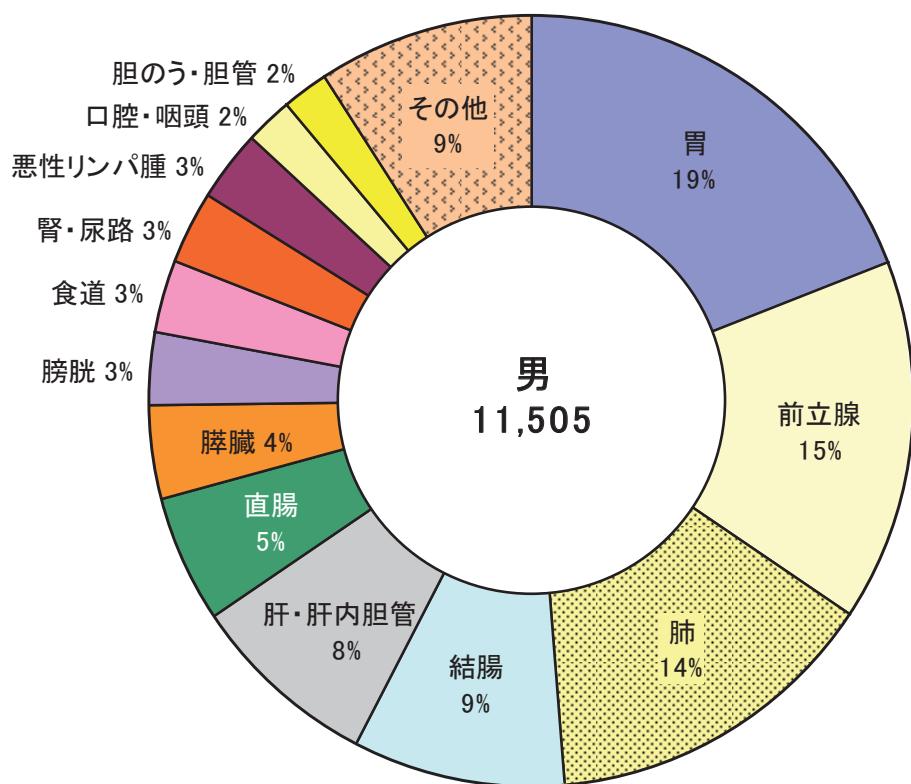


図2－5 部位別がん罹患割合（上皮内がんを除く）

(3) 年齢階級別がん罹患率

全部位について性別年齢階級別にがん罹患率をみると、15歳～49歳の年齢階級では男より女の罹患率が高い。これらは乳がん、子宮がん、卵巣がん、甲状腺がんの影響である。それ以上の年齢階級では女より男の罹患率が約2倍高かった。(図2-6、表3-A、B参照)

多くの部位では、40歳ごろから罹患率が高くなっているが、乳がん、子宮がん、甲状腺がん、では20歳代から罹患率が高くなってきており、特に10～40歳代では上皮内がんの割合が多い。脳・中枢神経系のがん、白血病は15歳未満の子供や、15～40歳の若年層でも一定の罹患率が観察されている。

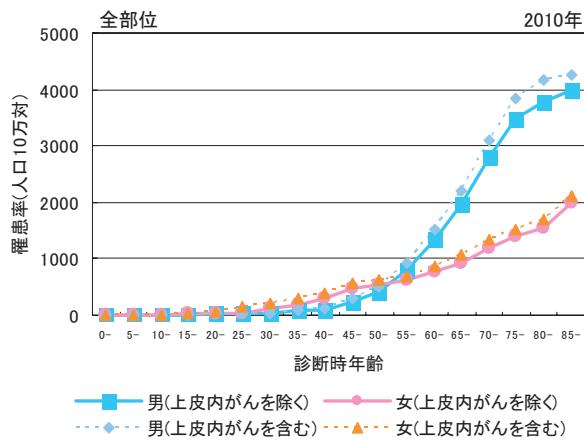


図2-6 a 年齢階級別罹患率(人口10万対);
全部位

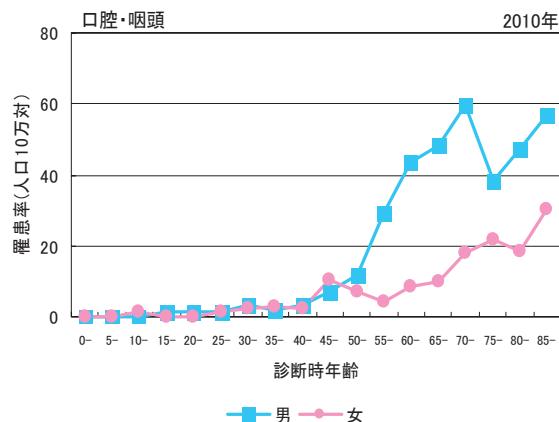


図2-6 b 年齢階級別罹患率(人口10万対);
口腔・咽頭

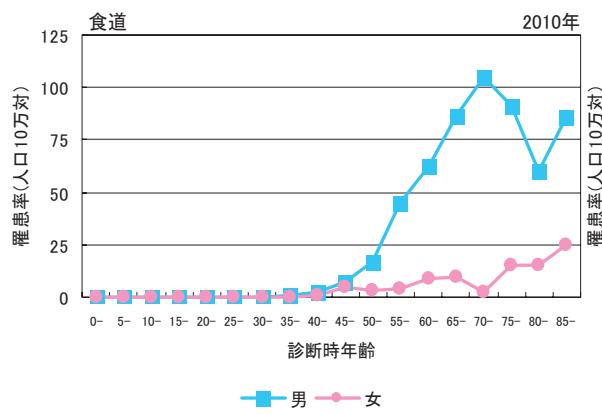


図2-6 c 年齢階級別罹患率(人口10万対);
食道

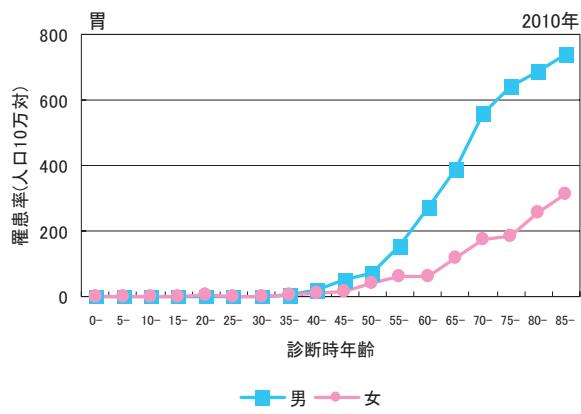


図2-6 d 年齢階級別罹患率(人口10万対);
胃

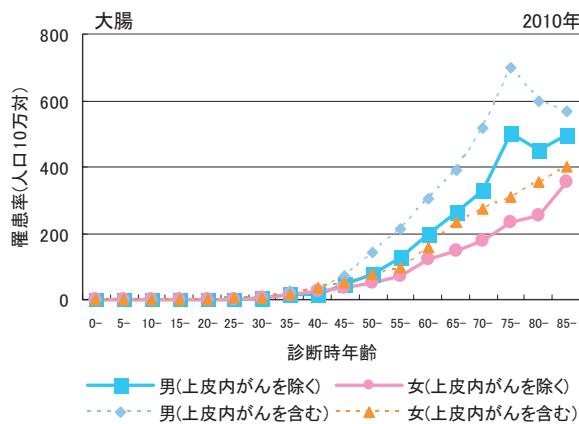


図 2－6 e 年齢階級別罹患率(人口10万対)；
大腸

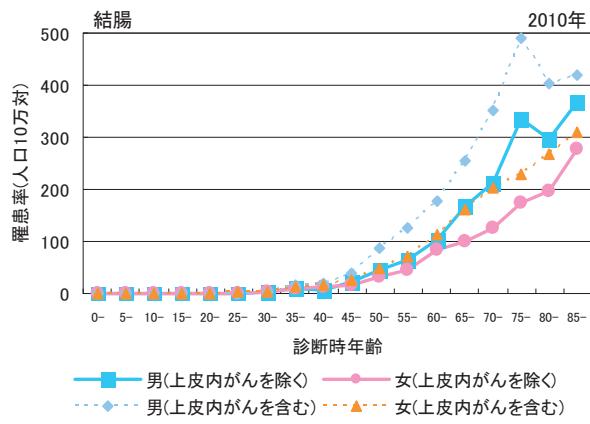


図 2－6 f 年齢階級別罹患率(人口10万対)；
結腸

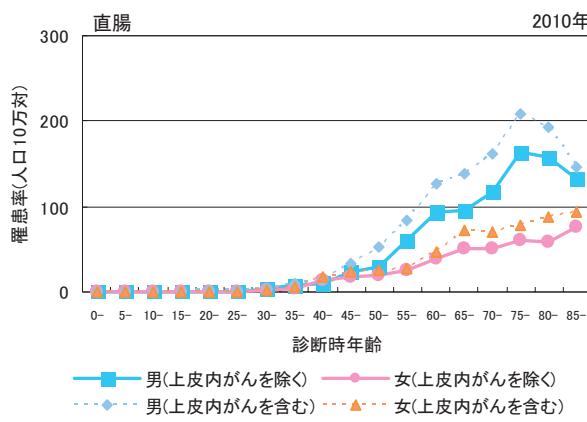


図 2－6 g 年齢階級別罹患率(人口10万対)；
直腸

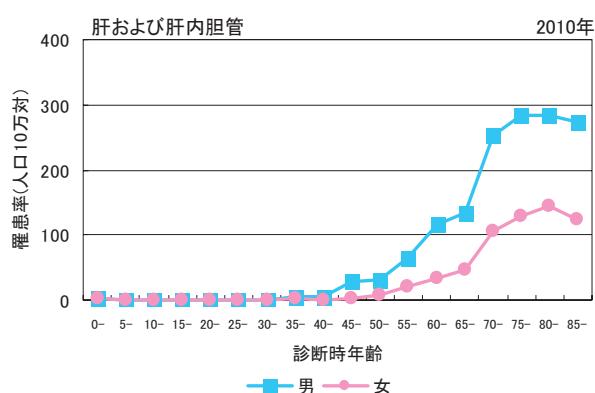


図 2－6 h 年齢階級別罹患率(人口10万対)；
肝および肝内胆管

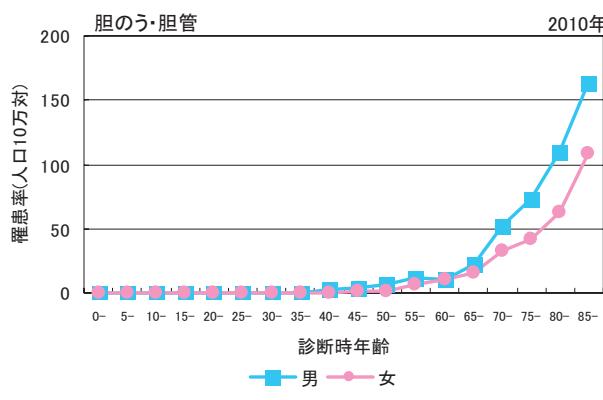


図 2－6 i 年齢階級別罹患率(人口10万対)；
胆のう・胆管

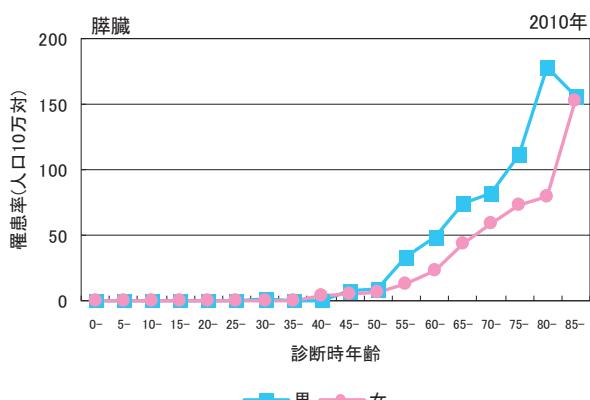


図 2－6 j 年齢階級別罹患率(人口10万対)；
脾臓

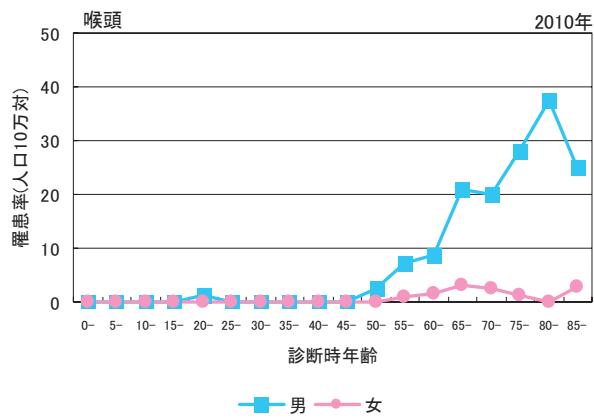


図 2－6 k 年齢階級別罹患率(人口10万対);
喉頭

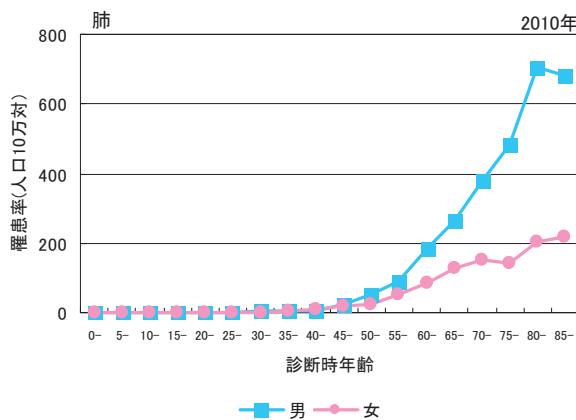


図 2－6 l 年齢階級別罹患率(人口10万対);
肺

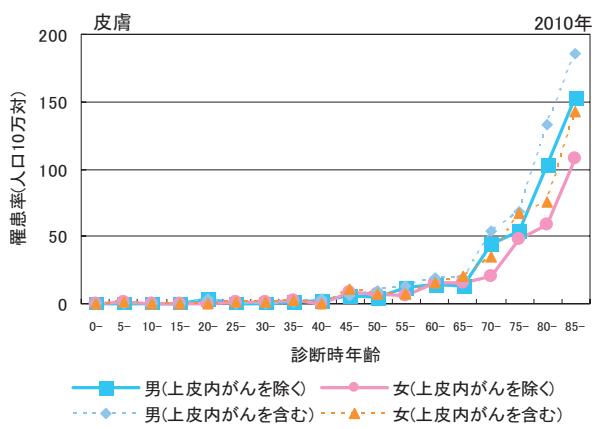


図 2－6 m 年齢階級別罹患率(人口10万対);
皮膚

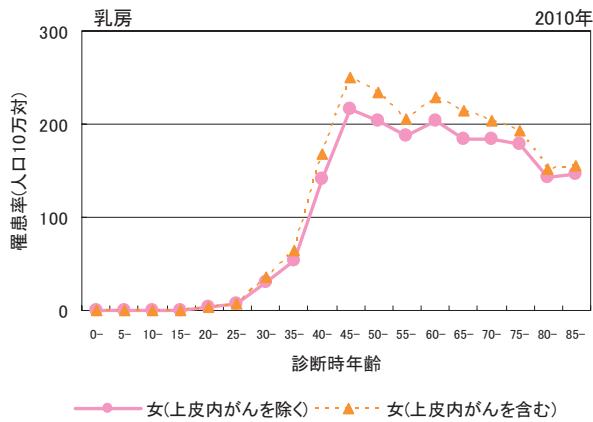


図 2－6 n 年齢階級別罹患率(人口10万対);
乳房

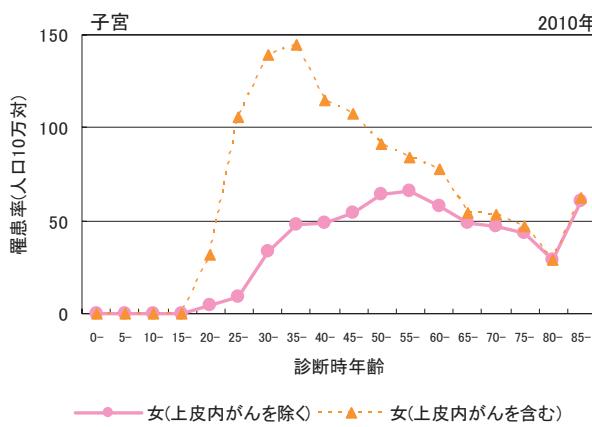


図 2－6 o 年齢階級別罹患率(人口10万対);
子宮

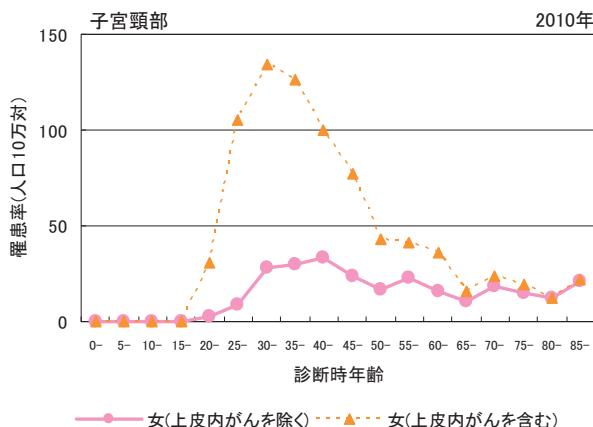


図 2－6 p 年齢階級別罹患率(人口10万対);
子宮頸部

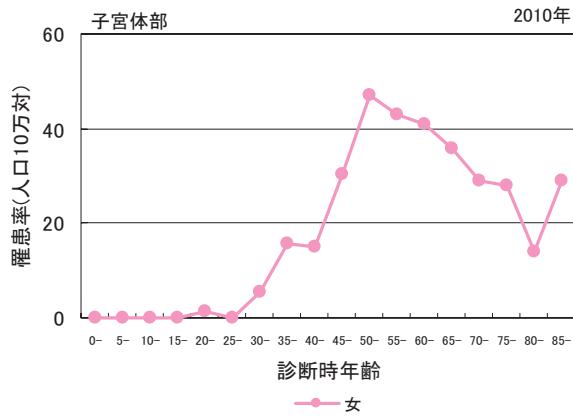


図 2-6 q 年齢階級別罹患率(人口10万対);
子宮体部

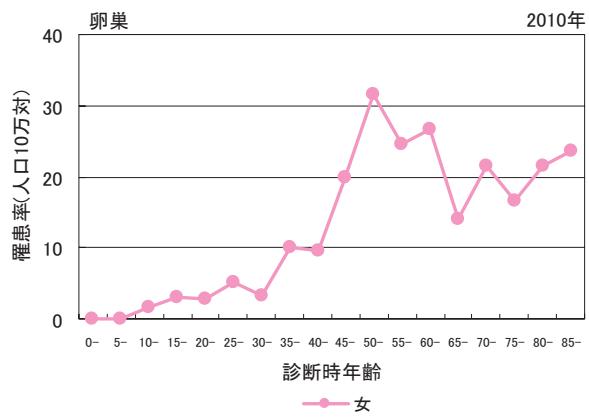


図 2-6 r 年齢階級別罹患率(人口10万対);
卵巢

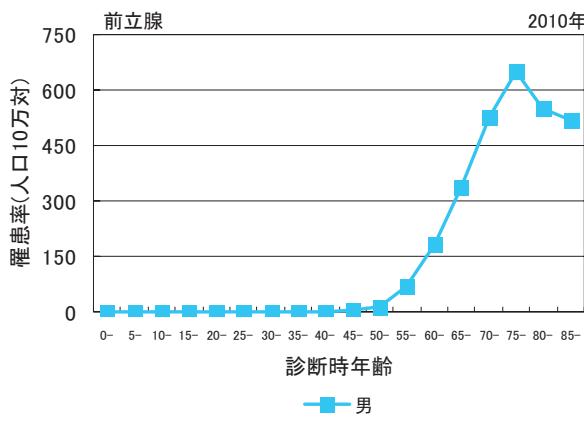


図 2-6 s 年齢階級別罹患率(人口10万対);
前立腺

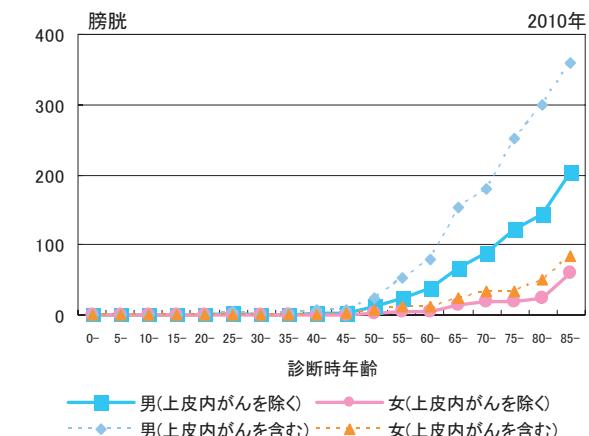


図 2-6 t 年齢階級別罹患率(人口10万対);
膀胱

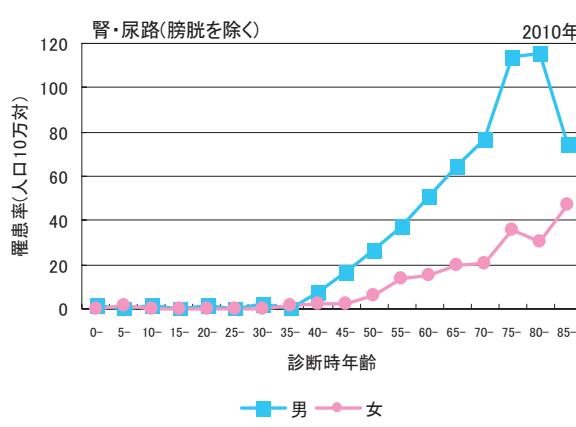


図 2-6 u 年齢階級別罹患率(人口10万対);
腎・尿路(膀胱を除く)

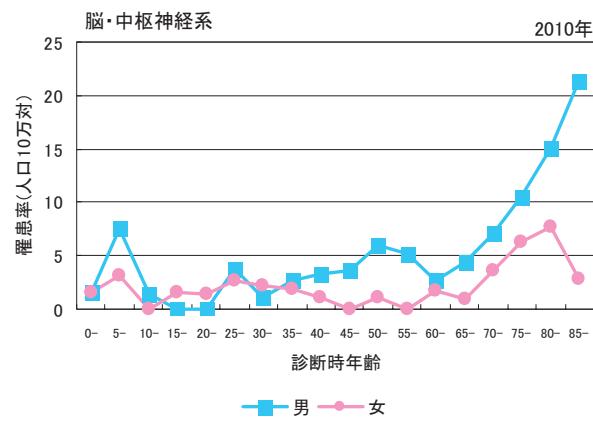


図 2-6 v 年齢階級別罹患率(人口10万対);
脳・中枢神経系

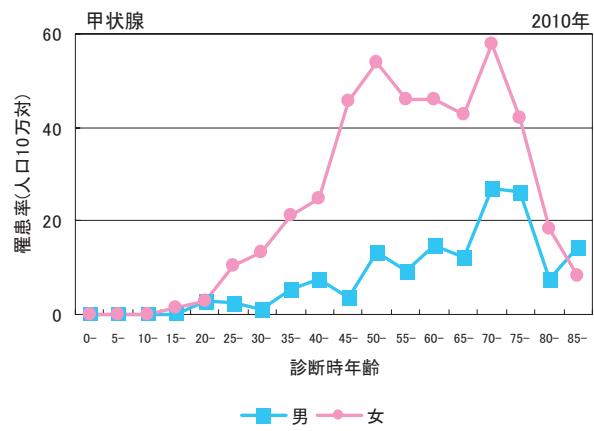


図 2－6 w 年齢階級別罹患率(人口10万対);
甲状腺

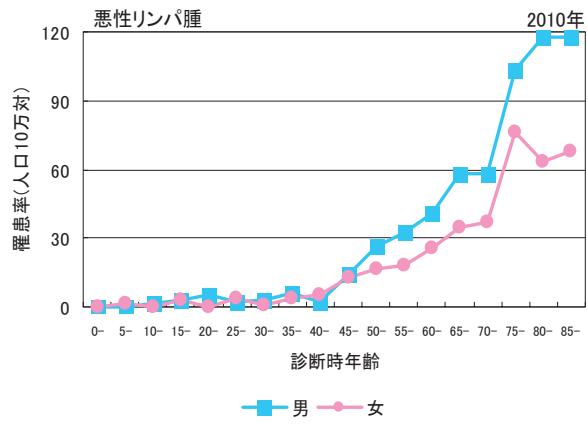


図 2－6 x 年齢階級別罹患率(人口10万対);
悪性リンパ腫

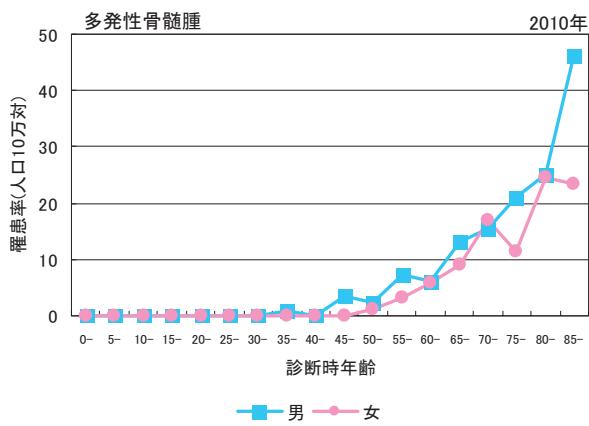


図 2－6 y 年齢階級別罹患率(人口10万対);
多発性骨髓腫

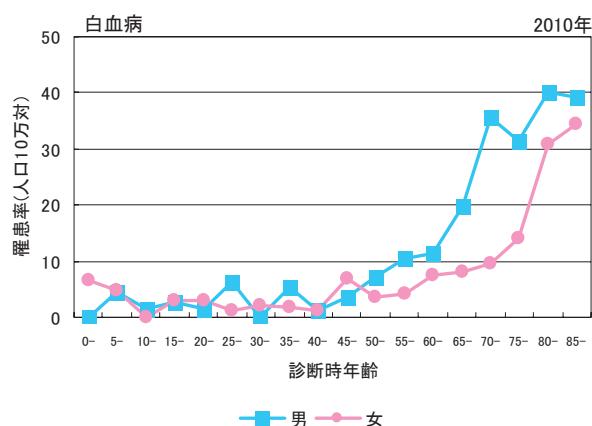


図 2－6 z 年齢階級別罹患率(人口10万対);
白血病

(4) 発見経緯

部位別にがんと診断されるに至った発見経緯をみると、その他・不明が最も多いが、これは自覚症状ありで受診したものと含んでいます。子宮頸がん、乳がんで、がん検診の割合が高く、前立腺がんや甲状腺がんは健診・人間ドックでの割合が高かった。肝および肝内胆管がんでは約半数以上が他疾患経過観察中に発見されている。(図2-7、表4-A、B参照)

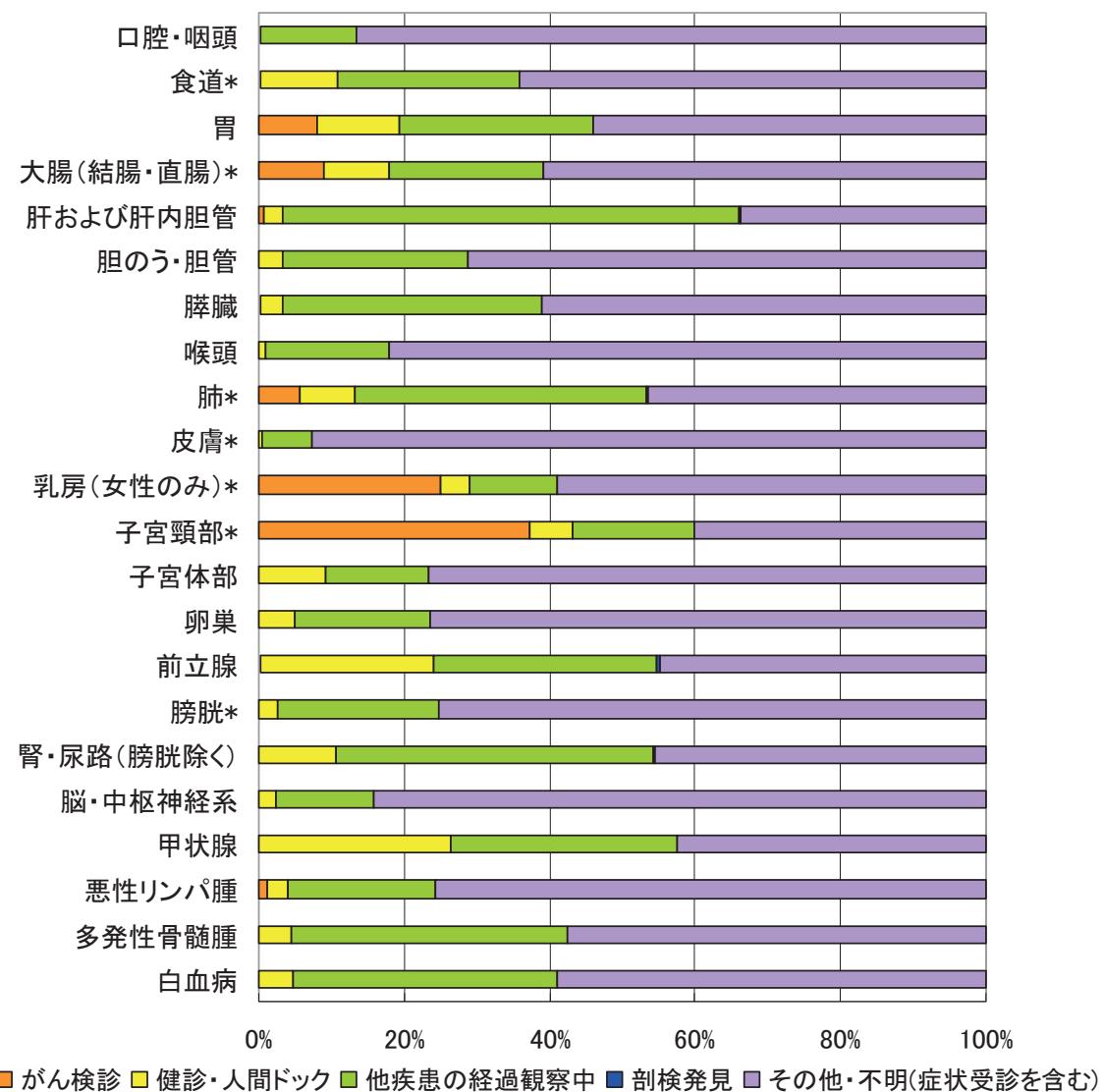


図2-7 部位別発見経緯 (DCOを除く)

* 上皮内がんを含む

(5) 臨床進行度

臨床進行度は、全部位（上皮内がんを含む）で、上皮内がんが12.2%、限局40.0%、所属リンパ節転移7.4%、隣接臓器浸潤13.6%、遠隔転移14.3%、不明が12.4%であった。部位別に臨床進行度をみると、子宮頸がんは67.5%が上皮内がんであり、膀胱の上皮内がんや結腸の粘膜内がんも割合が高かった。また、皮膚がん、喉頭がんでは限局割合が高く、膵臓がんや肺がんでは遠隔転移割合が高かった。（図2-8、表5-A、B参照）

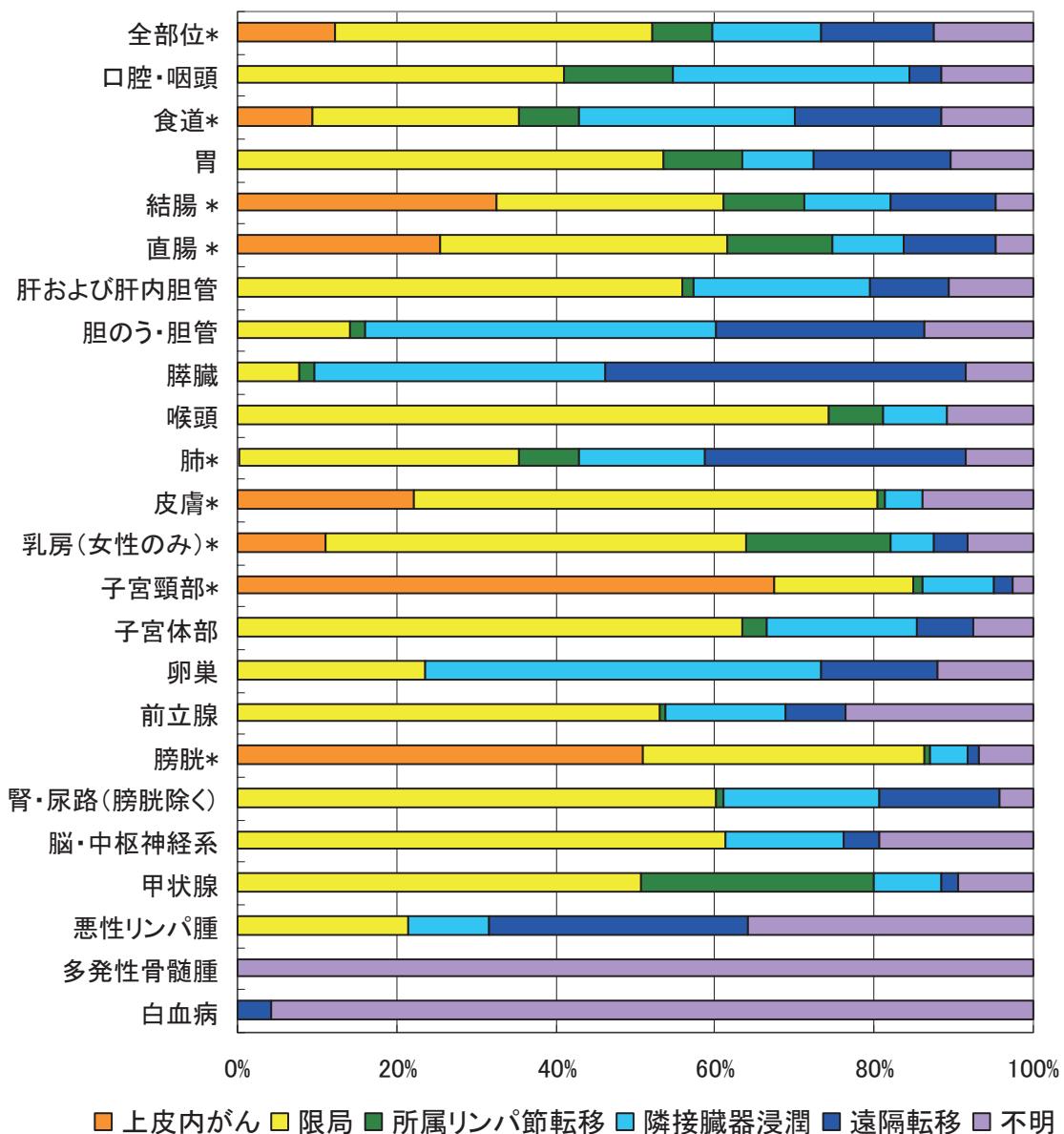


図2-8 部位別臨床進行度（対象はDCOを除く）

*上皮内がんを含む

胃の限局には粘膜がんを含む。結腸・直腸の上皮内は粘膜がんまでを指す。子宮頸部の上皮内はCIN III (Cervical intraepithelial neoplasia, grade III) を含む。白血病の臨床進行度は、標準的な方法として空欄とすることが推奨されているが、成人T細胞性リンパ腫が本報告では白血病に分類されているため、臨床進行度が与えられているものがある。

(6) 受療割合

初回治療の方法について、「外科・体腔鏡・内視鏡的治療」、「放射線療法」、「化学・免疫・内分泌療法」、「特異療法なしまたは治療方法不明」に分けて、受けた治療の割合を求めた。部位別にみると、乳がん、子宮体がんで「外科・体腔鏡・内視鏡的治療」の割合が高く、喉頭がんや口腔・咽頭がんで放射線療法の割合が高かった。また白血病、卵巣がん、乳がんで「化学・免疫・内分泌療法」の割合が高かった。(図2-9、表6-A、B参照)

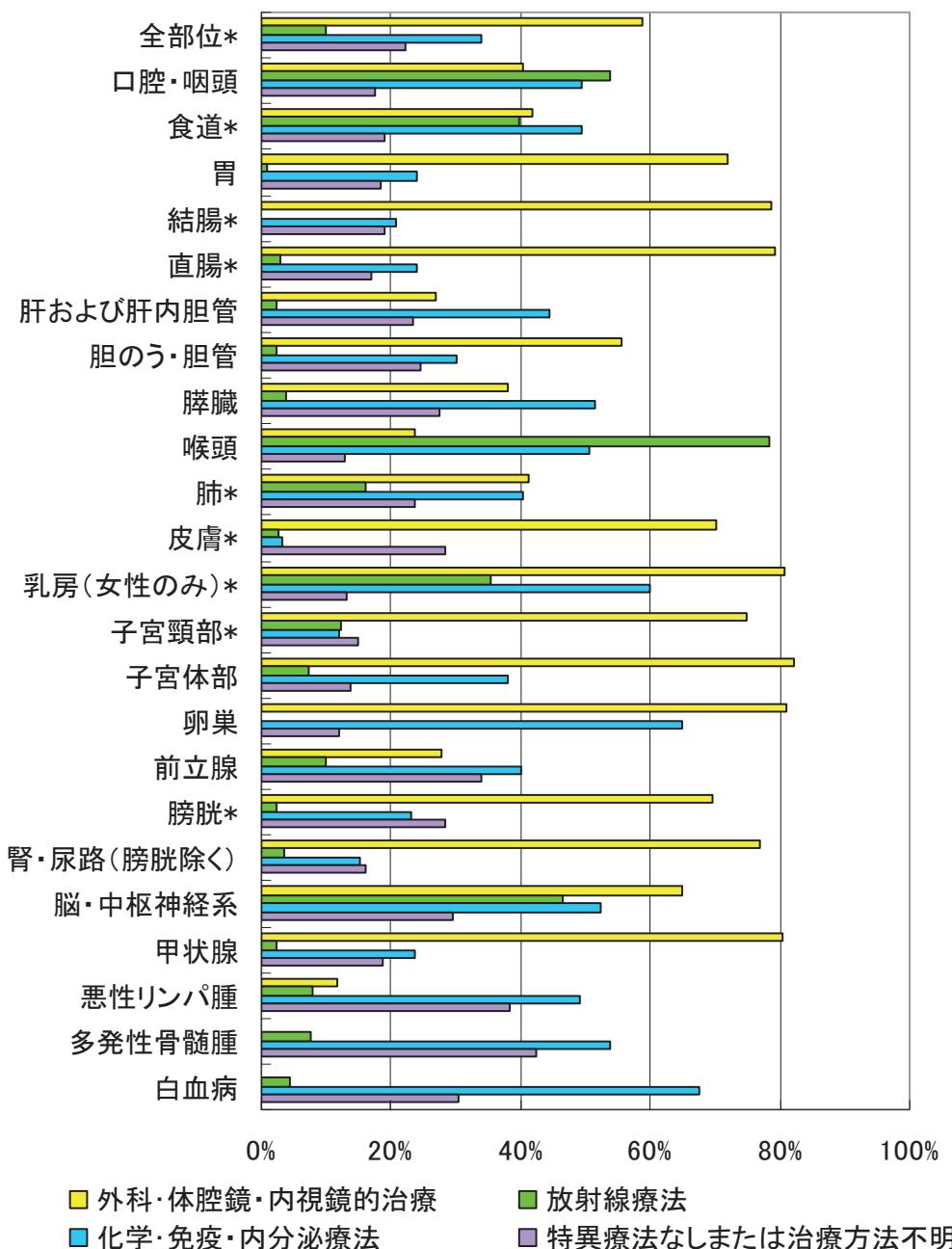


図2-9 部位別受療割合

* 上皮内がんを含む

(7) 二次保健医療圏別の登録精度（上皮内がんを除く）

二次保健医療圏別の登録精度を見ると、いずれの医療圏でも罹患数に対する届出票の割合は76.9%～87.1%で、全圏域で75%以上ある。広島県腫瘍登録からの病理登録情報は、尾三圏域、福山・府中圏域で西部圏域よりも低かったが、確実に登録精度が良くなっている。また、DCN割合は、呉圏域で5.2%、広島圏域で5.3%と低く、DCO割合は広島圏域が3.1%と最も低く精度がよかつた。福山・府中圏域はDCN割合が12.2%、DCO割合が8.5%と他圏域と比較して少し高く、圏域によってばらつきがみられた。しかし、いずれの圏域も祖父江班における地域がん登録の完全性の目標「IM比が一定範囲内、DCN20%未満、DCO10%未満の全てを満たす。」を達成している。

表D 二次保健医療圏別の罹患数に対する資料源の数および割合と登録精度(上皮内がんを除く)
(2010年)

医療圏 (保健所)	罹患数	広島県地域 がん登録情報 (届出情報)	広島県腫瘍 登録情報 (病理登録情報)	広島市地域 がん登録情報 (採録情報)	死亡情報で初めて 把握された症例 (DCN)	死亡情報のみの 症例 (DCO)					
広島県	20,029	16,760	83.7%	14,331	71.6%	706	3.5%	1,440	7.2%	965	4.8%
広島	8,896	7,596	85.4%	6,595	74.1%	706	7.9%	469	5.3%	280	3.1%
広島西	1,047	899	85.9%	803	76.7%	0	0.0%	67	6.4%	50	4.8%
呉	2,433	2,118	87.1%	1,816	74.6%	0	0.0%	127	5.2%	79	3.2%
広島中央	1,348	1,159	86.0%	973	72.2%	0	0.0%	86	6.4%	70	5.2%
尾三	2,124	1,728	81.4%	1,394	65.6%	0	0.0%	216	10.2%	158	7.4%
福山・府中	3,307	2,544	76.9%	2,082	63.0%	0	0.0%	405	12.2%	280	8.5%
備北	866	712	82.2%	660	76.2%	0	0.0%	70	8.1%	48	5.5%

(8) 二次保健医療圏別の標準化罹患比（上皮内がんを除く）

二次保健医療圏別に広島県全域の罹患率を1として、標準化罹患比を見ると、全部位では男では呉圏域が1.13、広島圏域で1.05と高く、女では広島圏域で1.07と高かった。部位別に見ると、男では呉圏域の胃がんで1.13と高く、女では尾三圏域の子宮体部がんで1.61、広島圏域の結腸がんで1.13と高かった。また福山・府中圏域は全部位で男0.91、女0.92と最も低く、男では前立腺がん、女では結腸がん、子宮体部がんで低い傾向が見られた。（図2-10、付表4-D参照）

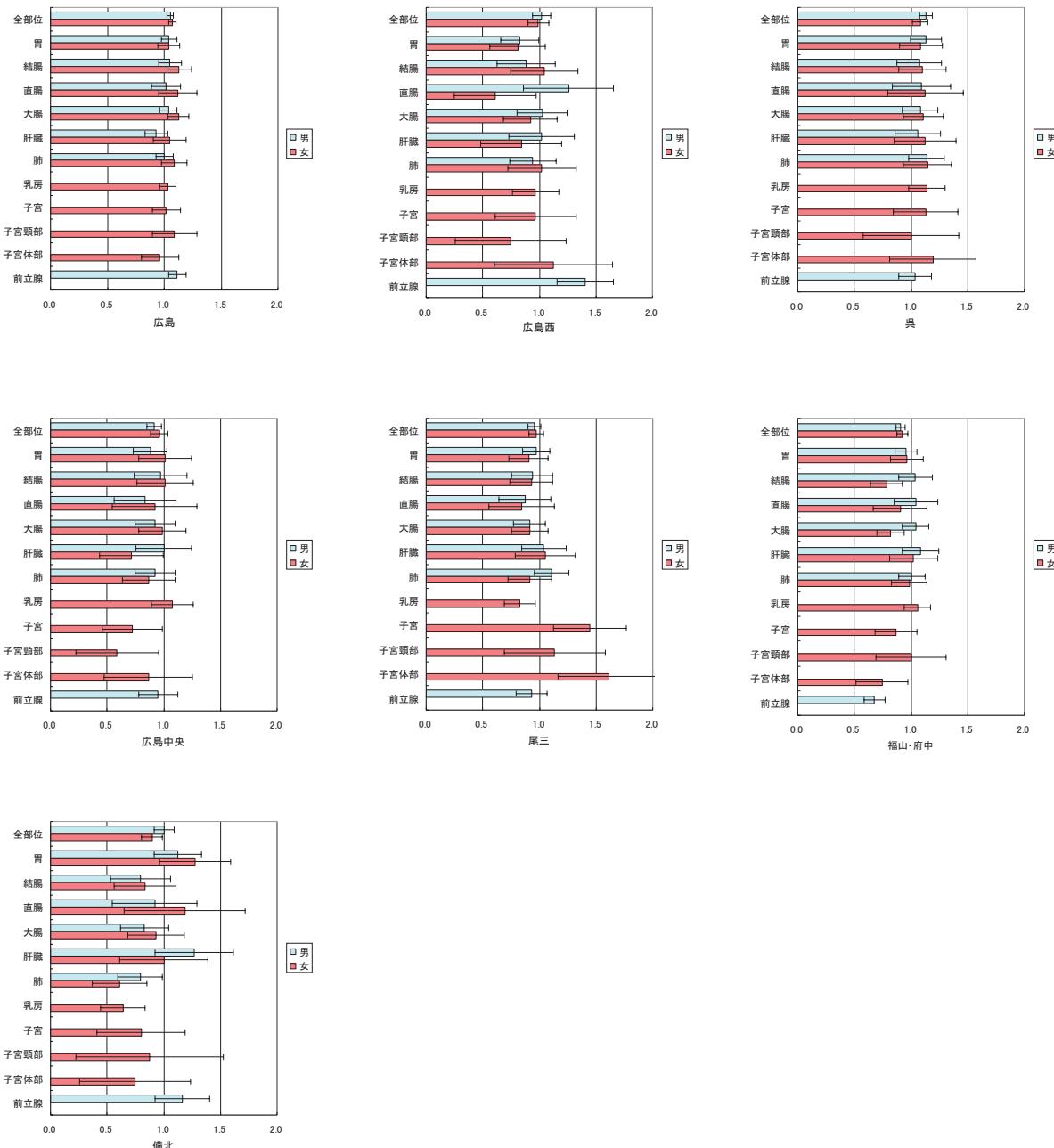


図2-10 二次保健医療圏別の部位別標準化罹患比（広島県の罹患率を基準とする）

3. 5年相対生存率（2006年診断）

2006年診断患者における、全がん5年相対生存率は66.6%であった。

部位別にみると、前立腺、甲状腺、乳房が90%以上、子宮体部、皮膚、膀胱で80%以上と高かった。反対に、食道、肝および肝内胆管、白血病、肺、多発性骨髓腫が30%～40%、胆のう・胆管が28.2%、膵臓は8.5%と極めて低かった。

臨床進行度別に見ると、「限局」群の5年相対生存率は88.9%、「領域」群で54.8%、「遠隔」では12.2%であった。部位別に「限局」群の生存率を見ると、前立腺では100%であり、胃、結腸、直腸、乳房、子宮においても90%以上と良好であった。肺においても「限局」群は84.2%と比較的良好であったが、肝および肝内胆管では47.2%と低かった。（図3-1、3-2、表12-A、B参照）

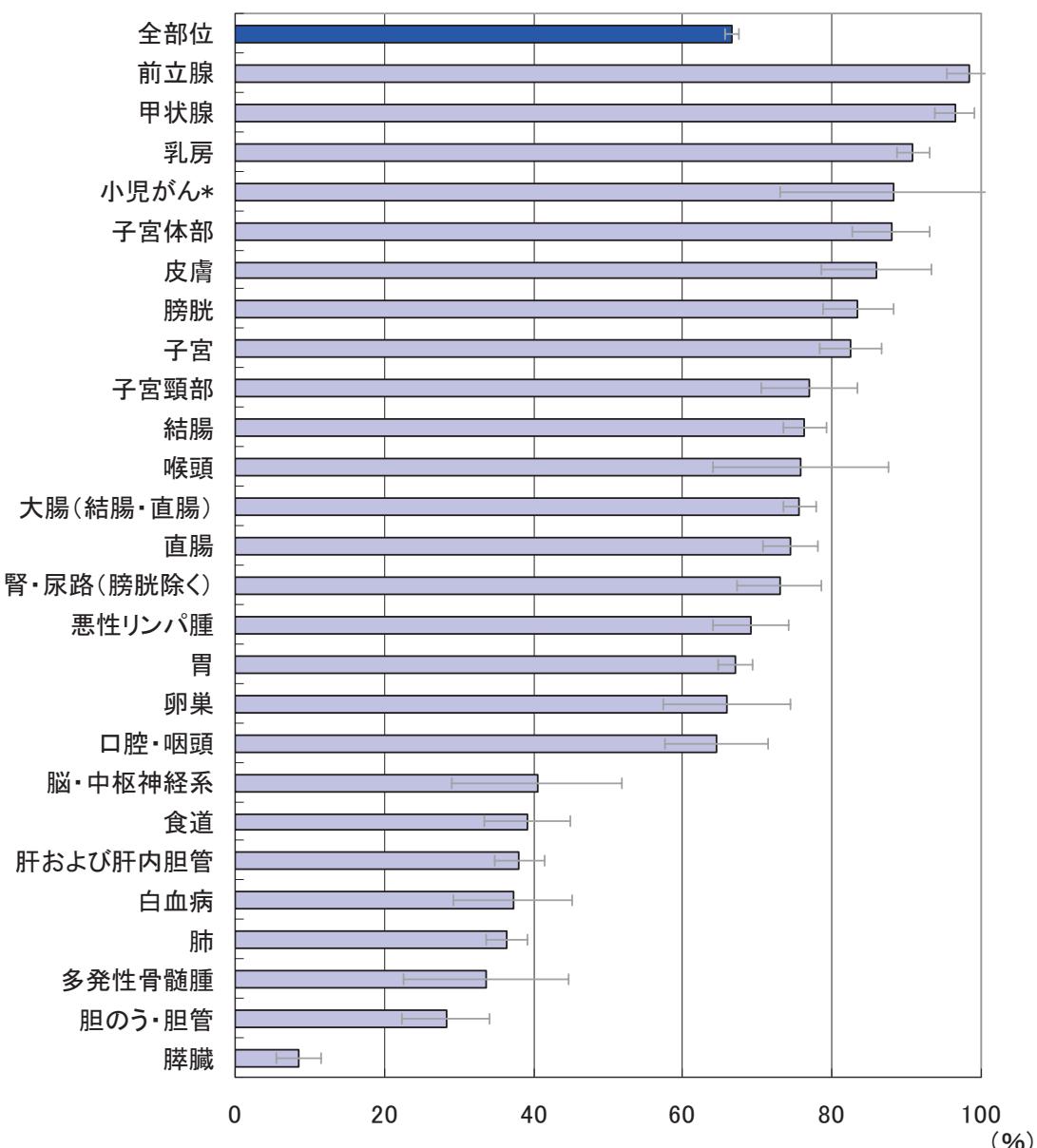


図3-1 部位別5年相対生存率

* 小児がんは診断時年齢が0歳～14歳のものを対象としている

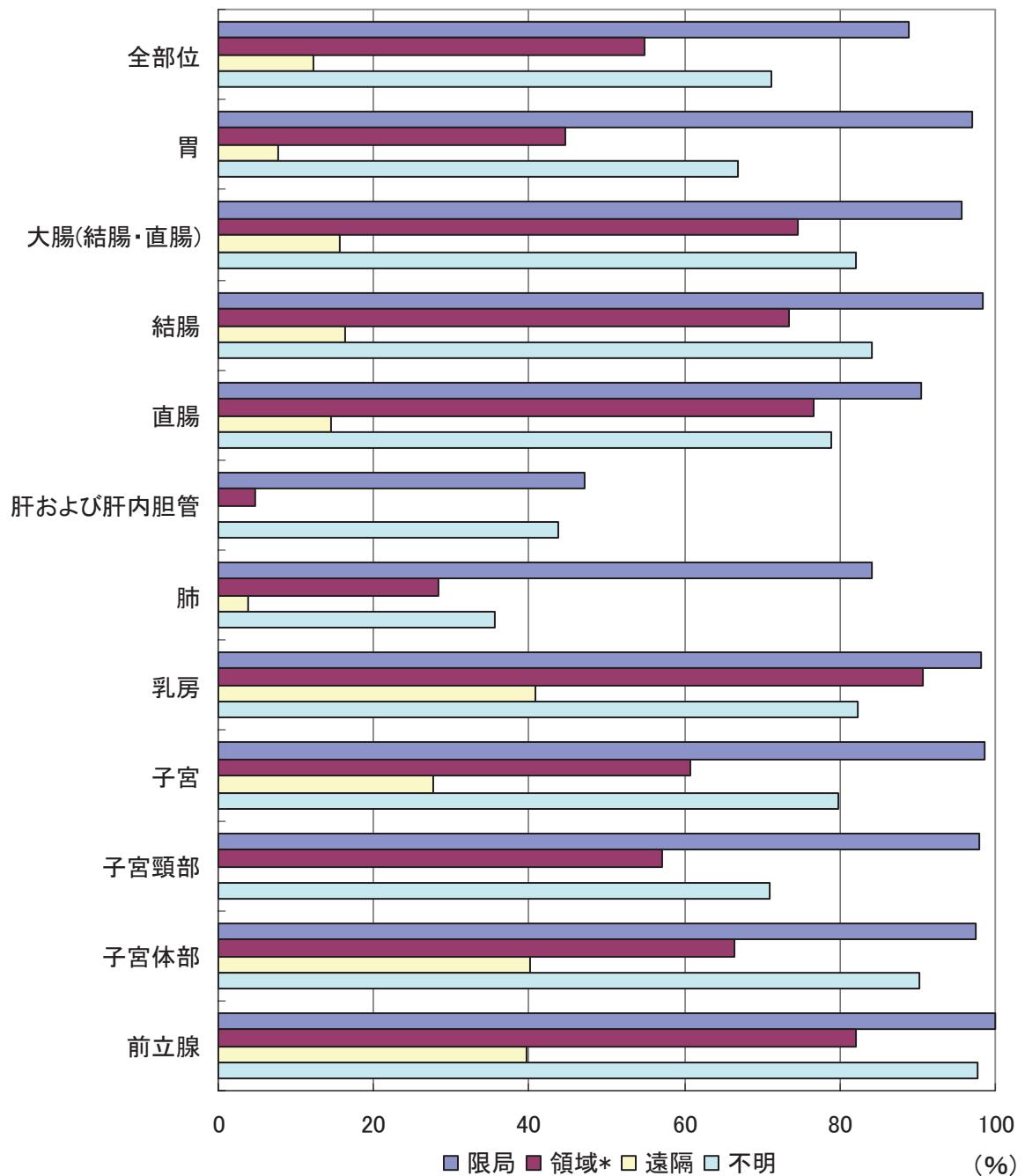


図 3－2 部位別・臨床進行度別 5 年生存率

* 領域：所属リンパ節転移もしくは隣接臓器浸潤

4. 罹患（罹患数、年齢調整罹患率）と死亡（死亡数、年齢調整死亡率）の年次推移（2003年～2010年）

罹患数は、男では大腸がんと肝および肝内胆管がんで減少傾向、肺がんで増加傾向がみられ、全部位でも増加傾向にあった。女では乳がんの増加が著しく、全部位での罹患数に影響していた。年齢調整罹患率は、男では大腸がん、肝および肝内胆管がんで減少しており、全部位でみても減少傾向であった。女では胃がん、大腸がん、肝および肝内胆管がんで減少傾向がみられるものの、肺がん、子宮がん、甲状腺がんで増加しており、特に乳がんの増加が著しく全部位でも増加傾向となっていた。

死亡数は男、女ともに肝および肝内胆管がんで減少傾向が見られていたが、女で2010年は若干増加している。2008年頃より肺がんに減少傾向が見られる。年齢調整死亡率では、男女ともに特に胃がんや肝および肝内胆管がんが減少しており、2008年頃より肺がんも減少傾向が見られた。
(図4-1～図4-10、付表7-1参照)

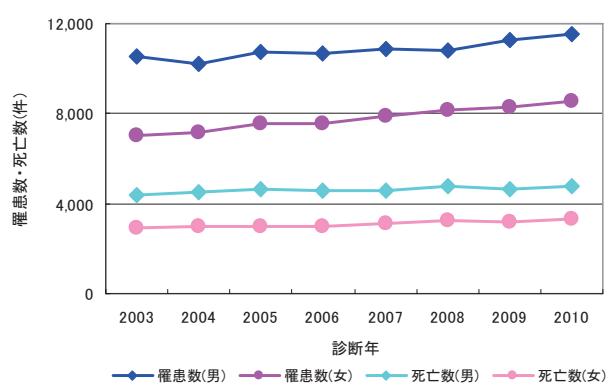


図4-1 罹患数・死亡数の年次推移

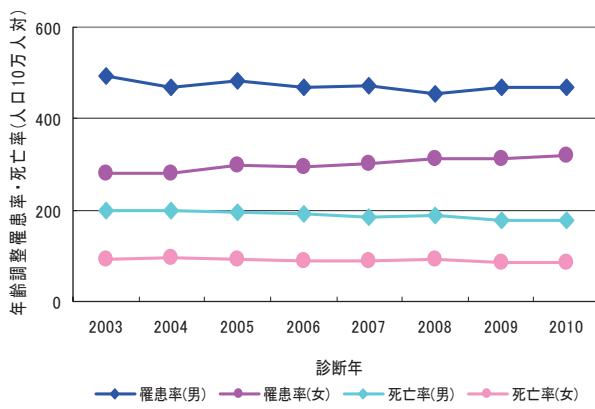


図4-2 年齢調整罹患率・死亡率の年次推移

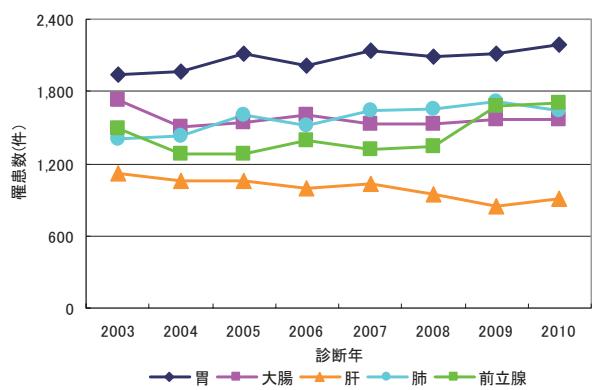


図4-3 罹患数の年次推移（男）

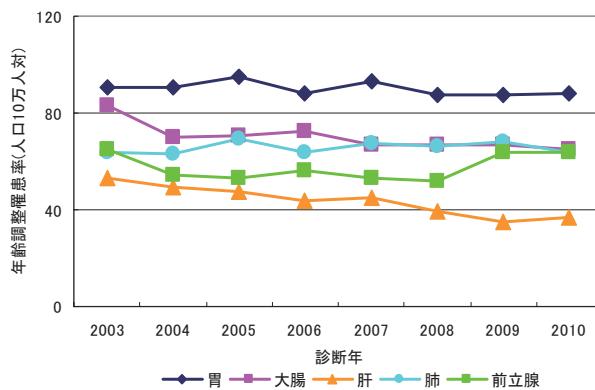


図4-4 年齢調整罹患率の年次推移（男）

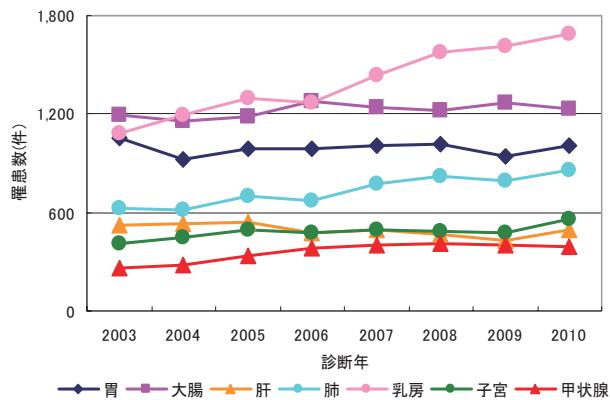


図4-5 罹患数の年次推移 (女)

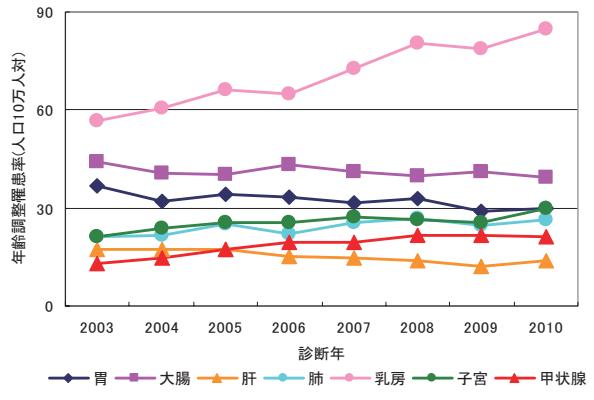


図4-6 年齢調整罹患率の年次推移 (女)

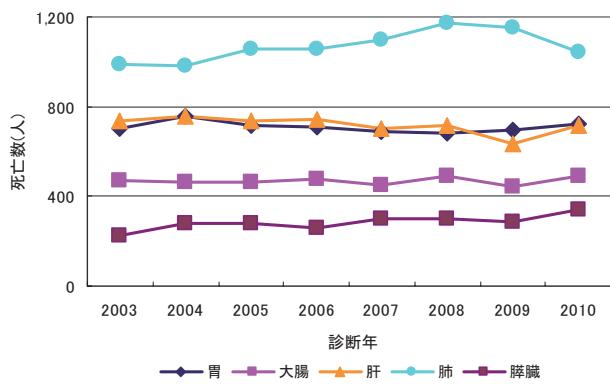


図4-7 死亡数の年次推移 (男)

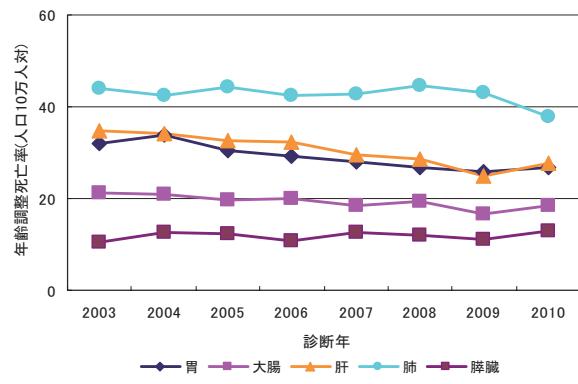


図4-8 年齢調整死亡率の年次推移 (男)

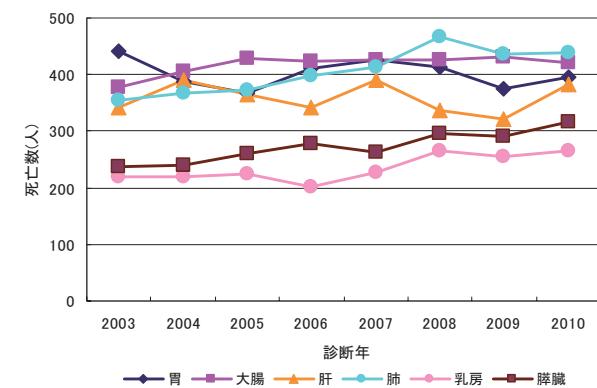


図4-9 死亡数の年次推移 (女)

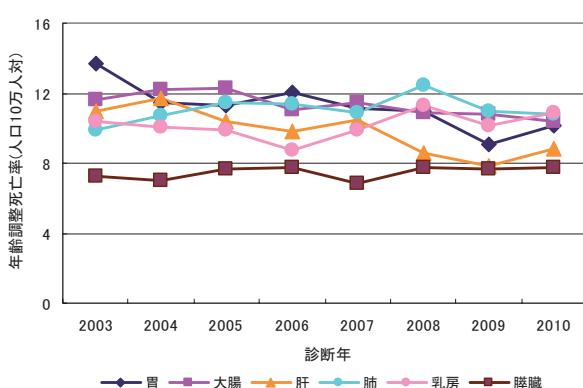


図4-10 年齢調整死亡率の年次推移 (女)

5. 登録精度指標の推移

広島県および全国がん罹患モニタリング集計における年齢調整罹患率と登録精度の年次推移を示す。全国と比較すると、平成16年（2004）以前は広島県のDCN割合、DCO割合ともに高いが、平成17年（2005）診断患者からは、DCN割合が減少し、登録の完全性が向上している。さらに平成17年（2005）診断からは遡り調査を開始したことで、DCO割合が著しく向上している。全国と比較してIM比が高いのは、病理登録で外来での生検症例も得られていることが大きいと思われる。

表E 広島県および全国における年齢調整罹患率および登録精度の年次推移

年齢調整罹患率 ¹⁾ 広島県 (上皮内がんを含む)	全国 ²⁾ (上皮内がんを含む)		DCN(%) ⁴⁾ 広島県 全国 ²⁾		DCO(%) ⁴⁾ 広島県 全国 ²⁾		IM比 ⁴⁾ 広島県 全国 ²⁾		MV(%) ^{3) 4)} 広島県 全国 ²⁾	
	年齢調整罹患率 ¹⁾ 広島県 (上皮内がんを含む)	年齢調整罹患率 ¹⁾ 全国 ²⁾ (上皮内がんを含む)	DCN(%) ⁴⁾ 広島県 全国 ²⁾	DCO(%) ⁴⁾ 広島県 全国 ²⁾	IM比 ⁴⁾ 広島県 全国 ²⁾	MV(%) ^{3) 4)} 広島県 全国 ²⁾				
2002	—	388.2	—	—	28.2	—	28.2	—	2.32	—
2003	400.4	379.6	322.3	27.5	25.0	27.5	19.5	2.64	1.91	70.8
2004	381.5	358.2	321.5	26.8	26.2	26.8	20.0	2.44	1.86	71.6
2005	414.0	380.6	328.2	310.6	18.2	21.9	9.4	17.0	2.63	1.96
2006	391.0	357.8	329.7	312.1	14.6	22.5	5.9	17.1	2.53	1.97
2007	420.6	374.1	346.5	323.6	10.2	20.4	4.9	15.4	2.69	2.12
2008	420.9	341.4	366.3	337.5	9.9	20.4	5.2	14.6	2.36	2.07
2009	439.9	378.5	—	—	8.1	—	5.0	—	2.52	—
2010	444.1	381.1	—	—	7.2	—	4.8	—	2.49	—
									87.4	—

1) 基準人口を昭和60年(1985)日本モデル人口とした場合の年齢調整罹患率

2) 国立がん研究センターがん対策情報センターが発行しているMCIJ(Monitoring of Cancer Incidence in Japan)2002～2008で報告された、推計参加登録から推計された値を引用

3) 罹患数全体における病理診断のある症例の割合

4) 2000～2006は上皮内がんを含む。2007年以降は上皮内がんを含まない。

IV おわりに

平成22年（2010）診断分の広島県のがん登録報告書が完成いたしました。平成21年（2009）診断分の報告書が公表されて間を空けることなく完成したこと、現時点から遡ること4年の時点のがんの状況がまとめられていたこれまでに比べて、1年早く結果を見る能够性が高まっています。即時性の改善が得られたことを広島県のがん登録にご協力いただきました皆様とともに喜びたいと思いますし、お忙しい中ご努力を賜りました放射線影響研究所に深甚の謝意を表したいと思います。

さて、この報告書は将来振り返って眺めた時に、大きな転換点で作成された報告書として銘記されるようになるのではないだろうかと考えています。その理由の一つは、今の時点がわが国で初めての「がん登録法」が成立する直前であるということであり、その二つ目は広島県のがん登録報告書で初めて生存率の記載がなされたということです。すなわち前者はがん登録が初めて法律によって定められた事業となるということであり、がん登録の存立基盤が明確になるという意味で画期的なことと言わざるを得ません。これからは国ががん登録を行うことになり、病院からのがん資料の提出は病院の義務になるでしょう。できるだけ多くのがん資料を集めることの完全性の向上が期待されます。地域でがん登録に携わる者としましては、収集するがん資料の充実を図り、それに従事するがん登録士の育成に力を注ぎたいものだと考えております。さらに収集した資料をいかに利活用していくかが問われる時代が来たことを感じる次第です。一方、後者によって5年相対生存率という形で臓器別に生存に関する成績を示すことができました。全部位での5年相対生存率は66.6%（男性:65.0%、女性:68.7%）であり、最も高かった前立腺では98.3%、最も低かった膵臓では8.5%でした。がん死亡を減少させようとしたがん対策を推進している現状において、ここに示された指標が今後の治療や対策によってどのように変化していくか、医療のみならず公衆衛生の立場からも興味をそそられるところです。

以前から50歳以前では女性のがん罹患が男性よりも多くみとめられてきました。乳房、子宮、卵巣に加えて甲状腺を発生母地とするがんが、若年から多く発症してくるからです。これを年齢調整罹患率の年次推移でみると、乳がん（女）の上昇傾向が続き、子宮がん（女）や甲状腺がん（女）、肺がん（女）も増加していましたが、逆に大腸がん（男女）や、肝および肝内胆管がん（男女）は減少傾向を示しました。肺がんは男女ともに最も死亡数の多い予後の悪い（5年相対生存率：36.4%）がんの一つとして知られていますが、年齢調整死亡率でみると男女ともに平成20年（2008）をピークに下がり始めている様子がうかがわれ、将来への期待を持たせるものでした。

改めてこの報告書を開きますと、その内容の充実度を実感することができました。広島県のがん登録にご協力いただいております医療機関の皆様にお礼を申し上げます。広島県、放射線影響研究所、および広島県医師会の強い連携と信頼関係を再確認し、今後への発展を誓いたいと思います。

平成25年（2013）5月

広島県医師会常任理事

有田 健一

V 付 表

平成22年(2010)

表1. 罹患数、罹患割合(%)、粗罹患率、年齢調整罹患率(人口10万対)及び累積罹患率(人口100対) ; 部位別、性別
A. 上皮内がんを除く

2010年

部位	罹患数		罹患割合(%)		粗罹患率		年齢調整罹患率		世界人口		累積罹患率(0-74歳)		
	ICD-10	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計
全部	C00-C96	11,505	8,524	20,029	100.0	100.0	833.3	575.9	700.1	467.2	319.9	381.1	330.3
口腔・咽頭	C00-C14	248	114	362	2.2	1.3	1.8	18.0	7.7	12.7	11.0	4.3	7.5
食道	C15	391	75	466	3.4	0.9	2.3	28.3	5.1	16.3	16.5	2.4	9.0
胃	C16	2,193	1,005	3,198	19.1	11.8	16.0	158.8	67.9	111.8	88.2	30.0	56.3
大腸(結腸・直腸)	C18-C20	1,568	1,235	2,803	13.6	14.5	14.0	113.6	83.4	98.0	65.2	39.5	51.1
結腸	C18	975	880	1,855	8.5	10.3	9.3	70.6	59.5	64.8	39.5	26.5	32.3
直腸	C19-C20	593	355	948	5.2	4.2	4.7	43.0	24.0	33.1	25.7	13.0	18.8
肝および肝内胆管	C22	909	493	1,402	7.9	5.8	7.0	65.8	33.3	49.0	36.9	13.6	24.3
胆のう・胆管	C23-C24	222	217	439	1.9	2.5	2.2	16.1	14.7	15.3	8.1	4.9	6.3
膀胱	C25	409	363	772	3.6	4.3	3.9	29.6	24.5	27.0	15.9	9.4	12.4
喉頭	C32	91	11	102	0.8	0.1	0.5	6.6	0.7	3.6	3.6	0.4	1.8
肺	C33-C34	1,640	855	2,495	14.3	10.0	12.5	118.8	57.8	87.2	63.4	26.4	42.6
皮膚	C43-C44	202	230	432	1.8	2.7	2.2	14.6	15.5	15.1	7.7	6.1	6.7
乳房	C50	16	1,688	1,704	0.1	19.8	8.5	1.2	114.0	59.6	0.7	84.8	44.1
子宮	C53-C55	-	556	556	-	6.5	2.8	-	37.6	-	-	30.0	-
子宮頸部	C53	-	233	233	-	2.7	1.2	-	15.7	-	-	14.1	-
子宮体部	C54	-	306	306	-	3.6	1.5	-	20.7	-	-	15.4	-
卵巣	C56	-	208	208	-	2.4	1.0	-	14.1	-	-	10.6	-
前立腺	C61	1,702	-	1,702	14.8	-	8.5	123.3	-	-	64.0	-	-
膀胱	C67	392	120	512	3.4	1.4	2.6	28.4	8.1	17.9	15.1	3.0	8.4
腎・尿路(膀胱除く)	C64-C66 C68	388	162	550	3.4	1.9	2.7	28.1	10.9	19.2	17.1	5.1	10.7
脳・中枢神経系	C70-C72	60	31	91	0.5	0.4	0.5	4.3	2.1	3.2	3.5	1.7	2.5
甲状腺	C73	110	396	506	1.0	4.6	2.5	8.0	26.8	17.7	5.7	21.4	13.7
悪性リンパ腫	C81-C85 C96	366	306	672	3.2	3.6	3.4	26.5	20.7	23.5	16.2	10.7	13.2
多発性骨髓腫	C88-C90	78	76	154	0.7	0.9	0.8	5.6	5.1	5.4	3.1	2.0	2.2
白血病	C91-C95	139	111	250	1.3	1.2	1.0	10.1	7.5	8.7	6.6	4.4	5.4

表1. 罹患数、罹患割合(%)、粗罹患率、年齢調整罹患率(人口10万対) 及び累積罹患率(人口100対) ; 部位別、性別
B. 上皮内がんを含む

部位	罹患数						罹患割合(%)			粗罹患率						年齢調整罹患率						世界人口			累積罹患率(0-74歳)		
	100-10 000-096 D001-D009			男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計
全部位	0	0	0	12,829	9,864	22,693	100,0	100,0	929,2	666,5	793,3	524,2	391,5	444,1	371,0	297,2	325,8	44,3	31,8	37,5	0	0	0	0,2	0,2	1,0	
食道	C15 D001	432	82	514	3,4	0,8	2,3	31,3	5,5	18,0	18,3	2,7	9,9	13,3	2,0	7,3	1,8	0,2	0,2	1,0	0	0	0	0	0	0	
大腸(結腸・直腸)*1	C18-C20 D010-D012	2,311	1,675	3,986	18,0	17,0	17,6	167,4	113,2	139,3	99,2	55,3	75,5	70,9	40,0	54,4	8,5	4,7	6,5	0	0	0	0	0	0	0	0
結腸*1	C18 D010	1,510	1,210	2,720	11,8	12,3	12,0	109,4	81,8	95,1	63,7	38,5	50,0	45,0	27,6	35,6	5,4	3,3	4,3	0	0	0	0	0	0	0	0
直腸*1	C19-C20 D011-D012	801	465	1,266	6,2	4,7	5,6	58,0	31,4	44,3	35,5	16,8	25,5	25,9	12,4	18,7	3,1	1,4	2,2	0	0	0	0	0	0	0	0
肺	C33-C34 D021-D022	1,642	856	2,498	12,8	8,7	11,0	118,9	57,8	87,3	63,5	26,5	42,6	43,7	18,9	29,9	5,1	2,3	3,6	0	0	0	0	0	0	0	0
皮膚	C43-C44 D030-D049	254	300	554	2,0	3,0	2,4	18,4	20,3	19,4	9,7	7,7	8,5	6,6	5,4	5,9	0,6	0,5	0,6	0	0	0	0	0	0	0	0
乳房	C50 D05	16	1,900	1,916	0,1	19,3	8,4	1,2	128,4	67,0	0,7	96,6	50,1	0,5	74,8	38,6	0,1	8,1	4,2	0	0	0	0	0	0	0	0
子宮	C53-C55 D06	-	1,036	1,036	-	10,5	4,6	-	70,0	-	-	67,9	-	-	56,0	-	-	5,0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
子宮頸部	C53 D06	-	713	713	-	7,2	3,1	-	48,2	-	-	52,0	-	-	43,7	-	-	3,7	-	0	0	0	0	0	0	0	0
膀胱	C67 D090	814	208	1,022	6,3	2,1	4,5	59,0	14,1	35,7	31,7	5,7	17,2	21,9	4,0	12,1	2,6	0,5	1,5	0	0	0	0	0	0	0	0

*1 粘膜がんを含む

表3. 年齢階級別罹患率（人口10万対）；部位別、性別
B. 上皮内がんを含む

2010年

性別		部位	ICD-10	0-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85歳以上	
男	全部位	C00-C96 D00-D09	7.9	13.6	7.3	11.3	27.7	36.5	37.2	35.7	111.0	284.8	495.3	918.2	1,519.6	2,201.1	3,100.6	3,841.8	4,152.6	4,248.9		
	食道	C15 D001	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	52.1	69.3	95.6	120.7	98.1	67.6	85.5		
	大腸（結腸・直腸）*1	C18-C20 D010-D012	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	2.5	5.5	24.6	32.3	73.3	141.2	210.5	302.5	382.1	514.2	698.7	595.7	566.3		
	結腸 *1	C18 D010	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	2.2	15.5	19.4	40.2	83.5	127.1	176.8	253.7	352.2	490.3	403.0	420.3	
	直腸 *1	C19-C20 D011-D012	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	1.3	3.3	9.1	12.9	33.1	52.6	83.4	125.7	138.4	161.9	208.4	192.7	146.0		
	肺	C33-C34 D021-D022	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	1.3	4.4	4.6	6.5	26.0	53.8	88.6	184.6	266.9	380.7	485.0	703.4	680.2		
	皮膚	C43-C44 D030-D049	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	13.5	19.1	18.7	54.0	68.3	132.7	185.2	
	乳房	C50 D05	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	膀胱	C67 D090	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.8	0.0	0.0	1.8	7.5	8.3	25.1	53.2	78.9	153.8	180.4	252.1	300.4	
女	全部位	C00-C96 D00-D09	14.9	12.8	3.0	15.1	52.2	143.0	216.4	285.9	396.8	574.0	636.0	697.9	872.8	1,079.5	1,352.9	1,522.1	1,708.0	2,121.2		
	食道	C15 D001	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	4.7	3.5	7.2	9.2	11.0	3.6	17.8	15.4
	大腸（結腸・直腸）*1	C18-C20 D010-D012	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	6.7	17.5	34.4	50.4	73.9	96.3	159.4	233.0	273.9	306.5	356.7	401.1	
	結腸 *1	C18 D010	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	4.5	11.9	17.2	26.9	48.1	69.7	111.8	161.3	204.3	227.6	269.0	308.4
	直腸 *1	C19-C20 D011-D012	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	5.5	17.2	23.4	25.8	26.6	47.6	71.7	69.7	78.8	87.6	92.7
	肺	C33-C34 D021-D022	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	4.6	9.7	17.6	23.5	52.3	83.4	127.5	150.2	142.4	204.5	217.2
	皮膚	C43-C44 D030-D049	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	1.1	1.8	0.0	10.5	7.0	7.2	15.9	19.9	34.8	67.4	75.3	142.5	
	乳房	C50 D05	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	6.5	35.7	63.4	167.7	249.5	233.5	206.0	228.6	215.1	204.3	193.3	152.2	154.9		
	子宮	C53-C55 D06	0.0	0.0	0.0	0.0	31.9	105.3	139.5	144.3	115.0	107.8	91.5	84.0	77.6	53.8	52.9	47.0	29.2	62.2		
	子宮頸部	C53 D06	0.0	0.0	0.0	0.0	30.4	105.3	133.9	125.9	100.0	77.3	43.4	41.0	35.9	15.9	24.0	19.1	12.3	22.1		
	膀胱	C67 D090	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	2.3	8.2	11.3	11.7	24.9	33.6	34.3	49.2	84.4		
男女計	全部位	C00-C96 D00-D09	11.3	13.2	5.2	13.1	39.7	88.9	125.9	185.3	254.0	430.1	566.4	807.1	1,190.1	1,612.9	2,153.8	2,498.0	2,638.2	2,720.7		
	食道	C15 D001	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	10.1	29.5	38.7	51.2	57.3	51.6	35.2	
	大腸（結腸・直腸）*1	C18-C20 D010-D012	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	2.6	6.1	21.0	33.4	61.8	107.2	152.9	229.6	308.7	384.0	471.5	447.6	447.3		
	結腸 *1	C18 D010	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	3.3	13.7	18.3	33.5	66.1	98.2	143.7	205.3	272.1	338.1	320.0	339.7	
	直腸 *1	C19-C20 D011-D012	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.6	2.8	7.3	15.1	28.2	39.1	54.8	85.9	103.4	112.0	133.3	127.6	107.6		
	肺	C33-C34 D021-D022	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.6	2.8	4.6	8.1	21.8	38.5	70.3	133.1	193.8	255.8	286.6	394.3	346.7		
	皮膚	C43-C44 D030-D049	0.0	0.8	0.0	0.0	2.1	0.6	0.6	1.4	1.6	8.2	8.3	10.3	17.4	19.3	43.6	67.8	97.1	154.4		
	乳房	C50 D05	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	3.2	17.7	32.0	84.5	125.3	117.9	104.4	116.9	113.9	115.2	113.4	95.2	111.6		
	膀胱	C67 D090	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	0.0	0.9	4.3	5.3	16.6	32.0	44.6	86.2	100.9	126.0	144.8	161.4			

*1 粘膜がんを含む

表4. 発見経緯(%) ; 部位別
A. 上皮内がんを除く

部位	ICD-10	集計対象数	がん検診	健診	他疾患の 経過観察中		剖検発見	(症状受診を含む)	その他・不明
					人間ドック	27.9			
全部位	C00-C96	19,064	5.5	8.3	13.2	0.0	0.0	86.5	86.5
口腔・咽頭	C00-C14	355	0.0	0.3	23.8	0.0	0.0	66.5	66.5
食道	C15	454	0.2	9.5	26.6	0.0	0.0	54.0	54.0
胃	C16	3,108	7.9	11.5	20.2	0.0	0.0	65.9	65.9
大腸（結腸・直腸）	C18-C20	2,710	7.2	6.7	22.3	0.1	0.1	63.9	63.9
結腸	C18	1,787	7.4	6.4	16.1	0.0	0.0	69.9	69.9
直腸	C19-C20	923	6.6	7.4	62.7	0.2	0.2	33.7	33.7
肝および肝内胆管	C22	1,254	0.7	2.6	25.4	0.0	0.0	71.3	71.3
胆のう・胆管	C23-C24	397	0.0	3.3	35.7	0.1	0.1	61.0	61.0
脾臓	C25	687	0.1	3.1	16.8	0.0	0.0	82.2	82.2
喉頭	C32	101	0.0	1.0	39.9	0.1	0.1	46.6	46.6
肺	C33-C34	2,286	5.7	7.6	0.5	7.2	0.0	92.3	92.3
皮膚	C43-C44	428	0.0	22.9	3.6	11.8	0.0	61.6	61.6
乳房	C50	1,675	1,660	23.1	3.7	11.7	0.0	61.4	61.4
乳房（女性のみ）	C50	1,660	539	11.9	6.3	14.5	0.0	67.3	67.3
子宮	C53-C55	230	27.0	2.6	15.7	0.0	0.0	54.8	54.8
子宮頸部	C53	301	0.0	9.3	14.0	0.0	0.0	76.7	76.7
子宮体部	C54	199	0.0	5.0	18.6	0.0	0.0	76.4	76.4
卵巣	C56	1,671	0.1	23.9	30.8	0.3	0.3	44.9	44.9
前立腺	C61	486	0.0	1.9	20.4	0.0	0.0	77.8	77.8
膀胱	C67	527	0.0	10.6	43.6	0.2	0.2	45.5	45.5
腎・尿路（膀胱除く）	C64-C66 C68	88	0.0	2.3	13.6	0.0	0.0	84.1	84.1
脳・中枢神経系	C70-C72	499	0.0	26.5	31.1	0.0	0.0	42.5	42.5
甲状腺	C73	640	1.1	2.8	20.3	0.0	0.0	75.8	75.8
悪性リンパ腫	C81-C85 C96	132	0.0	4.5	37.9	0.0	0.0	57.6	57.6
多発性骨髓腫	C88-C90	234	0.0	4.7	36.3	0.0	0.0	59.0	59.0
白血病	C91-C95								

表4. 発見経緯（%）；部位別
B. 上皮内がんを含む

部位	ICD-10	集計対象数	がん検診	人間ドック	他疾患の 経過観察中		剖検発見	その他・不明 (症状受診を含む)	2010年 国内DCOを除く届出患者、男女計
					全部位	C00-C96 D00-D09	21,728	6.8	8.5
食道	C15 D001	502	0.2	10.6	25.1	0.0	0.0	64.1	64.1
大腸（結腸・直腸）*1	C18-C20 D010-D012	3,893	8.9	9.0	21.3	0.0	0.0	60.8	60.8
結腸 *1	C18 D010	2,652	9.0	9.2	23.1	0.0	0.0	58.7	58.7
直腸 *1	C19-C20 D011-D012	1,241	8.8	8.5	17.4	0.0	0.0	65.3	65.3
肺	C33-C34 D021-D022	2,289	5.7	7.6	40.0	0.1	0.1	46.6	46.6
皮膚	C43-C44 D030-D049	550	0.0	0.4	6.9	0.0	0.0	92.7	92.7
乳房	C50 D05	1,887	24.9	3.8	12.2	0.0	0.0	59.0	59.0
乳房（女性のみ）	C50 D05	1,872	25.1	3.8	12.2	0.0	0.0	58.9	58.9
子宮	C53-C55 D06	1,019	26.2	6.8	15.8	0.0	0.0	51.2	51.2
子宮頸部	C53 D06	710	37.3	5.8	16.8	0.0	0.0	40.1	40.1
膀胱	C67 D090	996	0.0	2.7	22.0	0.0	0.0	75.3	75.3

*1 粘膜がんを含む

表5. 臨床進行度分布(%) ; 部位別
A. 上皮内がんを除く

部位	ICD-10	集計対象数	限局	所属リンパ節転移			遠隔転移	不明	2010年 国内DCOを除く届出患者、男女計
				C00-C14	45.6	8.5	13.5	29.9	
全部位	C00-C96	19,064							
口腔・咽頭		355	41.1	13.5	29.9	3.9			11.5
食道	C15	454	28.9	8.4	30.0	20.3			12.6
胃	C16	3,108	53.6	9.9	8.9	17.2			10.4
大腸（結腸・直腸）	C18-C20	2,710	44.2	16.2	14.6	18.3			6.7
結腸	C18	1,787	42.1	15.3	15.9	19.8			6.8
直腸	C19-C20	923	48.3	18.0	12.0	15.3			6.4
肝および肝内胆管	C22	1,254	56.0	1.4	22.0	10.0			10.5
胆のう・胆管	C23-C24	397	14.1	2.0	44.1	26.2			13.6
脾臓	C25	687	7.7	1.9	36.5	45.4			8.4
喉頭	C32	101	74.3	6.9	7.9	0.0			10.9
肺	C33-C34	2,286	35.3	7.4	16.0	32.9			8.4
皮膚	C43-C44	428	74.8	1.2	6.3	0.0			17.8
乳房	C50	1,675	59.6	20.4	6.4	4.8			8.8
乳房（女性のみ）	C50	1,660	59.7	20.4	6.3	4.8			8.9
子宮	C53-C55	539	59.0	3.2	22.6	7.2			8.0
子宮頸部	C53	230	53.9	3.5	27.4	7.8			7.4
子宮体部	C54	301	63.5	3.0	18.9	7.0			7.6
卵巢	C56	199	23.6	0.0	49.7	14.6			12.1
前立腺	C61	1,671	53.0	0.7	15.2	7.6			23.5
膀胱	C67	486	72.6	1.2	9.9	2.9			13.4
腎・尿路（膀胱除く）	C64-C66 C68	527	60.2	0.9	19.5	15.2			4.2
脳・中枢神経系	C70-C72	88	61.4	0.0	14.8	4.5			19.3
甲状腺	C73	499	50.7	29.3	8.4	2.2			9.4
悪性リンパ腫	C81-C85 C96	640	21.4	0.2	10.2	32.5			35.8
多発性骨髓腫	C88-C90	132	0.0	0.0	0.0	0.8			99.2
白血病	C91-C95	234	0.0	0.0	0.0	4.3			95.7

表5. 臨床進行度分布 (%) ; 部位別
B. 上皮内がんを含む

部位	ICD-10	集計対象数	上皮内がん	限局	国内DCOを除く届出患者、男女計				不明
					所属リンパ節転移	隣接臓器浸潤	遠隔転移	12.4	
全部位	C00-C96 D00-D09	21,728	12.2	40.0	7.4	13.6	14.3	12.4	
食道	C15 D001	502	9.4	26.1	7.6	27.1	18.3	11.6	
大腸（結腸・直腸）*1	C18-C20 D010-D012	3,893	30.4	30.8	11.3	10.2	12.7	4.7	
結腸*1	C18 D010	2,652	32.6	28.4	10.3	10.7	13.3	4.6	
直腸*1	C19-C20 D011-D012	1,241	25.5	35.9	13.4	8.9	11.4	4.8	
肺	C33-C34 D021-D022	2,289	0.1	35.3	7.4	16.0	32.8	8.4	
皮膚	C43-C44 D030-D049	550	22.2	58.2	0.9	4.9	0.0	13.8	
乳房	C50 D05	1,887	10.9	52.9	18.1	5.7	4.2	8.1	
乳房（女性のみ）	C50 D05	1,872	11.0	52.9	18.1	5.6	4.3	8.2	
子宮	C53-C55 D06	1,019	47.0	31.2	1.7	12.0	3.8	4.3	
子宮頸部	C53 D06	710	67.5	17.5	1.1	8.9	2.5	2.5	
膀胱	C67 D090	996	50.9	35.4	0.6	4.8	1.4	6.8	

*1 粘膜がんを含む

表6. 受療割合(%) ; 部位別 *1
A. 上皮内がんを除く

部位	ICD-10	集計対象数	国内DCOを除く届出患者、男女計				特異療法なしまたは 治療方法不明
			外科・体腔鏡的治療	放射線療法	化学・免疫・ 内分泌療法	37.8	
全部位	C00-C96	19,064	56.8	10.9	37.8	37.8	21.5
口腔・咽頭	C00-C14	355	40.3	53.8	49.3	49.3	17.5
食道	C15	454	38.3	44.1	54.6	54.6	18.5
胃	C16	3,108	72.0	0.8	23.9	23.9	18.5
大腸（結腸・直腸）	C18-C20	2,710	82.5	1.6	30.9	30.9	13.7
結腸	C18	1,787	82.0	0.3	30.2	30.2	14.7
直腸	C19-C20	923	83.3	4.1	32.2	32.2	11.8
肝および肝内胆管	C22	1,254	26.9	2.4	44.5	44.5	23.5
胆のう・胆管	C23-C24	397	55.7	2.3	30.0	30.0	24.7
脾臓	C25	687	38.1	3.9	51.4	51.4	27.5
喉頭	C32	101	23.8	78.2	50.5	50.5	12.9
肺	C33-C34	2,286	41.1	16.2	40.3	40.3	23.7
皮膚	C43-C44	428	71.5	3.5	4.2	4.2	26.6
乳房	C50	1,675	80.7	34.8	64.2	64.2	12.4
乳房（女性のみ）	C50	1,660	80.6	35.1	64.0	64.0	12.5
子宮	C53-C55	539	70.7	20.4	36.7	36.7	13.5
子宮頸部	C53	230	57.0	38.3	36.5	36.5	11.7
子宮体部	C54	301	82.1	7.3	37.9	37.9	13.6
卵巣	C56	199	80.9	0.0	64.8	64.8	12.1
前立腺	C61	1,671	27.8	9.8	40.0	40.0	34.0
膀胱	C67	486	75.7	4.5	29.8	29.8	21.6
腎・尿路（膀胱除く）	C64-C66 C68	527	76.9	3.4	15.2	15.2	15.9
脳・中枢神経系	C70-C72	88	64.8	46.6	52.3	52.3	29.5
甲状腺	C73	499	80.4	2.2	23.6	23.6	18.6
悪性リンパ腫	C81-C85 C96	640	11.6	7.8	49.2	49.2	38.4
多発性骨髓腫	C88-C90	132	0.0	7.6	53.8	53.8	42.4
白血病	C91-C95	234	0.0	4.3	67.5	67.5	30.3

*1 重複を含むため合計は100%にならない

表6. 受療割合(%) ; 部位別 *1
B. 上皮内がんを含む

部位	ICD-10	集計対象数	国内DCOを除く届出患者、男女計			
			外科・体腔鏡 内視鏡的治療	放射線療法	化学・免疫・ 内分泌療法	特異療法なしまたは 治療方法不明
全部位	C00-C96 D00-D09	21,728	58.7	10.0	33.9	22.2
食道	C15 D001	502	41.8	39.8	49.4	19.1
大腸（結腸・直腸）*2	C18-C20 D010-D012	3,893	78.9	1.1	21.8	18.3
結腸 *2	C18 D010	2,652	78.7	0.2	20.7	19.0
直腸 *2	C19-C20 D011-D012	1,241	79.4	3.1	24.1	17.0
肺	C33-C34 D021-D022	2,289	41.2	16.2	40.3	23.6
皮膚	C43-C44 D030-D049	550	70.2	2.7	3.3	28.4
乳房	C50 D05	1,887	80.9	35.2	60.1	12.9
乳房（女性のみ）	C50 D05	1,872	80.8	35.5	59.9	13.0
子宮	C53-C55 D06	1,019	76.7	10.8	19.5	14.8
子宮頸部	C53 D06	710	74.9	12.4	12.0	14.8
膀胱	C67 D090	996	69.7	2.3	23.1	28.4

*1 重複を含めため合計は100%にならない

*2 粘膜がんを含む

表7. 切除内容(%) ; 部位別
A. 上皮内がんを除く

部位	ICD-10	外科・体腔鏡 内視鏡治療数			完全切除			不完全切除			治癒度不明			姑息・対症 転移巣切除			国内DCOを除く届出患者、男女計		
		C00-C96	10,819	81.3	8.4	3.4	8.4	3.4	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	2.8		
全部位																			
口腔・咽頭	C00-C14	143	83.2	7.7	2.1	7.0	7.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
食道	C15	174	81.0	10.9	0.6	5.7	5.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7		
胃	C16	2,238	85.0	7.3	1.8	3.6	3.6	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3		
大腸（結腸・直腸）	C18-C20	2,235	79.2	11.2	2.2	4.0	4.0	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4		
結腸	C18	1,466	78.3	12.2	2.1	4.0	4.0	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4		
直腸	C19-C20	769	80.9	9.4	2.5	4.0	4.0	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3		
肝および肝内胆管	C22	337	78.9	10.7	0.3	7.7	7.7	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4		
胆のう・胆管	C23-C24	221	58.4	8.1	1.8	29.9	29.9	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8		
脾臓	C25	262	46.2	13.4	3.8	32.8	32.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8		
喉頭	C32	24	37.5	25.0	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5		
肺	C33-C34	940	89.3	4.1	1.9	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3		
皮膚	C43-C44	306	93.5	2.9	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0		
乳房	C50	1,352	89.9	3.0	4.4	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	2.6		
乳房（女性のみ）	C50	1,338	89.8	2.9	4.4	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	2.6		
子宮	C53-C55	381	78.5	6.3	12.6	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.6		
子宮頸部	C53	131	79.4	5.3	12.2	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	2.3		
子宮体部	C54	247	78.1	6.9	13.0	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	0.8		
卵巢	C56	161	54.0	24.2	15.5	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	1.2		
前立腺	C61	464	85.6	6.9	4.5	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	2.2		
膀胱	C67	368	71.5	12.2	7.6	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	6.5		
腎・尿路（膀胱除く）	C64-C66 C68	405	88.6	5.4	2.5	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	2.2		
脳・中枢神経系	C70-C72	57	19.3	66.7	1.8	8.8	8.8	8.8	8.8	8.8	8.8	8.8	8.8	8.8	8.8	8.8	3.5		
甲状腺	C73	401	85.3	6.7	2.7	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	4.7		
悪性リンパ腫	C81-C85 C96	74	44.6	24.3	14.9	10.8	10.8	5.4	5.4	5.4	5.4	5.4	5.4	5.4	5.4	5.4	5.4		
多発性骨髓腫	C88-C90	0		
白血病	C91-C95	0		

表7. 切除内容(%) ; 部位別
B. 上皮内がんを含む

部位	ICD-10	C00-C96 D00-D09	12,746	外科・内視鏡治療数		不完全切除	完全切除	治療度不明	姑息・転移巣切除	2010年
				内視鏡治療数	外外科治療数					
全部位				83.0	7.3	3.3	3.3	3.6	3.6	2.8
食道	C15 D001	210	82.9	9.0	1.4	4.8	4.8	1.4	1.9	
大腸（結腸・直腸）*1	C18-C20 D010-D012	3,073	83.2	8.3	1.9	2.9	2.9	3.7	3.7	
結腸 *1	C18 D010	2,088	82.9	8.7	1.8	2.8	2.8	3.8	3.8	
直腸 *1	C19-C20 D011-D012	985	84.0	7.4	2.1	3.1	3.1	3.4	3.4	
肺	C33-C34 D021-D022	943	89.3	4.1	1.9	2.3	2.3	2.3	2.3	
皮膚	C43-C44 D030-D049	386	94.6	2.3	2.3	0.0	0.0	0.8	0.8	
乳房	C50 D05	1,527	90.4	2.7	4.3	0.2	0.2	2.5	2.5	
乳房（女性のみ）	C50 D05	1,513	90.4	2.6	4.3	0.2	0.2	2.5	2.5	
子宮	C53-C55 D06	782	86.1	3.7	8.1	0.5	0.5	1.7	1.7	
子宮頸部	C53 D06	532	89.8	2.3	5.8	0.2	0.2	1.9	1.9	
膀胱	C67 D090	694	78.8	8.1	6.5	1.2	1.2	5.5	5.5	

*1 粘膜がんを含む

表8. 精度指標；部位別、性別
A. 上皮内がんを除く

部位	ICD-10	罹患／死亡比 (M比)				死亡情報で初めて 把握された症例 DCN (%)				死亡情報のみの 症例 DC0 (%)				病理学的裏付けの ある症例 MV (%)				組織学的裏付けの ある症例 HV (%)					
		男		男女計		男		女		男女計		男		女		男女計		男		女		男女計	
		000-096	2.41	2.59	2.49	6.2	8.6	7.2	3.9	6.1	4.8	3.6	5.7	4.5	87.9	86.8	87.4	83.7	83.0	83.4			
全部位																							
口腔・咽頭	C00-C14	2.85	2.04	2.53	1.6	5.3	2.8	1.2	3.5	1.9	1.2	3.5	1.9	97.6	94.7	96.7	95.6	94.7	95.3				
食道	C15	2.06	1.79	2.01	2.8	8.0	3.6	1.8	6.7	2.6	1.8	6.7	2.6	95.9	90.7	95.1	95.7	90.7	94.8				
胃	C16	3.04	2.54	2.86	4.1	6.5	4.8	2.5	3.6	2.8	2.4	3.6	2.8	96.3	94.6	95.7	96.0	94.1	95.4				
大腸（結腸・直腸）	C18-C20	3.21	2.93	3.08	3.5	6.2	4.7	2.0	4.9	3.3	1.8	4.9	3.2	96.1	92.1	94.4	96.0	92.1	94.3				
結腸	C18	3.12	2.87	2.99	4.1	6.8	5.4	2.3	5.2	3.7	1.9	5.2	3.5	95.9	91.4	93.7	95.8	91.4	93.7				
直腸	C19-C20	3.37	3.11	3.27	2.5	4.8	3.4	1.7	4.2	2.6	1.7	3.9	2.5	96.5	94.1	95.6	96.5	94.1	95.6				
肝および肝内胆管	C22	1.27	1.29	1.28	14.6	19.9	16.5	8.4	14.6	10.6	8.4	14.6	10.6	39.3	30.2	36.1	37.5	29.4	34.7				
胆のう・胆管	C23-C24	1.40	1.30	1.35	12.2	22.1	17.1	5.4	13.8	9.6	5.4	13.8	9.6	75.7	64.1	69.9	59.9	50.7	55.4				
膀胱	C25	1.20	1.15	1.18	12.0	20.7	16.1	6.8	15.7	11.0	6.8	15.7	11.0	68.0	58.7	63.6	57.0	49.0	53.2				
喉頭	C32	4.55	2.75	4.25	1.1	18.2	2.9	0.0	9.1	1.0	0.0	9.1	1.0	100.0	90.9	99.0	100.0	90.9	99.0				
肺	C33-C34	1.57	1.95	1.68	10.9	13.8	11.9	7.4	10.3	8.4	6.6	9.4	7.5	85.2	82.7	84.3	66.1	67.0	66.4				
皮膚	C43-C44	18.36	16.43	17.28	0.5	1.7	0.5	1.2	0.5	1.3	0.9	0.0	0.9	0.5	100.0	98.7	99.3	100.0	98.7	99.3			
乳房	C50	3.20	6.37	6.31	6.3	2.5	2.5	6.3	1.7	1.7	6.3	1.5	1.5	93.8	97.6	97.5	93.8	96.3	96.2				
子宮	C53-C55	-	3.89	3.89	-	4.9	4.9	-	3.1	3.1	-	3.1	3.1	-	95.5	95.5	-	94.1	94.1				
子宮頸部	C53	-	4.02	4.02	-	4.3	4.3	-	1.3	1.3	-	1.3	1.3	-	97.0	97.0	-	95.7	95.7				
子宮体部	C54	-	6.38	6.38	-	2.0	2.0	-	1.6	1.6	-	1.6	1.6	-	97.7	97.7	-	96.7	96.7				
卵巢	C56	-	2.60	2.60	-	6.3	6.3	-	4.3	4.3	-	3.8	3.8	-	91.8	91.8	-	88.0	88.0				
前立腺	C61	6.67	-	6.67	2.6	-	2.6	1.8	-	1.8	-	1.8	-	94.9	-	94.9	-	94.7	-				
膀胱	C67	3.77	2.45	3.35	4.8	10.8	6.3	3.8	9.2	5.1	3.8	9.2	5.1	94.1	85.0	92.0	92.1	80.0	89.3				
腎・尿路（膀胱除<）	C64-C66 C68	3.13	2.45	2.89	2.8	13.0	5.8	1.8	9.9	4.2	1.5	9.9	4.0	91.0	79.0	87.5	88.1	72.2	83.5				
脳・中枢神経系	C70-C72	2.73	1.24	1.94	5.0	12.9	7.7	3.3	3.2	3.3	0.0	0.0	0.0	73.3	71.0	72.5	73.3	71.0	72.5				
甲状腺	C73	11.00	15.23	14.06	3.6	1.5	2.0	2.7	1.0	1.4	2.7	0.8	1.2	97.3	98.7	98.4	95.5	95.7	95.7				
悪性リンパ腫	C81-C85 C96	2.77	2.62	2.70	6.3	7.5	6.8	4.4	5.2	4.8	4.4	5.2	4.8	91.3	92.2	91.7	89.6	89.5	89.6				
多発性骨髓腫	C88-C90	1.50	1.49	1.50	12.8	23.7	18.2	10.3	18.4	14.3	10.3	17.1	13.6	82.1	73.7	77.9	74.4	72.4	73.4				
白血病	C91-C95	1.16	1.48	1.28	9.4	15.3	12.0	3.6	9.9	6.4	0.7	0.9	0.8	98.6	98.2	98.4	88.5	77.5	83.6				

表8. 精度指標；部立別、性別
A'. 上皮内がんを除く

部位	ICD-10	死亡情報のみの症例 DCN (%)						死亡情報のみの症例 DCN (%)						病理学的裏付けのある症例 MV (%)					
		把握された症例 DCN (%)			国際 DCO (%)			病理学的裏付けのある症例 MV (%)			男 女 男女計			男 女 男女計			男 女 男女計		
		男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計
全部位	C00-C96	6.2	8.6	7.2	3.9	6.1	4.8	3.6	5.7	4.5	87.9	86.8	87.4	83.7	83.0	83.4			
口腔・咽頭	C00-C14	1.6	5.3	2.8	1.2	3.5	1.9	1.2	3.5	1.9	97.6	94.7	96.7	95.6	94.7	95.3			
食道	C15	2.8	8.0	3.6	1.8	6.7	2.6	1.8	6.7	2.6	95.9	90.7	95.1	95.7	90.7	94.8			
胃	C16	4.1	6.5	4.8	2.5	3.6	2.8	2.4	3.6	2.8	96.3	94.6	95.7	96.0	94.1	95.4			
大腸（結腸・直腸）	C18-C20	3.5	6.2	4.7	2.0	4.9	3.3	1.8	4.9	3.2	96.1	92.1	94.4	96.0	92.1	94.3			
結腸	C18	4.1	6.8	5.4	2.3	5.2	3.7	1.9	5.2	3.5	95.9	91.4	93.7	95.8	91.4	93.7			
直腸	C19-C20	2.5	4.8	3.4	1.7	4.2	2.6	1.7	3.9	2.5	96.5	94.1	95.6	96.5	94.1	95.6			
肝および肝内胆管	C22	14.6	19.9	16.5	8.4	14.6	10.6	8.4	14.6	10.6	39.3	30.2	36.1	37.5	29.4	34.7			
胆のう・胆管	C23-C24	12.2	22.1	17.1	5.4	13.8	9.6	5.4	13.8	9.6	75.7	64.1	69.9	59.9	50.7	55.4			
膀胱	C25	12.0	20.7	16.1	6.8	15.7	11.0	6.8	15.7	11.0	68.0	58.7	63.6	57.0	49.0	53.2			
喉頭	C32	1.1	18.2	2.9	0.0	9.1	1.0	0.0	9.1	1.0	100.0	90.9	99.0	100.0	90.9	99.0			
肺	C33-C34	10.9	13.8	11.9	7.4	10.3	8.4	6.6	9.4	7.5	85.2	82.7	84.3	66.1	67.0	66.4			
皮膚	C43-C44	0.5	1.7	1.2	0.5	1.3	0.9	0.0	0.9	0.5	100.0	98.7	99.3	100.0	98.7	99.3			
乳房	C50	6.3	2.5	2.5	6.3	1.7	1.7	6.3	1.7	1.5	93.8	97.6	97.5	93.8	97.6	96.2			
子宮	C53-C55	-	4.9	4.9	-	3.1	3.1	-	3.1	3.1	-	95.5	95.5	-	94.1	94.1			
子宮頸部	C53	-	4.3	4.3	-	1.3	1.3	-	1.3	1.3	-	97.0	97.0	-	95.7	95.7			
子宮体部	C54	-	2.0	2.0	-	1.6	1.6	-	1.6	1.6	-	97.7	97.7	-	96.7	96.7			
卵巢	C56	-	6.3	6.3	-	4.3	4.3	-	3.8	3.8	-	91.8	91.8	-	88.0	88.0			
前立腺	C61	2.6	-	2.6	1.8	-	1.8	1.8	-	1.8	94.9	-	94.9	94.7	-	94.7			
膀胱	C67	4.8	10.8	6.3	3.8	9.2	5.1	3.8	9.2	5.1	94.1	85.0	92.0	92.1	80.0	89.3			
腎・尿路（膀胱除く）	C64-C66 C68	2.8	13.0	5.8	1.8	9.9	4.2	1.5	9.9	4.0	91.0	79.0	87.5	88.1	72.2	83.5			
脳・中枢神経系	C70-C72	5.0	12.9	7.7	3.3	3.2	3.3	0.0	0.0	0.0	73.3	71.0	72.5	73.3	71.0	72.5			
甲状腺	C73	3.6	1.5	2.0	2.7	1.0	1.4	2.7	0.8	1.2	97.3	98.7	98.4	95.5	95.7	95.7			
悪性リンパ腫	C81-C85 C96	6.3	7.5	6.8	4.4	5.2	4.8	4.4	5.2	4.8	91.3	92.2	91.7	89.6	89.5	89.6			
多発性骨髓腫	C88-C90	12.8	23.7	18.2	10.3	18.4	14.3	10.3	17.1	13.6	82.1	73.7	77.9	74.4	72.4	73.4			
白血病	C91-C95	9.4	15.3	12.0	3.6	9.9	6.4	0.7	0.9	0.8	98.6	98.2	98.4	88.5	77.5	83.6			

表8. 精度指標；部位別、性別
B. 上皮内がんを含む

部位	ICD-10	罹患／死亡比 (IM比)		死亡情報で初めて 把握された症例 DCN (%)		死亡情報のみの 症例 DCN (%)		国際 DCO (%)		病理学的裏付けの ある症例 HV (%)		組織学的裏付けの ある症例 HV (%)	
		男		女		男女計		男		女		男女計	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
全部位	C00-C96 D00-D09	2.69	3.00	2.82	5.5	7.4	6.3	3.5	5.2	4.3	3.3	4.9	4.0
食道	C15 D001	2.27	1.95	2.22	2.5	7.3	3.3	1.6	6.1	2.3	96.3	91.5	95.5
大腸 (結腸・直腸) *1	C18-C20 D010-D012	4.73	3.98	4.38	2.4	4.6	3.3	1.4	3.6	2.2	97.4	94.2	96.0
結腸 *1	C18 D010	4.82	3.94	4.39	2.6	5.0	3.7	1.5	3.8	2.4	97.4	93.7	93.7
直腸 *1	C19-C20 D011-D012	4.55	4.08	4.37	1.9	3.7	2.5	1.2	3.2	1.2	3.0	1.9	97.4
肺	C33-C34 D021-D022	1.57	1.95	1.69	10.8	13.8	11.8	7.4	10.3	8.4	6.6	9.3	7.5
皮膚	C43-C44 D030-D049	23.09	21.43	22.16	0.4	1.3	0.9	0.4	1.0	0.7	0.0	0.7	0.4
乳房	C50 D05	3.20	7.17	7.10	6.3	2.2	2.2	6.3	1.5	6.3	1.3	1.4	93.8
子宮	C53-C55 D06	-	7.24	7.24	-	2.6	2.6	-	1.6	1.6	-	97.6	-
子宮頸部	C53 D06	-	12.29	12.29	-	1.4	1.4	-	0.4	0.4	-	99.0	-
膀胱	C67 D090	7.83	4.24	6.68	2.3	6.3	3.1	1.8	5.3	2.5	1.8	5.3	2.5

*1 粘膜がんを含む

表8. 精度指標；部位別、性別
B'. 上皮内がんを含む

部位	ICD-10	死亡情報で初めて 把握された症例 DCN (%)		死亡情報のみの 症例 DCN (%)		国際 DCO (%)		病理学的裏付けの ある症例 HV (%)		組織学的裏付けの ある症例 HV (%)			
		男		女		男女計		男		女		男女計	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
全部位	C00-C96 D00-D09	5.5	7.4	6.3	3.5	5.2	4.3	3.3	4.9	4.0	89.1	88.6	88.9
食道	C15 D001	2.5	7.3	3.3	1.6	6.1	2.3	1.6	6.1	2.3	96.3	91.5	95.5
大腸 (結腸・直腸) *1	C18-C20 D010-D012	2.4	4.6	3.3	1.4	3.6	2.3	1.3	3.6	2.2	97.4	94.2	96.0
結腸 *1	C18 D010	2.6	5.0	3.7	1.5	3.8	2.5	1.3	3.8	2.4	97.4	93.7	93.7
直腸 *1	C19-C20 D011-D012	1.9	3.7	2.5	1.2	3.2	2.0	1.2	3.0	1.9	97.4	95.5	96.7
肺	C33-C34 D021-D022	10.8	13.8	11.8	7.4	10.3	8.4	6.6	9.3	7.5	85.2	82.7	84.3
皮膚	C43-C44 D030-D049	0.4	1.3	0.9	0.4	1.0	0.7	0.0	0.7	0.4	100.0	99.0	99.5
乳房	C50 D05	6.3	2.2	2.2	6.3	1.5	1.5	6.3	1.3	1.4	93.8	97.8	96.6
子宮	C53-C55 D06	-	2.6	2.6	-	1.6	1.6	-	1.6	1.6	-	97.6	97.6
子宮頸部	C53 D06	-	1.4	1.4	-	0.4	0.4	-	0.4	0.4	-	99.0	-
膀胱	C67 D090	2.3	6.3	3.1	1.8	5.3	2.5	1.8	5.3	2.5	97.2	91.3	96.0

*1 粘膜がんを含む

表9. 死亡数、死亡割合(%)、粗死亡率、年齢調整死亡率(人口10万対) 及び累積死亡率(人口10万対) ; 部位別、性別
2010年

部位	ICD-10	死亡数						死亡割合(%)						年齢調整死亡率						累積死亡率(0~74歳)									
		男			男女計			男			女			男女計			男			女			男女計			男			
		C00-C97	4,778	3,292	8,070	100,0	100,0	346,1	222,4	282,1	177,6	86,3	125,3	120,0	60,0	85,9	12,7	6,0	9,2	日本人口	世界人口	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女
全部位																													
口腔・咽頭	C00-C14	87	56	143	1,8	1,7	6,3	3,8	5,0	3,6	1,1	2,3	2,5	0,7	1,6	0,3	0,1	0,2											
食道	C15	190	42	232	4,0	1,3	2,9	13,8	2,8	8,1	7,5	0,9	3,9	5,3	0,6	2,8	0,7	0,1	0,3										
胃	C16	722	396	1,118	15,1	12,0	13,9	52,3	26,8	39,1	26,7	10,2	17,2	18,3	7,1	11,9	2,0	0,7	1,3										
大腸(結腸・直腸)	C18-C20	489	421	910	10,2	12,8	11,3	35,4	28,4	31,8	18,5	10,4	14,0	12,8	7,2	9,7	1,4	0,7	1,0										
結腸	C18	313	307	620	6,6	9,3	7,7	22,7	20,7	21,7	11,7	7,1	9,1	8,0	4,8	6,2	0,8	0,4	0,6										
直腸	C19-C20	176	114	290	3,7	3,5	3,6	12,7	7,7	10,1	6,9	3,3	4,9	4,9	2,4	3,5	0,5	0,2	0,4										
肝および肝内胆管	C22	713	383	1,096	14,9	11,6	13,6	51,6	25,9	38,3	27,7	8,9	17,4	18,7	5,5	11,6	2,1	0,5	1,3										
胆のう・胆管	C23-C24	159	167	326	3,3	5,1	4,0	11,5	11,3	11,4	5,5	3,2	4,2	3,6	2,1	2,7	0,3	0,2	0,2										
脾臍	C25	340	316	656	7,1	9,6	8,1	24,6	21,4	22,9	12,8	7,8	10,0	8,7	5,3	6,8	1,0	0,6	0,8										
喉頭	C32	20	4	24	0,4	0,1	0,3	1,4	0,3	0,8	0,8	0,1	0,4	0,5	0,1	0,3	0,0	0,0	0,0										
肺	C33-C34	1,044	438	1,482	21,9	13,3	18,4	75,6	29,6	51,8	37,7	10,8	22,3	25,0	7,3	15,0	2,7	0,8	1,7										
皮膚	C43-C44	11	14	25	0,2	0,4	0,3	0,8	0,9	0,9	0,4	0,3	0,4	0,3	0,2	0,3	0,0	0,0	0,0										
乳房	C50	5	265	270	0,1	8,0	3,3	0,4	17,9	9,4	0,2	10,9	5,8	0,1	8,3	4,4	0,0	0,9	0,5										
子宮	C53-C55	-	143	143	-	4,3	1,8	-	9,7	-	-	4,9	-	-	-	3,6	-	-	-										
子宮頸部	C53	-	58	58	-	1,8	0,7	-	3,9	-	-	2,2	-	-	-	1,7	-	-	-										
子宮体部	C54	-	48	48	-	1,5	0,6	-	3,2	-	-	1,6	-	-	-	1,2	-	-	-										
卵巢	C56	-	80	80	-	2,4	1,0	-	5,4	-	-	3,1	-	-	-	2,4	-	-	-										
前立腺	C61	255	-	255	5,3	-	3,2	18,5	-	-	7,9	-	-	-	4,9	-	-	-											
膀胱	C67	104	49	153	2,2	1,5	1,9	7,5	3,3	5,3	3,3	0,8	1,8	2,1	0,5	1,1	0,1	0,0	0,1										
腎・尿路(膀胱除く)	C64-C66 C68	124	66	190	2,6	2,0	2,4	9,0	4,5	6,6	4,6	1,2	2,7	3,0	0,8	1,8	0,3	0,1	0,2										
脳・中枢神経系	C70-C72	22	25	47	0,5	0,8	0,6	1,6	1,7	1,6	1,1	1,0	0,8	0,7	0,8	0,1	0,1	0,1	0,1										
甲状腺	C73	10	26	36	0,2	0,8	0,4	0,7	1,3	0,4	0,6	0,5	0,3	0,4	0,3	0,4	0,0	0,0	0,0										
悪性リンパ腫	C81-C85 C96	132	117	249	2,8	3,6	3,1	9,6	7,9	8,7	5,3	2,5	3,8	3,6	1,6	2,5	0,4	0,1	0,2										
多発性骨髓腫	C88-C90	52	51	103	1,1	1,5	1,3	3,8	3,4	3,6	1,8	1,1	1,4	1,2	0,7	0,9	0,1	0,1	0,1										
白血病	C91-C95	120	75	195	2,5	2,3	2,4	8,7	5,1	6,8	4,8	1,9	3,2	3,4	1,4	2,3	0,3	0,1	0,2										

表12. 5年相対生存率(%) *1
A. 部位別、性別

部位	ICD-10	男			女			男女計		
		対象者数	5年相対生存率(%)	標準誤差	対象者数	5年相対生存率(%)	標準誤差	対象者数	5年相対生存率(%)	標準誤差
全部	C00-C96	8,239	65.0	0.7	6,040	68.7	0.7	14,279	66.6	0.5
口腔・咽頭	C00-C14	182	64.2	4.3	81	65.1	6.0	263	64.5	3.5
食道	C15	285	39.1	3.2	51	40.0	7.5	336	39.2	3.0
胃	C16	1,668	68.9	1.5	806	63.6	2.0	2,474	67.1	1.2
大腸（結腸・直腸）*2	C18-C20	1,331	78.3	1.5	1,052	72.3	1.7	2,383	75.6	1.1
結腸	C18	801	80.0	2.0	723	72.4	2.1	1,524	76.4	1.4
直腸	C19-C20	530	75.9	2.4	329	72.1	3.0	859	74.4	1.9
肝および肝内胆管	C22	640	36.9	2.2	330	40.5	3.0	970	38.1	1.8
胆のう・胆管	C23-C24	133	31.5	4.6	155	25.5	3.9	288	28.2	3.0
膀胱	C25	198	9.3	2.3	186	7.8	2.1	384	8.5	1.5
喉頭	C32	79	76.3	6.3	8	66.1	19.5	87	75.8	6.0
肺	C33-C34	975	32.1	1.7	447	45.5	2.6	1,422	36.4	1.4
皮膚	C43-C44	138	85.6	5.4	135	86.2	5.3	273	85.9	3.8
乳房	C50	4	100.0	0.0	1,166	90.7	1.1	1,170	90.8	1.1
子宮	C53-C55	—	—	—	412	82.5	2.1	412	82.5	2.1
子宮頸部	C53	—	—	—	205	77.0	3.3	205	77.0	3.3
子宮体部	C54	—	—	—	206	88.0	2.6	206	88.0	2.6
卵巢	C56	—	—	—	137	65.9	4.3	137	65.9	4.3
前立腺	C61	1,201	98.3	1.5	—	—	—	1,201	98.3	1.5
膀胱	C67	432	84.9	2.8	129	77.7	5.1	561	83.5	2.5
腎・尿路（膀胱除<）	C64-C66 C68	241	73.8	3.6	112	71.3	4.9	353	73.0	2.9
脳・中枢神経系	C70-C72	47	33.4	7.2	34	50.6	9.4	81	40.5	5.8
甲状腺	C73	74	95.7	3.5	341	96.3	1.4	415	96.4	1.3
悪性リンパ腫	C81-C85 C96	254	66.2	3.7	208	72.5	3.6	462	69.0	2.6
多発性骨髓腫	C88-C90	49	32.6	7.7	40	34.7	8.3	89	33.6	5.7
白血病	C91-C95	90	34.6	5.7	81	39.7	5.8	171	37.2	4.1
小兒がん		10	88.9	10.5	8	87.5	11.7	18	88.3	7.8

*1 準充届出患者を含まない

*2 粘膜がんを含まない

表12.5年相対生存率(%) *1

B. 主要部位別、性別、臨床進行度別

2006年

部位	ICD-10	臨床 進行度	男			女			男女計		
			対象者数	5年相対生存率	標準誤差	対象者数	5年相対生存率	標準誤差	対象者数	5年相対生存率	標準誤差
全部位	C00-C96	限局	3,220	88.5	0.9	2,398	89.4	0.9	5,618	88.9	0.6
		領域	1,563	48.6	1.5	1,335	62.0	1.5	2,898	54.8	1.1
		遠隔	1,250	10.9	1.0	749	14.4	1.4	1,999	12.2	0.8
		不明	2,206	73.3	1.3	1,558	68.5	1.4	3,764	71.3	1.0
		合計	8,239	65.0	0.7	6,040	68.7	0.7	14,279	66.6	0.5
胃	C16	限局	742	97.0	1.6	346	94.5	2.1	1,088	96.9	1.3
		領域	301	47.3	3.4	150	39.5	4.4	451	44.7	2.7
		遠隔	265	10.0	2.0	116	2.8	1.6	381	7.7	1.5
		不明	360	69.6	3.3	194	61.8	4.2	554	66.8	2.6
		合計	1,668	68.9	1.5	806	63.6	2.0	2,474	67.1	1.2
大腸（結腸・直腸）*2	C18-C20	限局	504	97.9	2.0	353	92.3	2.4	857	95.7	1.5
		領域	339	77.9	3.1	283	70.8	3.3	622	74.6	2.3
		遠隔	175	12.4	2.7	160	19.5	3.4	335	15.7	2.2
		不明	313	84.0	3.1	256	79.4	3.4	569	82.2	2.3
		合計	1,331	78.3	1.5	1,052	72.3	1.7	2,383	75.6	1.1
結腸	C18	限局	306	100.0	2.5	242	94.0	2.8	548	98.3	1.9
		領域	205	75.0	4.0	194	71.9	4.0	399	73.5	2.8
		遠隔	110	12.8	3.5	118	19.5	4.0	228	16.3	2.7
		不明	180	87.9	4.1	169	78.8	4.2	349	84.1	3.0
		合計	801	80.0	2.0	723	72.4	2.1	1,524	76.4	1.4
直腸	C19-C20	限局	198	91.6	3.2	111	88.1	4.4	309	90.5	2.6
		領域	134	81.6	4.7	89	68.4	5.9	223	76.7	3.7
		遠隔	65	11.7	4.2	42	19.4	6.6	107	14.6	3.6
		不明	133	78.6	4.8	87	79.3	5.9	220	79.0	3.7
		合計	530	75.9	2.4	329	72.1	3.0	859	74.4	1.9
肝および肝内胆管	C22	限局	396	45.9	2.9	226	49.5	3.7	622	47.2	2.3
		領域	69	5.1	2.9	28	3.9	3.9	97	4.7	2.3
		遠隔	64	0.0	0.0	22	0.0	0.0	86	0.0	0.0
		不明	111	46.4	5.4	54	37.9	7.4	165	43.7	4.4
		合計	640	36.9	2.2	330	40.5	3.0	970	38.1	1.8
肺	C33-C34	限局	241	79.1	3.7	155	90.9	3.2	396	84.2	2.5
		領域	270	29.9	3.1	94	24.2	4.8	364	28.4	2.6
		遠隔	343	2.4	0.9	141	7.2	2.3	484	3.8	0.9
		不明	121	29.8	4.9	57	46.9	7.3	178	35.5	4.1
		合計	975	32.1	1.7	447	45.5	2.6	1,422	36.4	1.4
乳房	C50	限局	2	100.0	0.0	571	98.2	1.2	573	98.3	1.2
		領域	1	100.0	0.0	303	90.6	2.2	304	90.7	2.2
		遠隔	0	51	40.8	7.1	51	40.8	7.1
		不明	1	100.0	0.0	241	82.3	3.0	242	82.4	2.9
		合計	4	100.0	0.0	1,166	90.7	1.1	1,170	90.8	1.1
子宮	C53-C55	限局	-	-	-	207	98.6	1.4	207	98.6	1.4
		領域	-	-	-	81	60.7	5.9	81	60.7	5.9
		遠隔	-	-	-	25	27.7	9.9	25	27.7	9.9
		不明	-	-	-	99	79.8	4.5	99	79.8	4.5
		合計	-	-	-	412	82.5	2.1	412	82.5	2.1
子宮頸部	C53	限局	-	-	-	89	98.0	1.7	89	98.0	1.7
		領域	-	-	-	52	57.1	7.5	52	57.1	7.5
		遠隔	-	-	-	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		不明	-	-	-	55	70.9	6.7	55	70.9	6.7
		合計	-	-	-	205	77.0	3.3	205	77.0	3.3
子宮体部	C54	限局	-	-	-	118	97.6	2.2	118	97.6	2.2
		領域	-	-	-	29	66.4	9.4	29	66.4	9.4
		遠隔	-	-	-	16	40.1	14.0	16	40.1	14.0
		不明	-	-	-	43	90.3	5.1	43	90.3	5.1
		合計	-	-	-	206	88.0	2.6	206	88.0	2.6
前立腺	C61	限局	510	100.0	1.6	-	-	-	510	100.0	1.6
		領域	98	82.0	5.6	-	-	-	98	82.0	5.6
		遠隔	108	39.6	5.8	-	-	-	108	39.6	5.8
		不明	485	97.7	2.5	-	-	-	485	97.7	2.5
		合計	1,201	98.3	1.5	-	-	-	1,201	98.3	1.5

*1 準充届出患者を含まない

*2 粘膜がんを含まない

付表1. がん罹患数及び罹患率： 詳細部位別、性別

2010年

部位	ICD-10	国際疾病分類										年齢調整罹患率										累積罹患率(0-74歳)						
		罹患数			割合(%)			粗罹患率			日本人口			世界人口			日本人口			世界人口			日本人口			世界人口		
		男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計
上皮内がん																												
全部位	D00-D09	1,324	1,340	2,664	11.5	15.7	13.3	95.9	90.5	93.1	56.9	71.6	62.9	40.7	57.5	48.3	5.0	5.6	5.3									
口腔、食道および胃	D00	68	23	91	0.6	0.3	0.5	4.9	1.6	3.2	2.9	0.9	1.8	2.1	0.7	1.4	0.3	0.1	0.2									
食道	D001	41	7	48	0.4	0.1	0.2	3.0	0.5	1.7	1.7	0.3	1.0	1.3	0.2	0.7	0.2	0.0	0.1									
その他および部位不明の消化器	D01	749	447	1,196	6.5	5.2	6.0	54.2	30.2	41.8	34.2	16.0	24.6	24.9	11.6	18.0	3.1	1.5	2.3									
結腸	D010	535	330	865	4.7	3.9	4.3	38.7	22.3	30.2	24.2	11.9	17.7	17.4	8.7	12.8	2.2	1.2	1.7									
直腸	D011	34	14	48	0.3	0.2	0.2	2.5	0.9	1.7	1.4	0.5	0.9	1.0	0.4	0.7	0.1	0.1	0.1									
直腸S状結腸移行部	D012	174	96	270	1.5	1.1	1.3	12.6	6.5	9.4	8.4	3.4	5.8	6.3	2.5	4.3	0.8	0.3	0.5									
直腸	D02	9	2	11	0.1	0.0	0.1	0.7	0.1	0.4	0.4	0.1	0.2	0.3	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0									
中耳および呼吸器系	D021	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0									
気管	D022	2	1	3	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0									
上皮内黒色腫	D03	2	3	5	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0									
皮膚のその他	D04	50	67	117	0.4	0.8	0.6	3.6	4.5	4.1	1.9	1.5	1.7	1.3	1.0	1.1	0.1	0.1	0.1									
乳房	D05	0	212	212	0.0	2.5	1.1	0.0	14.3	7.4	0.0	11.8	6.0	0.0	9.2	4.7	0.0	1.0	0.5									
子宮頸部	D06	-	480	480	-	5.6	2.4	-	32.4	16.8	-	37.9	18.8	-	32.5	16.2	-	2.6	1.3									
その他および部位不明の性器	D07	8	8	16	0.1	0.1	0.1	0.6	0.5	0.6	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.0	0.0	0.0									
その他および部位不明	D09	438	98	536	3.8	1.1	2.7	31.7	6.6	18.7	17.2	3.0	9.4	11.9	2.2	6.6	1.4	0.3	0.8									
膀胱	D090	422	88	510	3.7	1.0	2.5	30.6	5.9	17.8	16.6	2.6	8.9	11.5	1.9	6.2	1.4	0.2	0.8									
良性腫瘍																												
頸膜	D32	28	79	107	0.2	0.9	0.5	2.0	5.3	3.7	1.2	3.4	2.3	0.9	2.6	1.7	0.1	0.3	0.2									
脳および中枢神経系	D33	7	11	18	0.1	0.1	0.1	0.5	0.7	0.6	0.4	0.5	0.5	0.3	0.4	0.4	0.0	0.0	0.0									
下垂体、頭蓋咽頭管、松果体	D352-D354	27	35	62	0.2	0.4	0.3	2.0	2.4	2.2	1.5	2.3	1.9	1.1	2.1	1.6	0.1	0.2	0.2									
性状不詳または不明の腫瘍																												
頸膜	D42	12	10	22	0.1	0.1	0.1	0.9	0.7	0.8	0.6	0.4	0.5	0.5	0.3	0.4	0.1	0.0	0.0									
脳および中枢神経系	D43	16	24	40	0.1	0.3	0.2	1.2	1.6	1.4	0.8	0.7	0.8	0.7	0.6	0.6	0.1	0.1	0.1									
下垂体、頭蓋咽頭管、松果体	D443-D445	4	4	8	0.0	0.0	0.0	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.4	0.3	0.0	0.0	0.0									
真正赤血球增多症	D45	6	10	16	0.1	0.1	0.1	0.4	0.7	0.6	0.2	0.4	0.3	0.1	0.3	0.2	0.0	0.0	0.0									
骨髓異形成症候群	D46	92	82	174	0.8	1.0	0.9	6.7	5.5	6.1	3.2	2.0	2.5	2.1	1.4	1.7	0.2	0.1	0.1									
慢性骨増殖性疾患他 *1	D47	13	8	21	0.1	0.1	0.1	0.9	0.5	0.7	0.5	0.2	0.4	0.3	0.2	0.2	0.1	0.0	0.0									

*1 ICD-0-3により性状3に分類される形態

付表2. がん死亡数及び死亡率； 詳細部位別、性別

2010年

部位	ICD-10	国際疾病分類						年齢調整死亡率						累積死亡率(0-74歳)					
		死亡数			割合(%)			粗死亡率			日本人口			世界人口			男		
		男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計
良性腫瘍																			
脳膜	D32	2	5	7	0.0	0.2	0.1	0.1	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0
脳および中枢神経系	D33	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他および部位不明の内分泌腺	D35	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
性状不詳または不明の腫瘍																			
脳膜	D42	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
脳および中枢神経系	D43	25	33	58	0.5	1.0	0.7	1.8	2.2	2.0	1.1	1.0	1.0	0.9	1.0	0.9	0.1	0.1	0.1
内分泌腺	D44	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
真正赤血球增多症	D45	0	1	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
骨髄異形成症候群	D46	43	29	72	0.9	0.9	0.9	3.1	2.0	2.5	1.6	0.5	1.0	1.0	0.3	0.6	0.1	0.0	0.0
リンパ組織、造血組織および関連組織	D47	2	0	2	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

付表3. 受療割合詳細 (%) ; 部位別
A. 上皮内がんを除く

国内DCOを除く届出患者、男女計 2010年

部位	ICD-10	集計対象数	単独療法										併用療法 *1				
			C00-C96	19,064	21.3	6.6	6.4	1.5	8.8	0.1	2.5	1.0	15.0	4.2	0.3	3.9	6.8
口腔・咽頭	C00-C14	355	22.3	0.0	6.2	2.0	0.0	0.0	2.5	2.5	32.4	0.0	11.0	3.7	17.5		
食道	C15	454	9.0	0.2	10.1	5.3	7.0	0.0	0.4	8.8	29.7	0.0	8.4	2.4	18.5		
胃	C16	3,108	22.4	7.1	24.0	0.1	7.9	0.0	0.0	14.5	0.5	0.0	0.1	4.8	18.5		
大腸（結腸・直腸）	C18-C20	2,710	33.8	11.0	5.0	0.0	2.5	0.0	0.0	0.3	26.4	0.3	0.0	0.9	6.1	13.7	
結腸	C18	1,787	33.9	11.5	4.4	0.0	2.6	0.0	0.0	0.1	26.9	0.0	0.0	0.2	5.9	14.7	
直腸	C19-C20	923	33.7	10.2	6.2	0.0	2.5	0.0	0.0	0.5	25.6	0.9	0.0	2.4	6.3	11.8	
肝および肝内胆管	C22	1,254	15.4	0.6	0.8	0.2	8.8	0.2	0.0	0.1	4.9	0.7	0.4	0.1	44.3	23.5	
胆のう・胆管	C23-C24	397	18.6	2.0	11.6	0.5	9.6	0.0	0.0	0.5	15.1	0.8	0.0	0.5	16.1	24.7	
脾臓	C25	687	10.3	0.1	3.5	0.6	25.8	0.0	0.0	0.0	19.2	1.7	0.0	1.2	10.0	27.5	
喉頭	C32	101	5.0	0.0	1.0	19.8	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	36.6	0.0	6.9	11.9	12.9
肺	C33-C34	2,286	6.7	21.8	0.0	4.1	17.8	0.0	0.0	0.3	9.8	10.8	0.1	0.9	4.1	23.7	
皮膚	C43-C44	428	65.7	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	3.0	0.9	0.0	0.2	1.2	26.6
乳房	C50	1,675	17.9	0.0	0.0	0.1	4.1	0.1	1.3	5.2	28.4	0.5	0.5	28.7	1.0	12.4	
乳房（女性のみ）	C50	1,660	17.9	0.0	0.0	0.1	4.1	0.1	1.3	5.2	27.9	0.5	0.5	29.0	1.0	12.5	
子宮	C53-C55	539	40.4	0.6	0.2	4.5	2.2	0.0	0.4	3.0	21.3	8.0	0.0	4.6	1.3	13.5	
子宮頸部	C53	230	35.7	0.9	0.0	9.1	1.7	0.0	0.0	4.8	10.9	18.7	0.0	4.8	1.7	11.7	
子宮体部	C54	301	44.5	0.3	0.3	1.0	2.7	0.0	0.7	1.7	29.9	0.0	0.0	4.7	0.7	13.6	
卵巢	C56	199	22.1	0.0	0.0	0.0	6.5	0.0	0.0	0.0	57.8	0.0	0.0	0.0	1.5	12.1	
前立腺	C61	1,671	17.5	3.5	1.1	2.9	0.2	0.6	26.6	0.4	4.7	6.2	1.2	0.2	0.8	34.0	
膀胱	C67	486	9.1	0.8	34.0	0.2	0.8	0.4	0.0	1.0	25.1	0.8	0.0	2.5	3.7	21.6	
腎・尿路（膀胱除く）	C64-C66 C68	527	33.6	28.5	3.0	1.3	4.0	0.6	0.0	0.2	8.5	0.8	0.0	1.1	2.5	15.9	
脳・中枢神経系	C70-C72	88	13.6	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	9.1	4.5	0.0	37.5	1.1	29.5	
甲状腺	C73	499	56.3	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.2	0.6	22.0	0.2	0.0	1.2	0.6	18.6	
悪性リンパ腫	C81-C85 C96	640	4.8	0.3	2.8	36.1	0.2	0.2	0.5	4.2	2.8	3.0	1.4	5.0	38.4		
多発性骨髄腫	C88-C90	132	0.0	0.0	3.0	45.5	0.0	0.8	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0	3.8	42.4		
白血病	C91-C95	234	0.0	0.0	0.0	0.0	56.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.4	0.0	12.8	30.3	

*1 切除は外科・体腔鏡・内視鏡的療法、薬物は化学・免疫・内分泌療法を指す。

*2 化学、免疫、内分泌療法のいずれかの併用

*3 単独療法及び併用療法のいずれかの項目にも含まれないものを指す (1) その他の治療 (TAE、PEITなど) の実施 (2) 外科、体腔鏡、内視鏡的療法のいずれかの併用

付表3. 受療割合詳細 (%) ; 部位別
B. 上皮内がんを含む

国内DCOを除く届出患者、男女計
2010年

部位	ICD-10	集計対象数	単独療法						併用療法 *2							
			外科	体腔鏡	内視鏡	放射線	化学	免疫	内分泌	切除	放射線	薬物	*3 切除+放射線+薬物	その他*4	不明	
全部位	C00-C96 D00-D09	21,728	21.9	6.0	10.1	1.4	7.8	0.1	2.2	1.0	13.7	3.7	0.3	3.6	6.2	22.2
食道	C15 D001	502	8.8	0.2	15.7	4.8	6.4	0.0	0.0	0.4	8.0	26.9	0.0	7.6	2.2	19.1
大腸（結腸・直腸）*1	C18-C20 D010-D012	3,893	24.8	8.5	22.1	0.0	1.8	0.0	0.0	0.2	18.6	0.2	0.0	0.6	4.8	18.3
結腸 *1	C18 D010	2,652	24.2	8.7	23.0	0.0	1.8	0.0	0.0	0.1	18.4	0.0	0.0	0.1	4.8	19.0
直腸 *1	C19-C20 D011-D012	1,241	26.3	8.1	20.1	0.0	1.9	0.0	0.0	0.4	19.2	0.6	0.0	1.8	4.8	17.0
肺	C33-C34 D021-D022	2,289	6.7	21.9	0.0	4.1	17.8	0.0	0.0	0.3	9.8	10.7	0.1	0.9	4.1	23.6
皮膚	C43-C44 D030-D049	550	65.6	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	1.3	2.4	0.7	0.0	0.2	0.9	28.4
乳房	C50 D05	1,887	20.0	0.0	0.0	0.1	3.7	0.1	1.2	6.6	26.0	0.5	0.4	27.8	0.8	12.9
乳房（女性のみ）	C50 D05	1,872	20.1	0.0	0.0	0.1	3.6	0.1	1.2	6.7	25.5	0.5	0.4	28.0	0.9	13.0
子宮	C53-C55 D06	1,019	59.9	0.4	0.1	2.4	1.2	0.0	0.2	1.6	11.4	4.2	0.0	2.5	1.5	14.8
子宮頸部	C53 D06	710	66.8	0.4	0.0	3.0	0.6	0.0	0.0	1.5	3.7	6.1	0.0	1.5	1.7	14.8
膀胱	C67 D090	996	8.3	0.9	36.4	0.1	0.5	0.6	0.0	0.6	20.3	0.4	0.0	1.2	2.2	28.4

*1 粘膜がんを含む

*2 切除は外科・体腔鏡・内視鏡的療法、薬物は化学・免疫療法・内分泌療法を指す。

*3 化学、免疫、内分泌療法のいずれかの併用

*4 単独療法及び併用療法のいずれの項目にも含まれないものを指す (1) その他の治療 (TAE、PEITなど) の実施 (2) 外科、体腔鏡、内視鏡的療法のいずれかの併用

付表4-C1 標準化死亡比(全国との比較)：部位別、性別

2010年

部位	ICD-10	男		女	
		死亡数	標準化死亡比(95%信頼区間)	死亡数	標準化死亡比(95%信頼区間)
全部位	C00-C97	4778	0.98 (0.95 - 1.01)	3292	0.98 (0.94 - 1.01)
食道	C15	190	0.84 (0.72 - 0.96)	42	0.95 (0.66 - 1.23)
胃	C16	722	0.95 (0.88 - 1.02)	396	0.96 (0.87 - 1.06)
結腸	C18	313	0.91 (0.81 - 1.01)	307	0.85 (0.75 - 0.94)
直腸	C19-C20	176	0.86 (0.73 - 0.99)	114	0.92 (0.75 - 1.09)
肝および肝内胆管	C22	713	1.46 (1.35 - 1.57)	383	1.44 (1.29 - 1.58)
胆のう・胆管	C23-C24	159	0.81 (0.69 - 0.94)	167	0.76 (0.64 - 0.87)
脾臓	C25	340	1.02 (0.91 - 1.13)	316	0.99 (0.88 - 1.10)
肺	C33-C34	1044	0.90 (0.85 - 0.95)	438	0.95 (0.86 - 1.04)
乳房	C50	5	2.59 (0.32 - 4.87)	265	0.92 (0.81 - 1.04)
子宮	C53-C55	0		143	1.04 (0.87 - 1.21)
卵巣	C56	0		80	0.74 (0.58 - 0.91)
前立腺	C61	255	1.00 (0.88 - 1.12)	0	
膀胱	C67	104	0.93 (0.75 - 1.11)	49	0.97 (0.70 - 1.24)
悪性リンパ腫	C81-C85,C	132	1.00 (0.83 - 1.18)	117	1.09 (0.89 - 1.29)
白血病	C91-C95	120	1.09 (0.89 - 1.28)	75	1.00 (0.77 - 1.22)

付表4-C2 二次保健医療圈別標準化死亡比(広島県との比較)：部位別、性別

医療圏	部位	ICD-10	男		女	
			死亡数	標準化死亡比(95%信頼区間)	死亡数	標準化死亡比(95%信頼区間)
広島	全部位	C00-C97	1969	1.02 (0.97 - 1.06)	1403	1.07 (1.01 - 1.12)
	胃	C16	268	0.92 (0.81 - 1.03)	167	1.06 (0.90 - 1.22)
	結腸	C18	131	1.03 (0.85 - 1.21)	113	0.93 (0.76 - 1.11)
	直腸	C19-C20	71	0.97 (0.75 - 1.20)	54	1.17 (0.86 - 1.49)
	大腸(結腸・直腸)	C18-C20	202	1.01 (0.87 - 1.15)	167	0.99 (0.84 - 1.14)
	肝および肝内胆管	C22	294	1.00 (0.89 - 1.12)	171	1.14 (0.97 - 1.31)
	肺	C33-C34	397	0.94 (0.85 - 1.04)	205	1.18 (1.02 - 1.34)
	乳房	C50			125	1.10 (0.90 - 1.29)
	子宮	C53-C55			53	0.88 (0.65 - 1.12)
	前立腺	C61	120	1.22 (1.01 - 1.44)		
広島西	全部位	C00-C97	249	1.00 (0.87 - 1.12)	158	0.94 (0.79 - 1.09)
	胃	C16	42	1.11 (0.77 - 1.44)	20	1.00 (0.56 - 1.44)
	結腸	C18	19	1.19 (0.65 - 1.72)	20	1.25 (0.70 - 1.80)
	直腸	C19-C20	7	0.78 (0.20 - 1.35)	4	0.67 (0.01 - 1.32)
	大腸(結腸・直腸)	C18-C20	26	1.00 (0.62 - 1.38)	24	1.14 (0.69 - 1.60)
	肝および肝内胆管	C22	33	0.89 (0.59 - 1.20)	18	0.95 (0.51 - 1.39)
	肺	C33-C34	53	0.96 (0.70 - 1.22)	14	0.64 (0.30 - 0.97)
	乳房	C50			18	1.29 (0.69 - 1.88)
	子宮	C53-C55			5	0.71 (0.09 - 1.34)
	前立腺	C61	13	1.00 (0.46 - 1.54)		
呉	全部位	C00-C97	582	1.09 (1.00 - 1.17)	394	1.05 (0.94 - 1.15)
	胃	C16	107	1.32 (1.07 - 1.57)	54	1.20 (0.88 - 1.52)
	結腸	C18	39	1.11 (0.76 - 1.46)	44	1.26 (0.89 - 1.63)
	直腸	C19-C20	24	1.26 (0.76 - 1.77)	11	0.85 (0.35 - 1.35)
	大腸(結腸・直腸)	C18-C20	63	1.17 (0.88 - 1.45)	55	1.15 (0.84 - 1.45)
	肝および肝内胆管	C22	86	1.09 (0.86 - 1.32)	50	1.11 (0.80 - 1.42)
	肺	C33-C34	133	1.13 (0.94 - 1.32)	50	0.98 (0.71 - 1.25)
	乳房	C50			21	0.75 (0.43 - 1.07)
	子宮	C53-C55			17	1.06 (0.56 - 1.57)
	前立腺	C61	24	0.80 (0.48 - 1.12)		
広島中央	全部位	C00-C97	320	0.94 (0.83 - 1.04)	220	0.93 (0.81 - 1.05)
	胃	C16	56	1.08 (0.79 - 1.36)	25	0.86 (0.52 - 1.20)
	結腸	C18	16	0.73 (0.37 - 1.08)	19	0.86 (0.48 - 1.25)
	直腸	C19-C20	19	1.46 (0.80 - 2.12)	8	1.00 (0.31 - 1.69)
	大腸(結腸・直腸)	C18-C20	35	1.00 (0.67 - 1.33)	27	0.90 (0.56 - 1.24)
	肝および肝内胆管	C22	45	0.88 (0.62 - 1.14)	23	0.85 (0.50 - 1.20)
	肺	C33-C34	80	1.07 (0.83 - 1.30)	31	1.00 (0.65 - 1.35)
	乳房	C50			11	0.58 (0.24 - 0.92)
	子宮	C53-C55			6	0.60 (0.12 - 1.08)
	前立腺	C61	13	0.72 (0.33 - 1.11)		
尾三	全部位	C00-C97	600	1.08 (1.00 - 1.17)	376	0.98 (0.88 - 1.08)
	胃	C16	90	1.07 (0.85 - 1.29)	41	0.89 (0.62 - 1.16)
	結腸	C18	34	0.94 (0.63 - 1.26)	39	1.08 (0.74 - 1.42)
	直腸	C19-C20	22	1.10 (0.64 - 1.56)	11	0.85 (0.35 - 1.35)
	大腸(結腸・直腸)	C18-C20	56	1.00 (0.74 - 1.26)	50	1.02 (0.74 - 1.30)
	肝および肝内胆管	C22	82	1.01 (0.79 - 1.23)	45	0.98 (0.69 - 1.26)
	肺	C33-C34	137	1.12 (0.93 - 1.31)	50	0.98 (0.71 - 1.25)
	乳房	C50			32	1.14 (0.75 - 1.54)
	子宮	C53-C55			18	1.13 (0.61 - 1.64)
	前立腺	C61	36	1.13 (0.76 - 1.49)		
福山・府中	全部位	C00-C97	841	0.97 (0.90 - 1.03)	596	1.02 (0.94 - 1.10)
	胃	C16	122	0.92 (0.76 - 1.09)	69	0.99 (0.75 - 1.22)
	結腸	C18	59	1.04 (0.77 - 1.30)	51	0.93 (0.67 - 1.18)
	直腸	C19-C20	26	0.81 (0.50 - 1.12)	21	1.05 (0.60 - 1.50)
	大腸(結腸・直腸)	C18-C20	85	0.96 (0.75 - 1.16)	72	0.96 (0.74 - 1.18)
	肝および肝内胆管	C22	138	1.06 (0.88 - 1.24)	61	0.90 (0.67 - 1.12)
	肺	C33-C34	191	1.01 (0.86 - 1.15)	76	0.97 (0.76 - 1.19)
	乳房	C50			51	1.06 (0.77 - 1.35)
	子宮	C53-C55			39	1.50 (1.03 - 1.97)
	前立腺	C61	38	0.81 (0.55 - 1.07)		
備北	全部位	C00-C97	217	0.92 (0.80 - 1.04)	145	0.84 (0.70 - 0.97)
	胃	C16	37	1.03 (0.70 - 1.36)	20	0.95 (0.53 - 1.37)
	結腸	C18	15	1.00 (0.49 - 1.51)	21	1.24 (0.71 - 1.76)
	直腸	C19-C20	7	0.88 (0.23 - 1.52)	5	0.83 (0.10 - 1.56)
	大腸(結腸・直腸)	C18-C20	22	0.92 (0.53 - 1.30)	26	1.13 (0.70 - 1.56)
	肝および肝内胆管	C22	35	1.03 (0.69 - 1.37)	15	0.71 (0.35 - 1.08)
	肺	C33-C34	53	1.02 (0.74 - 1.29)	12	0.52 (0.23 - 0.82)
	乳房	C50			7	0.64 (0.16 - 1.11)
	子宮	C53-C55			5	0.71 (0.09 - 1.34)
	前立腺	C61	11	0.73 (0.30 - 1.17)		

付表4-D 二次保健医療圈別標準化罹患比(広島県との比較)：部位別、性別

2010年

医療圏	部位	ICD-10	男			女		
			罹患数	標準化罹患比(95%信頼区間)	罹患数	標準化罹患比(95%信頼区間)	罹患数	標準化罹患比(95%信頼区間)
広島	全部位	C00-C97	5043	1.05 (1.02 - 1.08)	3853	1.07 (1.04 - 1.10)		
	胃	C16	953	1.04 (0.98 - 1.11)	425	1.04 (0.94 - 1.14)		
	結腸	C18	426	1.05 (0.95 - 1.15)	407	1.13 (1.02 - 1.24)		
	直腸	C19-C20	256	1.02 (0.89 - 1.14)	168	1.12 (0.95 - 1.29)		
	大腸(結腸・直腸)	C18-C20	682	1.04 (0.96 - 1.12)	575	1.13 (1.04 - 1.22)		
	肝および肝内胆管	C22	353	0.93 (0.83 - 1.03)	208	1.05 (0.91 - 1.19)		
	肺	C33-C34	676	1.00 (0.93 - 1.08)	383	1.09 (0.98 - 1.20)		
	乳房	C50			776	1.03 (0.96 - 1.10)		
	子宮	C53-C55			258	1.02 (0.90 - 1.14)		
	子宮頸部	C53			119	1.09 (0.90 - 1.29)		
	子宮体部	C54			132	0.96 (0.80 - 1.13)		
広島西	前立腺	C61	782	1.12 (1.04 - 1.19)				
	全部位	C00-C97	613	1.02 (0.94 - 1.10)	434	0.99 (0.90 - 1.08)		
	胃	C16	95	0.83 (0.66 - 0.99)	42	0.81 (0.56 - 1.05)		
	結腸	C18	45	0.88 (0.62 - 1.14)	47	1.04 (0.75 - 1.34)		
	直腸	C19-C20	39	1.26 (0.86 - 1.65)	11	0.61 (0.25 - 0.97)		
	大腸(結腸・直腸)	C18-C20	84	1.02 (0.81 - 1.24)	58	0.92 (0.68 - 1.16)		
	肝および肝内胆管	C22	48	1.02 (0.73 - 1.31)	21	0.84 (0.48 - 1.20)		
	肺	C33-C34	81	0.94 (0.74 - 1.15)	45	1.02 (0.72 - 1.32)		
	乳房	C50			85	0.97 (0.76 - 1.17)		
	子宮	C53-C55			28	0.97 (0.61 - 1.32)		
吳	子宮頸部	C53			9	0.75 (0.26 - 1.24)		
	子宮体部	C54			18	1.13 (0.61 - 1.64)		
	前立腺	C61	125	1.40 (1.16 - 1.65)				
	全部位	C00-C97	1434	1.13 (1.07 - 1.19)	999	1.08 (1.01 - 1.15)		
	胃	C16	273	1.13 (1.00 - 1.27)	124	1.09 (0.90 - 1.28)		
	結腸	C18	115	1.07 (0.88 - 1.27)	109	1.10 (0.89 - 1.31)		
	直腸	C19-C20	70	1.09 (0.84 - 1.35)	44	1.13 (0.79 - 1.46)		
	大腸(結腸・直腸)	C18-C20	185	1.08 (0.93 - 1.24)	153	1.11 (0.93 - 1.28)		
	肝および肝内胆管	C22	106	1.06 (0.86 - 1.26)	64	1.12 (0.85 - 1.40)		
	肺	C33-C34	207	1.14 (0.98 - 1.29)	110	1.15 (0.93 - 1.36)		
広島中央	乳房	C50			194	1.14 (0.98 - 1.30)		
	子宮	C53-C55			61	1.13 (0.85 - 1.41)		
	子宮頸部	C53			22	1.00 (0.58 - 1.42)		
	子宮体部	C54			37	1.19 (0.81 - 1.58)		
	前立腺	C61	199	1.04 (0.89 - 1.18)				
	全部位	C00-C97	761	0.92 (0.85 - 0.98)	587	0.96 (0.88 - 1.04)		
	胃	C16	139	0.88 (0.73 - 1.03)	73	1.01 (0.78 - 1.25)		
	結腸	C18	68	0.97 (0.74 - 1.20)	64	1.02 (0.77 - 1.26)		
	直腸	C19-C20	36	0.84 (0.56 - 1.11)	23	0.92 (0.54 - 1.30)		
	大腸(結腸・直腸)	C18-C20	104	0.92 (0.74 - 1.10)	87	0.99 (0.78 - 1.20)		
尾三	肝および肝内胆管	C22	65	1.00 (0.76 - 1.24)	25	0.71 (0.43 - 0.99)		
	肺	C33-C34	109	0.92 (0.75 - 1.10)	53	0.87 (0.63 - 1.10)		
	乳房	C50			131	1.07 (0.89 - 1.26)		
	子宮	C53-C55			29	0.73 (0.46 - 0.99)		
	子宮頸部	C53			10	0.59 (0.22 - 0.95)		
	子宮体部	C54			19	0.86 (0.48 - 1.25)		
	前立腺	C61	116	0.95 (0.78 - 1.12)				
	全部位	C00-C97	1224	0.96 (0.90 - 1.01)	900	0.97 (0.91 - 1.03)		
	胃	C16	237	0.97 (0.85 - 1.09)	104	0.90 (0.73 - 1.08)		
	結腸	C18	102	0.94 (0.75 - 1.12)	93	0.93 (0.74 - 1.12)		
福山・府中	直腸	C19-C20	56	0.88 (0.65 - 1.10)	33	0.85 (0.56 - 1.13)		
	大腸(結腸・直腸)	C18-C20	158	0.91 (0.77 - 1.06)	126	0.91 (0.75 - 1.07)		
	肝および肝内胆管	C22	105	1.04 (0.84 - 1.24)	60	1.05 (0.79 - 1.32)		
	肺	C33-C34	206	1.11 (0.96 - 1.26)	88	0.92 (0.73 - 1.11)		
	乳房	C50			140	0.82 (0.69 - 0.96)		
	子宮	C53-C55			78	1.44 (1.12 - 1.77)		
	子宮頸部	C53			25	1.14 (0.69 - 1.58)		
	子宮体部	C54			50	1.61 (1.17 - 2.06)		
	前立腺	C61	179	0.93 (0.80 - 1.07)				
	全部位	C00-C97	1904	0.91 (0.87 - 0.95)	1403	0.92 (0.87 - 0.97)		
備北	胃	C16	382	0.96 (0.86 - 1.05)	172	0.96 (0.82 - 1.10)		
	結腸	C18	184	1.04 (0.89 - 1.19)	123	0.78 (0.64 - 0.92)		
	直腸	C19-C20	113	1.05 (0.85 - 1.24)	57	0.90 (0.67 - 1.14)		
	大腸(結腸・直腸)	C18-C20	297	1.04 (0.92 - 1.16)	180	0.82 (0.70 - 0.94)		
	肝および肝内胆管	C22	179	1.08 (0.93 - 1.24)	90	1.02 (0.81 - 1.23)		
	肺	C33-C34	300	1.01 (0.89 - 1.12)	151	0.99 (0.83 - 1.14)		
	乳房	C50			321	1.06 (0.94 - 1.18)		
	子宮	C53-C55			86	0.87 (0.69 - 1.05)		
	子宮頸部	C53			41	1.00 (0.69 - 1.31)		
	子宮体部	C54			41	0.75 (0.52 - 0.97)		
	前立腺	C61	210	0.68 (0.59 - 0.77)				
全部位	全部位	C00-C97	520	1.00 (0.92 - 1.09)	346	0.90 (0.80 - 0.99)		
	胃	C16	110	1.12 (0.91 - 1.33)	64	1.28 (0.97 - 1.59)		
	結腸	C18	35	0.80 (0.53 - 1.06)	36	0.84 (0.56 - 1.11)		
	直腸	C19-C20	23	0.92 (0.54 - 1.30)	19	1.19 (0.65 - 1.72)		
	大腸(結腸・直腸)	C18-C20	58	0.83 (0.62 - 1.04)	55	0.93 (0.69 - 1.18)		
	肝および肝内胆管	C22	52	1.27 (0.92 - 1.61)	25	1.00 (0.61 - 1.39)		
	肺	C33-C34	61	0.79 (0.59 - 0.99)	25	0.61 (0.37 - 0.85)		
	乳房	C50			41	0.64 (0.44 - 0.84)		
	子宮	C53-C55			16	0.80 (0.41 - 1.19)		
	子宮頸部	C53			7	0.88 (0.23 - 1.52)		
備北	子宮体部	C54			9	0.75 (0.26 - 1.24)		
	前立腺	C61	91	1.17 (0.93 - 1.41)				

付表5. 市区町村別罹患数；部位別、性別
A. 上皮内がんを除く

2010年

市区町村	全部位		C00-C06		胃 C16		大腸(直腸・結腸) C18-C20		結腸 C18		直腸 C19-C20		肝臓 C22		肺 C33-C34		男 女 男女計		男 女 男女計		乳房 C50		子宮 C53		子宮体部 C54		子宮頸部 C53		前立腺 C61	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
広島県	11,905	8,524	20,029	2,193	1,005	3,198	1,568	1,235	2,803	915	830	1,835	503	355	909	493	1,402	1,040	855	2,495	16	1,683	1,704	506	233	306	306	1,702		
中区	505	472	977	95	54	149	73	146	47	52	99	26	21	47	34	24	58	70	44	114	1	109	110	25	11	14	14	33		
東区	437	362	799	86	41	127	56	53	109	37	41	78	19	12	31	25	26	51	55	35	90	1	74	75	32	32	16	16	15	
南区	550	428	978	106	50	156	71	63	134	39	39	78	32	24	56	47	29	76	75	48	123	0	65	65	30	10	10	18	36	
西区	725	509	1,234	140	55	195	111	79	190	74	57	131	37	22	59	49	26	75	98	56	154	0	103	103	37	17	17	20	105	
安佐南区	685	571	1,256	125	62	187	96	94	180	59	61	120	37	23	60	49	34	83	93	59	152	1	123	124	39	24	24	12	91	
安佐北区	638	465	1,103	123	32	175	85	72	157	63	44	107	22	28	50	46	15	61	89	38	127	0	85	85	32	17	17	15	105	
安芸区	278	184	472	52	29	81	35	23	58	22	16	38	13	7	20	25	12	37	36	23	59	1	41	42	8	2	2	6	39	
佐伯区	487	365	852	87	31	118	69	59	128	36	45	81	33	14	47	37	18	55	68	34	102	0	78	78	21	6	6	15	84	
呉市	1,254	888	2,142	236	103	339	161	135	236	101	95	196	60	40	100	94	56	150	182	96	218	2	177	179	57	20	20	35	174	
竹原市	148	117	265	26	13	39	22	28	50	11	20	31	11	8	19	13	1	14	17	7	24	0	27	27	3	2	1	34	34	
三原市	416	283	699	82	34	116	54	34	88	35	25	60	19	9	28	29	21	50	65	26	91	1	54	55	31	13	13	15	50	
尾道市	714	550	1,284	127	60	187	96	78	175	61	58	119	35	21	56	66	35	101	133	56	189	1	81	82	44	12	12	32	112	
因島市	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
福山市	1,850	1,206	2,856	333	147	480	257	154	411	160	107	267	97	47	144	155	77	232	213	134	407	2	281	283	75	35	37	37	173	
府中市	196	147	343	41	22	63	35	23	58	21	13	34	14	10	24	19	9	28	18	10	28	0	32	32	6	3	2	29	29	
三次市	281	191	472	56	29	86	32	33	65	16	24	40	16	9	25	28	12	40	33	13	46	2	24	26	8	3	3	5	51	
庄原市	239	155	394	54	35	89	26	22	48	19	12	31	7	10	17	24	13	37	28	12	40	1	17	18	8	4	4	4	40	
大竹市	158	93	251	23	9	32	20	8	28	12	5	17	8	3	11	16	6	22	22	14	36	1	15	16	8	2	2	6	29	
府中町	556	432	988	103	54	157	73	53	126	50	39	89	23	14	37	49	23	72	84	41	125	2	100	102	25	8	8	17	76	
海田町	455	341	796	72	33	105	64	50	114	33	42	75	31	8	39	32	15	47	59	31	90	0	70	70	20	7	7	12	96	
廿日市	191	111	302	40	15	55	20	16	36	13	12	25	7	4	11	10	6	16	27	14	41	0	16	16	1	1	0	1	39	
安芸高田市	180	111	291	37	21	58	24	18	42	14	14	28	10	4	14	12	8	20	25	14	39	0	17	17	4	2	2	2	25	
江田島市	144	107	251	31	11	42	19	12	31	6	9	15	13	3	16	8	5	13	20	7	27	0	25	25	11	2	2	8	21	
宮島町	85	69	154	14	9	23	9	10	19	4	12	5	2	7	4	2	6	15	6	21	0	16	16	5	3	3	2	13		
熊野町	122	70	192	19	2	21	16	14	30	10	20	6	4	10	7	4	11	11	6	17	0	19	19	6	3	3	3	26		
安芸太田町	57	40	97	10	6	16	10	3	13	3	3	2	0	2	8	1	9	4	6	10	0	8	8	5	3	3	2	9		
北広島町	88	65	153	15	4	19	6	10	16	2	6	8	4	4	8	4	5	9	8	5	13	0	9	9	6	5	5	1	19	
瀬戸田町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
大崎上島町	57	38	95	10	6	16	9	6	15	7	5	12	2	1	3	1	4	8	5	13	0	4	4	1	1	0	0	6		
世羅町	92	67	159	28	10	38	8	13	21	6	10	16	2	3	5	8	4	12	8	6	14	0	5	5	3	3	3	17		
神辺町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
神石高原町	58	50	108	8	3	11	5	3	8	3	3	6	2	0	2	5	4	9	9	7	16	0	8	8	5	3	2	9		
県外市町村不詳	6	2	8	4	1	5	0	1	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		

付表5. 市区町村別罹患数；部位別、性別
B. 上皮内がんを含む

市区町村	全部位		大腸(結腸・直腸)			結腸			直腸			肺			乳房			子宮		
	男	女	男女計	男女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	C53-D05	C53-D06	C53-D06
広島県	12,829	9,864	22,693	2,311	1,675	3,986	1,510	1,210	2,720	801	465	1,266	1,642	856	2,498	16	1,900	1,916	1,036	713
中区	582	555	1,137	120	100	220	85	69	154	35	31	66	71	44	115	1	121	122	60	46
東区	494	418	912	95	71	166	60	58	118	35	13	48	55	35	90	1	81	82	57	41
南区	626	497	1,123	114	86	200	67	55	122	47	31	78	75	48	123	0	76	76	53	33
西区	817	629	1,446	170	127	297	117	93	210	53	34	87	98	56	154	0	119	119	83	63
安佐南区	780	680	1,460	164	113	277	107	86	193	57	27	84	93	59	152	1	142	143	85	70
安佐北区	728	539	1,267	135	94	229	96	59	155	39	35	74	89	38	127	0	96	96	52	37
安芸区	311	229	540	49	36	85	31	26	57	18	10	28	36	23	59	1	48	49	17	11
佐伯区	531	432	963	88	77	165	47	60	107	41	17	58	69	35	104	0	93	93	46	31
呉市	1,393	995	2,388	262	178	440	182	128	310	80	50	130	182	96	278	2	196	198	85	48
竹原市	161	127	288	30	32	62	17	24	41	13	8	21	17	7	24	0	29	29	7	6
三原市	451	308	759	75	40	115	54	31	85	21	9	30	65	26	91	1	60	61	40	22
尾道市	787	614	1,401	123	98	221	79	72	151	44	26	70	133	56	189	1	88	89	66	34
因島市	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福山市	1,794	1,391	3,185	324	199	523	211	141	352	113	58	171	273	134	407	2	319	321	158	118
府中市	217	163	380	43	27	70	28	15	43	15	12	27	18	10	28	0	33	33	14	11
三次市	306	240	546	49	53	102	29	39	68	20	14	34	33	13	46	2	26	28	24	19
庄原市	261	177	438	35	34	69	24	20	44	11	14	25	28	12	40	1	17	18	14	10
大竹市	167	107	274	26	11	37	16	8	24	10	3	13	22	14	36	1	16	17	11	5
東広島市	622	499	1,121	99	74	173	70	54	124	29	20	49	84	41	125	2	113	113	51	34
廿日市市	503	396	899	86	69	155	48	53	101	38	16	54	59	31	90	0	82	82	37	24
安芸高田市	226	123	349	38	21	59	25	16	41	13	5	27	14	41	0	17	17	5	4	4
江田島市	199	126	325	38	27	65	24	23	47	14	4	18	25	14	39	0	19	19	6	4
府中町	169	131	300	30	18	48	11	12	23	19	6	25	20	7	27	0	31	31	21	12
海田町	99	79	178	18	16	34	10	14	24	8	2	10	15	6	21	0	17	17	7	5
熊野町	139	86	225	27	20	47	17	14	31	10	6	16	11	6	17	0	21	21	10	7
坂町	58	43	101	11	4	15	9	4	13	2	0	2	4	6	10	0	9	9	6	4
大野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮島町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
安芸太田町	60	29	89	10	4	14	9	4	13	1	0	1	7	2	9	0	5	5	0	0
北広島町	108	77	185	16	15	31	11	9	20	5	6	11	8	5	13	0	9	9	10	9
瀬戸田町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大崎上島町	61	47	108	13	10	23	9	7	16	4	3	7	8	5	13	0	6	6	1	0
世羅町	103	72	175	14	15	29	11	11	22	3	4	7	8	6	14	0	5	5	4	1
神辺町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
神石高原町	66	51	117	7	4	11	5	3	8	2	1	3	9	7	16	0	8	8	5	3
県内市区町村不定	8	4	12	2	2	4	1	2	4	1	2	3	1	1	0	0	0	0	0	1

*1 粘膜がんを含む

付表6-1. 広島県地域がん登録における罹患数に対する資料源ごとの数(詳細)

診断年	資料源								合計
	届出票 病理登録 採録票	届出票 病理登録	届出票 採録票	届出票 のみ	病理登録 採録票	病理登録 のみ	採録 のみ	死亡票 補充票	
2003	1,482	2,190	356	1,118	2,627	5,497	623	0	3,708 17,601
2004	1,949	2,909	459	1,362	2,355	4,212	563	0	3,548 17,357
2005	2,523	4,500	516	2,212	1,635	3,531	444	1,364	1,537 18,262
2006	670	7,793	201	2,996	822	3,038	251	1,456	1,049 18,276
2007	934	9,441	186	3,449	431	2,159	136	1,034	991 18,761
2008	787	10,580	157	3,039	365	2,089	128	882	953 18,980
2009	829	11,251	165	2,908	249	2,468	125	612	982 19,589
2010	327	12,360	135	3,938	59	1,585	185	475	965 20,029

※上皮内がんを除く

※届出票=広島県地域がん登録届出票情報、病理登録=広島県腫瘍登録情報、採録票=広島市地域がん登録採録票情報

付表6-2. 広島県地域がん登録における罹患数に対する資料源ごとの割合%(詳細)

診断年	資料源								合計
	届出票 病理登録 採録票	届出票 病理登録	届出票 採録票	届出票 のみ	病理登録 採録票	病理登録 のみ	採録 のみ	死亡票 補充票	
2003	8.4	12.4	2.0	6.4	14.9	31.2	3.5	0.0	21.1 100.0
2004	11.2	16.8	2.6	7.8	13.6	24.3	3.2	0.0	20.4 100.0
2005	13.8	24.6	2.8	12.1	9.0	19.3	2.4	7.5	8.4 100.0
2006	3.7	42.6	1.1	16.4	4.5	16.6	1.4	8.0	5.7 100.0
2007	5.0	50.3	1.0	18.4	2.3	11.5	0.7	5.5	5.3 100.0
2008	4.1	55.7	0.8	16.0	1.9	11.0	0.7	4.6	5.0 100.0
2009	4.2	57.4	0.8	14.8	1.3	12.6	0.6	3.1	5.0 100.0
2010	1.6	61.7	0.7	19.7	0.3	7.9	0.9	2.4	4.8 100.0

※上皮内がんを除く

※届出票=広島県地域がん登録届出票情報、病理登録=広島県腫瘍登録情報、採録票=広島市地域がん登録採録票情報

付表6-3. 広島県地域がん登録における罹患数に対する資料源の数

診断年	届出票	病理登録	採録	死亡票 補充票	死亡票 のみ	罹患数
2003	5,146	11,796	5,088	0	3,708	17,601
2004	6,679	11,425	5,326	0	3,548	17,357
2005	9,751	12,189	5,118	1364	1,537	18,262
2006	11,660	12,323	1,944	1456	1,049	18,276
2007	14,010	12,965	1,687	1034	991	18,761
2008	14,563	13,821	1,437	882	953	18,980
2009	15,153	14,797	1,368	612	982	19,589
2010	16,760	14,331	706	475	965	20,029

※上皮内がんを除く

※届出票=広島県地域がん登録届出票情報、病理登録=広島県腫瘍登録情報、採録票=広島市地域がん登録採録票情報

付表6-4. 広島県地域がん登録における罹患数に対する資料源の割合%

診断年	届出票	病理登録	採録	死亡票 補充票	死亡票 のみ
2003	29.2	67.0	28.9	0.0	21.1
2004	38.5	65.8	30.7	0.0	20.4
2005	53.4	66.7	28.0	7.5	8.4
2006	63.8	67.4	10.6	8.0	5.7
2007	74.7	69.1	9.0	5.5	5.3
2008	76.7	72.8	7.6	4.6	5.0
2009	77.4	75.5	7.0	3.1	5.0
2010	83.7	71.6	3.5	2.4	4.8

※上皮内がんを除く

※届出票=広島県地域がん登録届出票情報、病理登録=広島県腫瘍登録情報、採録票=広島市地域がん登録採録票情報

付表7-1 罹患数の年次推移

		2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
男	全部位	C00-C97	10,557	10,227	10,735	10,705	10,875	10,798	11,298
	胃	C16	1,941	1,969	2,115	2,015	2,142	2,085	2,114
	大腸	C18-C20	1,723	1,509	1,540	1,603	1,530	1,532	1,564
	肝	C22	1,124	1,052	1,057	993	1,027	941	849
	肺	C33-C34	1,408	1,432	1,609	1,520	1,646	1,654	1,721
	前立腺	C61	1,494	1,285	1,285	1,389	1,323	1,347	1,676
女	全部位	C00-C97	7,044	7,130	7,527	7,571	7,886	8,182	8,291
	胃	C16	1,057	920	985	984	1,005	1,020	944
	大腸	C18-C20	1,197	1,160	1,188	1,282	1,238	1,219	1,266
	肝	C22	519	535	545	479	496	469	425
	肺	C33-C34	625	618	695	672	778	820	794
	乳房	C50	1,086	1,192	1,296	1,273	1,433	1,579	1,611
	子宮	C53-C55	414	449	495	475	497	486	476
	甲状腺	C73	260	279	334	380	397	406	396

付表7-2 年齢調整罹患率の年次推移

		2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
男	全部位	C00-C97	495.2	485.1	481.9	469.5	470.8	454.8	469.6
	胃	C16	90.6	88.8	95.1	88.2	93.2	87.3	87.3
	大腸	C18-C20	82.9	81.4	70.6	72.3	66.8	66.8	66.7
	肝	C22	53.2	52.2	47.6	43.8	45.3	39.3	35.2
	肺	C33-C34	63.9	62.3	69.5	63.5	67.7	66.1	67.8
	前立腺	C61	65.0	63.2	53.3	56.4	52.9	51.9	63.9
女	全部位	C00-C97	278.8	276.4	297.0	294.0	301.4	314.0	312.4
	胃	C16	36.6	36.1	34.3	33.5	31.8	33.1	28.8
	大腸	C18-C20	44.2	43.6	40.3	43.5	41.1	40.0	41.0
	肝	C22	17.2	17.0	17.2	15.3	14.5	13.8	12.0
	肺	C33-C34	21.4	21.1	24.9	21.9	25.3	26.6	24.6
	乳房	C50	56.6	56.6	66.3	64.8	72.5	80.3	78.9
	子宮	C53-C55	21.2	21.1	25.7	25.5	27.3	26.4	25.7
	甲状腺	C73	12.8	14.8	17.2	19.7	19.4	21.4	21.4

付表7-3 死亡数の年次推移

		2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
男	全部位	C00-C97	4,385	4,519	4,610	4,601	4,593	4,799	4,639
	胃	C16	702	756	716	706	688	683	693
	大腸	C18-C20	469	463	464	479	451	490	441
	肝	C22	739	756	735	740	699	713	632
	肺	C33-C34	989	980	1,059	1,055	1,098	1,173	1,151
	脾臓	C25	228	282	279	256	303	298	286
女	全部位	C00-C97	2,897	3,011	2,988	3,012	3,146	3,237	3,156
	胃	C16	442	389	368	411	427	414	374
	大腸	C18-C20	378	405	429	423	425	426	430
	肝	C22	343	391	364	341	391	336	322
	肺	C33-C34	354	367	373	397	412	466	435
	脾臓	C25	236	240	261	279	263	297	291
	乳房	C50	219	220	225	201	226	265	256

付表7-4 年齢調整死亡率の年次推移

		2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
男	全部位	C00-C97	198.9	199.6	196.8	191.3	185.3	187.4	175.7
	胃	C16	31.9	33.8	30.5	29.1	28.0	26.8	25.8
	大腸	C18-C20	21.3	20.8	19.8	20.1	18.4	19.5	16.7
	肝	C22	34.6	34.3	32.8	32.4	29.6	28.5	24.8
	肺	C33-C34	43.9	42.6	44.3	42.6	42.8	44.7	43.2
	脾臓	C25	10.4	12.5	12.3	10.7	12.7	12.0	11.1
女	全部位	C00-C97	94.0	95.3	92.3	89.0	88.8	91.3	85.1
	胃	C16	13.7	11.5	11.3	12.1	11.1	11.0	9.1
	大腸	C18-C20	11.6	12.2	12.3	11.1	11.5	10.9	10.8
	肝	C22	11.0	11.7	10.4	9.8	10.5	8.6	7.9
	肺	C33-C34	9.9	10.7	11.4	11.4	10.9	12.5	11.0
	脾臓	C25	7.3	7.0	7.7	7.7	6.9	7.8	7.7
	乳房	C50	10.4	10.1	9.9	8.7	9.9	11.3	10.2

平成26年3月訂正

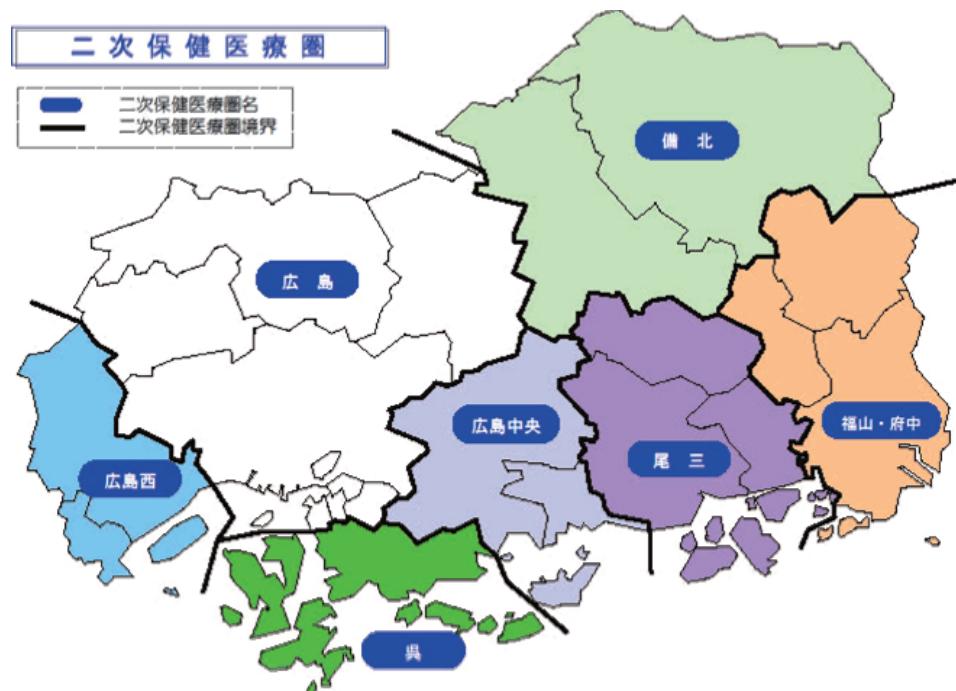
VI 參 考 資 料

1. 二次保健医療圏

地域における基本的な保健医療体制の整備から、全県的な高度専門医療の確保まで、それぞれに必要とされる機能の効果的・効率的な整備促進と医療資源の有効活用を図るため、以下の圏域が設定されている。

- ①市町を単位とする「一次保健医療圏」
- ②保健医療の基本単位としての「二次保健医療圏」
- ③全県を単位とする「三次保健医療圏」

本報告書では、二次保健医療圏を単位として死亡数、罹患数、標準化死亡比、標準化罹患比を算出している。



広島県の二次保健医療圏

各二次保健医療圏の市町名

広島	広島市、安芸高田市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸太田町、北広島町
広島西	大竹市、廿日市市
呉	呉市、江田島市
広島中央	東広島市、竹原市、大崎上島町
尾三	三原市、尾道市、世羅町
福山・府中	福山市、府中市、神石高原町
備北	三次市、庄原市

2. 広島県地域がん登録届出票

(1) 届出票 (平成18年まで)

秘密		広島県がん登録届出票					* 横は記入しないでください。					
*受付 年月日		*受付No.					* 受付年月日					
この届出票は退院時に作成してください。										* 受付No.		
ふりがな 入院患者 氏名 カルテ番号 (貴院のもの)		性別 男・女	年齢	生年月日 1 明治 2 大正 3 昭和 4 平成					H _____			
現住所		市区町丁目					H _____					
臨床診断名										* 受付年月日 * 受付No.		
①部位 (詳細は要領参考)		左・右・両側・不明 (左右臓器がある場合は該当するものに○印)					* 施設 P _____					
②原発・再発		原発・局所再発・遠隔転移※(原発部位 :) - 不明 ※今回登録する‘がん’が転移がんの場合は上記()内に原発部位を記入					* 科 _____					
③診断年月日 (がんの診断が確定した日付)		診断年月日 西暦 年月日 ※初発(原発)がんの診断が貴院の場合は貴院での診断年月日を記入 ※原発がんの診断が他施設の場合は他施設での診断年月日および施設名を記入 ※局所再発および遠隔転移の場合は原発がんの診断年月日を、不明の場合は貴院でがんと診断した年月日を記入 他施設名()					* カルテ番号 * 市町村コード _____					
④受診動機 (診断契機)		(受診までの経過で該当するすべてに○印) 1 任意の受診 2 制度による検診 3 任意の健康診断 4 検診での要精査 5 自科でフォロー中 6 他病の医療施設、自施設他の診療科からの紹介 7 剖検 8 その他()					* ICDO-T C _____ * 左右 * 原発・転移 * 原発部位 C _____ * 原発左右 * 初発診断年月日 * 初診施設 P _____					
診断根拠		(該当するすべてに○印) 1 病理組織診断 2 細胞診 3 手術所見 4 内視鏡 5 画像診断 6 臨床所見 7 剖検 8 腫瘍マーカー 9 その他()					* 動機 * 症状の有無 * 基準 * ICDO-M _____					
病理組織診断名 (病理検査を行った場合はその 診断名を記入してください。)										* 進行度 * Stage * 手術年月日 * 根治度 * 治療 * 初回手術年月日 * 初回根治度 * 初回治療 * 潜在 □ * 早期 □ * 多発 □ * 削除 □		
⑤進行度		(該当するすべてに○印) 1 早期がん 2 上皮内がん 3 原発臓器に限局 4 隣接臓器への浸潤 5 所属リンパ節転移 6 遠隔転移 7 不明 (可能であれば病期を記入) Stage【 】					* 治療					
⑥治療内容		(今回入院時行ったがんに対するすべての治療に○印) 1 手術 (内視鏡的切除を含む) (1)手術日;西暦 年月日 (2)術式; (3)根治度; a 治癒切除 b 非治癒切除 c 非切除 d 不明 2 放射線療法 3 化学療法 4 内分泌療法 5 免疫療法 6 対症療法 7 その他() 8 無治療 (過去に治療のある場合は、わかる範囲で初回治療についても記載) 1 手術 (内視鏡的切除を含む) (1)手術日;西暦 年月日 (2)術式; (3)根治度; a 治癒切除 b 非治癒切除 c 非切除 d 不明 2 放射線療法 3 化学療法 4 内分泌療法 5 免疫療法 6 対症療法 7 その他() 8 無治療					* 治療					
医療施設		施設名 診療科名 医師名								* 潜在 □ * 早期 □ * 多発 □ * 削除 □		

(2) 届出票 改訂版(平成19年から)

広島県地域がん登録届出票 秘

太枠内を記入してください
＊欄は事務局使用のため記入しないでください

医療機関	名称 診療科 届出医師名			* 受付番号 _____
				* 受付年月日 _____
				* No. _____
* P	_____	_____	*	_____
ふりがな			貴院患者ID	
氏名	姓	名	性別	1 男 2 女 3 他
住所	広島県	市 郡	区 町	年 月 日
診断名 [原発臓器]	左右	両側臓器のみ記載 1 右 2 左 3 両側	病 理 診 断 名	形態、性状、分化度がわかるよう詳細にお願いします
	部位 [臓器名と 詳細部位]	例 胃U, 肺S2, など (白血病は「骨髄」, 悪性リンパ腫は「主病変の部位」を記載)		
		* C	潜在がん 1 有 2 無 多発がん 1 有 2 無 *	_____
診断情報	初発・再発	1 初発 2 再発・治療開始後 3 疑い例		
	診断方法 (複数回答可)	1 原発巣の組織診 2 転移巣の組織診 3 細胞診 4 部位特異的腫瘍マーカー(AFPやPSAなど) 5 臨床検査 (画像診断、内視鏡・体腔鏡・手術肉眼所見を含む) 6 臨床診断		
	診断日	自施設診断日 O 西暦 1 昭和 2 平成 年 月 日	診断日の優先順位は、診断方法1~3選択の場合は検体採取日、 診断方法4~5選択の場合は検査日、診断方法6選択の場合は入院日、初診日	
		初回診断日 O 西暦 1 昭和 2 平成 年 月 日	初めて診断された日が前医の場合、あるいは再発・治療開始後の場合	
	発見経緯	1 がん検診 2 健診・人間ドック 3 他疾患の経過観察中 4 割検 9 その他(自覚症状も含む) · 不明		
病期	手術施行の場合は術後評価を優先(ただし、術前に補助療法を施行した場合は、その療法の開始前評価を採用する)			
病巣の拡がり	(大腸m癌の場合、上皮内にO) O 上皮内 1 限局 2 所属リンパ節転移 3 隣接臓器浸潤 4 遠隔転移 9 不明			
UICC TNM	T	N	M	ステージ (胃、大腸、肝、肺、乳がんは必ず記載してください)
壁深達度	食道、胃、大腸、胆嚢、胆管の癌の場合はOをつけてください 早期癌 : (O1)is/ep (10)m (20)sm (30)深達度が不明の早期癌 進行癌 : (40)pm/mp/SO (51)ss/S1 (52)a1 (61)se/S2 (62)a2/ad (71)si/S3 (72)ai/adj (88)深達度が不明の進行癌 不明 : (99)切除したが深達度が不明 (97)非切除、かつ肉眼・画像診断等で深達度が不明			
届出症例の腫瘍径、リンパ節転移の拡がり、遠隔転移部位など、病巣の拡がりの判定に役立つ情報を記載してください				
治療法 [初回治療]	観血的 治療	1 手術	1 有 2 無	実施日 O 西暦 1 平成 年 月 日
		2 体腔鏡的(胸腔鏡・腹腔鏡)	1 有 2 無	実施日 O 西暦 1 平成 年 月 日
		3 内視鏡的	1 有 2 無	実施日 O 西暦 1 平成 年 月 日
		上記治療を総合した治療結果	1 治癒切除 2 非治癒切除 3 治癒度不明 4 姑息・対症療法 9 不詳	
	その他の 治療	1 放射線治療	1 有 2 無	
		2 化学療法	1 有 2 無	
		3 免疫療法・BRM	1 有 2 無	
		4 内分泌療法	1 有 2 無	
		9 その他	1 有 2 無	
死亡年月日	O 西暦 1 平成 年 月 日	剖検	1 有 2 無	

* 事務局使用欄	壁深達度	観血的治療日 H	潜在	早期	多発	剖検
----------	------	----------	----	----	----	----

(3) 届出票と届出票の書き方 第3版 (平成22年1月から)

広島県地域がん登録届出票第3版(秘)

太枠内を記入して下さい
*欄は事務局使用のため記入しないでください

医療機関	名称 照会先所属 届出者				* 受付番号 _____			
					* 受付年月日 _____			
					* No. _____			
ふりがな	* P _____		* _____					
姓・名 (漢字)	姓	名		貴院患者ID				
		性別	1 男 2 女	生年 月日	〇 西暦 1 明治 3 昭和 4 平成			
診断時 住所	広島県 市 郡				年 月 日			
診断名 [原発臓器]	左右 (両側臓器のみ 記載)	1 右 2 左 9 不明 3 両側(卵巣腫瘍、腎芽腫、網膜芽細胞腫が両側に発生した場合のみ)		病理 診 断 名	形態、性状、分化度がわかるよう詳細にお願いします			
	部位 [臓器名と 詳細部位]	例 胃U、肺S1、など(悪性リンパ腫は「主病変の部位」を記載)			* C _____	* 潜在がん 1 有〇無 * 多発がん 1 有〇無 * _____		
診断情報	初発・治 療開始後	1 初発(自施設で診断かつ/もしくは初回治療) 2 治療開始後(前医で当該腫瘍の初回治療を開始した以降)・再発						
	診断根拠 (複数回答可)	1 原発巣の組織診 4 部位特異的腫瘍マーカー(PSA, AFP, HCG, VMA, 免疫グロブリン高値) 5 臨床検査(画像診断、内視鏡・体腔鏡・手術所見を含む)	2 転移巣の組織診 3 細胞診 6 臨床診断	患者の全経過を通じて、がんと診断する根拠となつた検査に〇(初回治療前の診断に限定しない)				
	診断日	自施設診断日 O 西暦 1 昭和 2 平成	年 月 日	・初回治療前に自施設で実施した検査のうち、診断根拠の番号の最も小さい検査の検体採取日や検査日 ・他施設診断の場合は、当該腫瘍の自施設初診日				
		他施設診断日 (初回診断日) O 西暦 1 昭和 2 平成	年 月 日	他施設診断の場合に、その診断日をわかる範囲で必ず記入 * 他施設名()				
		発見経緯 1 がん検診 2 健診・人間ドック 3 他疾患の経過観察中	4 剖検 9 その他(自覚症状も含む)・不明					
病期 ・手術の施行の場合後評価を優先 ・術前化学・放射線治療後手術の場合は治療前評価を優先 再発では記載不要	病巣の 拡がり	(大腸がんの場合、上皮内に〇) 〇 上皮内 1 限局 2 所属リンパ節転移 3 隣接臓器浸潤 4 遠隔転移 9 不明						
	UICC TNM	T _____ N _____ M _____	ステージ _____	初発の場合、UICC TNM分類は胃・大腸・肝・肺・乳がんでは必ず記載				
	壁深達度	食道、胃、大腸、胆管、胆のうの癌の場合は〇をつけてください 早期癌: (10) is/ep (10) m (20) sm (30) 深達度が不明の早期癌 進行癌: (40) pm/mp/S0 (50) a (51) ss/S1 (52) a1 (61) se/S2 (62) a2/ad (71) si/S3 (72) ai/adj (88) 深達度が不明の進行癌 不明: (99) 切除したが深達度が不明 (97) 非切除、かつ肉眼・画像診断等で深達度が不明						
		届出症例の腫瘍径、リンパ節転移の拡がり、遠隔転移部位など、病巣の拡がりの判定に役立つ情報を記載してください						
初回治療 貴院における初回の一連の治療についてすべて記入ください 再発では記載不要	観血的 治療	手術	1 有 2 無	* 実施日 〇 西暦 1 平成	年 月 日			
		体腔鏡的(胸腔鏡・腹腔鏡)	1 有 2 無	* 実施日 〇 西暦 1 平成	年 月 日			
		内視鏡的	1 有 2 無	* 実施日 〇 西暦 1 平成	年 月 日			
	観血的治療を総合した治療結果	原発巣切除(1 治癒切除 2 非治癒切除 3 治癒度不明) 4 姑息・姑息療法・転移巣切除・試験開腹 9 不詳						
		その他の 治療	放射線	1 有 2 無				
	化学療法		1 有 2 無					
	免疫療法		1 有 2 無					
	内分泌療法		1 有 2 無					
	その他		1 有 2 無	()				
死亡年月日	〇 西暦 1 平成	年 月 日	* 剖検	1 有 0 無				
* 事務局使用欄	壁深達度	_____	観血的 治療日 H _____	潜在	早期	多発	剖検	_____

* は広島県独自項目

平成22年1月 第3版

広島県地域がん登録 届出票の書き方

(平成22年1月 第3版)

広島県 広島県医師会 放射線影響研究所

届出対象

- 1) 診断時住所が**広島県内**にある方について届け出してください。
- 2) **上皮内がんを含む悪性腫瘍**（国際疾病分類腫瘍学第3版（ICD-O-3）の性状2または3）を届け出してください。なお、**中枢神経系**（脳・脊髄・髄膜）は良性・悪性にかかわらず届け出してください。
- 3) **原発部位**について届け出してください。
- 4) 初回入院の退院時と**死亡退院時**に届け出してください。
- 5) **一連の初回治療**のうち自施設で実施したものについて届け出してください。
- 6) **多重がん**の場合は**別々**の届出票に記入してください。多重がんかどうかの判断は、主治医または病理医の判断を優先してください。

届出票の書き方

①医療機関	自施設名称。正式名称記入が望ましい（ゴム印でも可）。照会先所属、届出者は問い合わせに対応できる担当者を記入してください。	
②貴院患者ID (カルテ番号)	貴院で患者固有に与えられている番号・記号を記入してください。患者照会に使用します。	
③姓・名（漢字）	重複登録を防ぐ大事な項目のため、カタカナ・ひらがな・イニシャルでの表記を避け、姓と名を別々に漢字で記入してください。なお、本名がカタカナ・ひらがなの方はそのまままで、また漢字表記できない場合の外国人名はカタカナで記載してください。漢字表記できる外国人名は漢字でお書きください。本名以外に日本名（通名）を持つ場合は本名を記入してください。	
④性別	該当する番号を○で囲んでください。	
⑤生年月日	生年月日を記入。西暦もしくは和暦（元号）、どちらでも記入可。	
⑥診断時住所	診断時に居住していた住所。市町村のみならず、マンション・部屋番号までの詳細な住所を記入してください。	
診断名	⑦左右	原発部位が両側臓器のみ記入してください。左右別のない臓器（例えば、脳、甲状腺、肝臓など）は記入不要です。その他の両側臓器において、一方が他方の転移と判断されない腫瘍が左右に存在するとき、左右それぞれを独立した腫瘍として別々の届出票に記入してください。一方が他方の転移で、原発側が判断されないときは「不明」としてください。「両側」は卵巣腫瘍・腎芽腫・網膜芽細胞腫が両側に発生した場合のみ選択してください。皮膚の正中は、部位欄に「正中」と記載してください。両側臓器については《表1》「両側のある臓器」を参照してください。
	⑧部位	腫瘍の原発部位を、できるだけ詳細な情報を含んだ言葉（日本語・英語どちらでも可）で記入してください。ICD-O-3の局在コードのみでの届出はしないでください。 固形腫瘍では、原発臓器名とその詳細部位を記入してください（例：「肺左上葉」、「結腸脾弯曲部」等）。転移性がんの場合は原発臓器を記入してください（例：食道がんの肺転移は、転移部位の「肺」ではなく「食道」と記入）。原発が不明な場合は「原発不明」と記入してください。白血病の場合、診断部位は「骨髓」とし、病理診断名に「急性骨髓性白血病M2」等と記入してください。悪性リンパ腫の場合、診断部位は主病変とし（例：胃の悪性リンパ腫の場合は「胃」を記入）、詳細な診断名は病理診断名に「びまん性大細胞性B細胞型リンパ腫」のように記入してください。
	⑨病理診断名	【病理診断名】腫瘍の病理組織を、できるだけ詳細な情報を含んだ言葉で記入してください。病理報告に記入されている組織型を完全に記入することが望されます。腫瘍の形状、性状（良性、良悪不詳、上皮内、悪性等）、および分化度（高・中・低・未分化）リンパ性造血器腫瘍の場合の表面抗原（T-cell, B-cell, Null-cell）等をすべて記入してください。病理診断名がない場合は、臨床診断名を「部位」欄に記入してください。 【潜 在 が ん】病理診断名にoccult, latent, micro, minute, incidental, unactualizedの記載がある時、有に○をつけてください。 【多 発 が ん】一つの部位で、同じ組織型の複数のがんが診断された時、有に○をつけてください。
診断情報	⑩初発・治療開始後	初発、治療開始後・再発を区別するための項目です。 【初 発】自施設において、当該腫瘍の診断、初回治療、あるいは診断と初回治療を実施した場合に○をつけてください。 【治療開始後・再発】他施設にて当該腫瘍の初回治療を開始した後に自施設にて初回治療を継続あるいは診療を継続した場合、または初回治療が完了した後再発し、自施設で死亡した場合に○をつけてください。

	⑪診断根拠	当該腫瘍が悪性腫瘍であること、その原発部位ならびに病理組織の確定に際し、患者の全経過を通じて最も寄与した情報（初回治療前の診断に限定しない。他施設における診断情報も含む）。複数回答可。 【1原発巣の組織診】原発巣からの病理組織診断によるがんの診断、白血病の骨髄穿刺を含みます。 【2転移巣の組織診】転移巣からの病理組織診断によるがんの診断。 【3細胞診】喀痰、尿沈渣、膣分泌物等による剥離細胞診、ファイバースコープ等による擦過、吸引細胞診、あるいは洗浄細胞診を含みます。白血病および悪性リンパ腫の一般血液検査も、この項に含みます。 【4部位特異的な腫瘍マーカー】腫瘍マーカーとしては以下のものに限ります。（）内は参考として対象となる疾病をあげております。PSA（前立腺がん）、AFP（肝細胞がん）、HCG（绒毛膜がん）、VMA（神経芽細胞腫）、血清・尿中免疫グロブリン（多発性骨髄腫、フルデンストロームマクログロブリン血症）高値。 【5臨床検査】画像診断（特殊撮影、造影全て。MRI、RI検査、PET、超音波検査を含みます）、手術・体腔鏡下の肉眼的診断を含みます。 【6臨床診断】1～5以外の場合。
	⑫自施設診断日	自施設において当該腫瘍の初回診断がなされた場合の届出では、初回治療前に自施設で実施した検査のうち、⑪診断根拠の番号の最も小さい検査の検体採取日や検査日を記入（組織診検体採取日、細胞診検体採取日、腫瘍マーカー検体採取日、画像診断検査日の順で優先）。前医・他施設において当該腫瘍の初回診断がなされた場合の届出では、自施設の当該腫瘍初診日を記入。生前に存在が疑われていなかったがんが病理解剖によりはじめて診断された場合は、死亡日を自施設診断日とします。西暦もしくは和暦（元号）、どちらでも記入可。年月日まで記入。
	⑬他施設診断日（初回診断日）	前医・他施設において、すでに当該腫瘍の診断がなされていた場合の届出では、前医・他施設において当該腫瘍の初回治療前に“がん”と診断する根拠となった検査を行った日をわかる範囲で必ず記入。西暦もしくは和暦（元号）、どちらでも記入可。できる限り年月日まで記入。詳細が不明な場合でも、分かる範囲で記入。（例：4月上旬、4月頃、春頃、2009年頃等）
	⑭発見経緯	当該腫瘍が診断される発端となった状況を把握するための項目です。 【1がん検診】がんの早期発見・早期治療を目的とし、一連の定型的な検査を行う場合。 自覚症状を持ちながらがん検診を受けがんと診断された場合は「がん検診」とします。 【2健診・人間ドック】健診は健康一般に関する一連の検査を行う場合で、人間ドックは個人を対象にした、より詳細な健康一般に関する検査。 【3他疾患の経過観察中】入院時ルーチン検査を含みます。 【4剖検】剖検によってはじめて腫瘍の存在が発見された場合。 【9その他】自覚症状があり受診した場合など。
病期	⑮病巣の拡がり	病巣の拡がりとは、腫瘍の原発部位での拡がりの程度と、所属リンパ節・遠隔臓器への転移の有無に基づき、大まかに分類する方法です。術後病理学的診断による進展度が判明していればそれを優先し、なければ治療前の進展度を用います。ただし、腫瘍の縮小を目的とした化学療法や放射線療法、あるいは免疫・内分泌療法などを施行の後、手術（体腔鏡的・内視鏡的手術を含む）を施行した場合は、治療前の進展度を優先します。 【0上皮内】がんが原発臓器に限局しており、かつ上皮内にとどまるもの。 【1限局】がんが原発臓器に限局しているもの。 【2所属リンパ節転移】所属リンパ節への転移を伴うが、隣接組織、臓器への浸潤がないもの。 【3隣接組織・臓器浸潤】隣接組織、臓器に直接浸潤しているが、遠隔転移がないもの。 【4遠隔転移】遠隔転移があるもの。所属リンパ節以外のリンパ節への転移は遠隔に○をしてください。
	⑯UICC TNM	主要5部位（胃、大腸、肝、肺、乳がん）は必ずUICC TNM分類に基づき記載してください。P5～P6の「TNM臨床分類(抜粋)」を参照してください。
	⑰壁深達度	食道、胃、大腸、胆管、胆のうについては、該当する壁深達度を選択してください。非切除でも例えば内視鏡検査で胃がんのIIcは(30)深達度が不明の早期癌（早期癌NOS）としてください。《表2》「壁深達度」を参照してください。
初回治療	⑯観血的治療	当該腫瘍における一連の初回治療のうち自施設で実施したものを見込んでください。再発では記載不要です。 【手術】自施設での初回治療における、外科的治療の有無を記入。 (例: [包含] 子宮頸がんの円錐切除術 [除外] 前立腺がんの去勢術→内分泌療法) 【体腔鏡的】自施設での初回治療における、体腔鏡的治療の有無を記入。 【内視鏡的】自施設での初回治療における、内視鏡的治療の有無を記入。 【観血的治療を総合した治療結果】当該のがんに対する手術・体腔鏡的・内視鏡的治療を実施した場合のみ根治度を記入してください。初回治療として行った総合的な結果を記入してください。内視鏡的な治療を最初に行ったが、その後外科的な追加切除を必要とした場合は、外科的切除の根治度を記入してください。根治度の記入は、組織学的に判断された根治度を用いるのが好ましいです。組織的根治度が得られない場合、肉眼的根治度を用います。 ※治癒切除、非治癒切除の定義:領域(所属リンパ節、隣接臓器)までの切除は以下のように定義します。 治癒切除:腫瘍を完全に摘除した場合(相対、絶対切除を含みます)。 非治癒切除:腫瘍の切除が不完全であった場合(切除しきれなかった場合)。

⑯その他 の治療	【放 射 線】自施設での初回治療における、放射線治療の有無に○をしてください。
	【化 学 療 法】自施設での初回治療における、化学療法の有無に○をしてください。化学療法については、定義が曖昧な部分がありますが、免疫療法・BRMや内分泌療法を包含しないことに留意してください。(例: [包含] ハーセプチノンによる乳がん治療、肝臓のTAI)
	【免 疫 療 法】自施設での初回治療における、免疫療法・BRM療法の有無に○をしてください。BRM(biological response modifier:生体応答調整物質)については、「腫瘍細胞に対する宿主の生物学的応答を修飾することによって、治療効果をもたらす物質または方法」いわゆる非特異的な免疫賦活療法を指すものとします。
	【内 分 泌 療 法】自施設での初回治療における、内分泌療法の有無に○をしてください。内分泌療法とは、がん組織に対し、ホルモンバランスを替えることにより何らかの効果を求めた治療です。ホルモン投与、ホルモン代謝を拮抗する薬剤、抗ホルモン剤、エストロゲン依存性腫瘍に対する卵巣摘出術等がそれにあたります。(例: [包含] 前立腺がんの去勢術)
	【そ の 他】自施設での初回治療における、上記(手術～内分泌療法)以外の治療の有無に○をしてください。TAE(肝動脈塞栓術)、PEIT(経皮的エタノール注入療法)、温熱療法、レーザー等治療(焼灼)等を含みます。
⑰死亡年月日	死亡日が判明している場合、記入してください。西暦もしくは和暦(元号)、どちらでも記入可。
⑲剖検	剖検の施行の有無について、該当する番号に○をしてください。

《表1》両側のある臓器(ICD-O-3の局在コードと部位)

局在コード	部位名	局在コード	部位名	局在コード	部位名
C07.9	耳下腺	C40.0	肩甲骨および上肢の長骨	C49.1	上肢・肩の軟部組織
C08.0	顎下腺	C40.1	上肢の短骨	C49.2	下肢・股関節部の軟部組織
C08.1	舌下腺	C40.2	下肢の長骨	C50.0-50.9	乳房
C09.0	扁桃窩	C40.3	下肢の短骨	C56.9	卵巣
C09.1	扁桃口蓋弓(前)(後)	C41.3	肋骨、胸骨および鎖骨	C57.0	卵管
C09.8	扁桃の境界部病巣	C41.4	骨盤骨、仙骨および尾骨	C62.0-62.9	精巣
C09.9	扁桃、部位不明	C44.1	眼瞼の皮膚、眼角を含む	C63.0	精巣上体
C30.0	鼻腔	C44.2	耳および外耳道の皮膚	C63.1	精索
C30.1	中耳	C44.3	その他の部位不明の顔面の皮膚	C64.9	腎孟を除く腎
C31.0	上頸洞	C44.5	体幹の皮膚	C65.9	腎孟
C31.2	前頭洞	C44.6	上肢の皮膚、肩を含む	C66.9	尿管
C34.0	主気管支	C44.7	下肢の皮膚、股関節部を含む	C69.0-69.9	眼球・涙腺
C34.1-34.9	肺	C47.1	上肢の末梢神経、肩を含む	C74.0-74.9	副腎
C38.4	胸膜	C47.2	下肢の末梢神経、股関節部を含む	C75.4	頸動脈小体

出典:地域がん登録の手引き改訂第5版[詳細版]

《表2》壁深達度

コード	表 記	説 明	食 道	胃	大 腸	胆 管	胆 の う
01	is/ep	癌腫が粘膜上皮にとどまる病変。基底膜を越えない。	○	○	○	○	○
10	m	癌が粘膜にとどまり、粘膜下層に及んでいない／粘膜固有にとどまる・粘膜筋板を越えない。	○	○	○	○	○
20	sm	癌が粘膜下層にとどまり、固有筋層に及んでいない。	○	○	○		
30	早期癌NOS	早期癌NOS(顕微鏡的確認の有無を問わない)	○	○	○	○	○
40	pm/mp/SO	癌が固有筋層にとどまり、これを越えていない。	○	○	○	○	○
50	a	癌が固有筋層を越えて浸潤している。			○		
51	ss/S1	癌が固有筋層を越えているが、漿膜表面に出ていない。	○	○	○	○	○
52	a1	癌が固有筋層を越えているが、さらに深くは浸潤していない。			○		
61	se/S2	癌が漿膜表面に露出している。		○	○	○	○
62	a2/ad	癌が筋層を越えてさらに深く浸潤している／外膜に浸潤しているが、他臓器に浸潤していない。	○		○		
71	si/S3	癌が直接他臓器に浸潤している。		○	○	○	○
72	ai/adj	癌が直接他臓器に浸潤している。	○		○		
88	進行癌NOS	進行癌NOS(顕微鏡的確認の有無を問わない)。	○	○	○	○	○
99	不明	病変が切除されているが壁深達度不明なもの。	○	○	○	○	○
97	非切除例	登録対象癌腫で、病変が切除されていない場合。	○	○	○	○	○

広島県地域がん登録届出票第3版(秘)

太枠内を記入して下さい
＊欄は事務局使用のため記入しないでください

① 医療機関	名称 照会先所属 届出者			* 受付番号 _____			
	* P * []			* 受付年月日 _____			
ふりがな			② 貴院患者ID	* No. _____			
③ 姓・名 (漢字)	姓	名	④ 性別 1 男 2 女	⑤ 生年 月日 O 西暦 1 明治 2 大正 3 昭和 4 平成	年 月 日		
⑥ 診断時 住所	広島県 市 郡						
診断名 [原発臓器]	⑦ 左右 (両側臓器のみ 記載)	1 右 2 左 9 不明 3 両側(卵巣腫瘍、腎芽腫、網膜芽細胞腫が両側に発生した場合のみ)	⑨ 病理 診断名	形態、性状、分化度がわかるよう詳細にお願いします			
	⑧ 部位 [臓器名と 詳細部位]	例 胃U、肺S1、など(悪性リンパ腫は「主病変の部位」を記載)		* C * []			
診断情報	⑩ 初発・治 療開始後	1 初発(自施設で診断かつ/もしくは初回治療) 2 治療開始後(前医で当該腫瘍の初回治療を開始した以降)・再発					
	⑪ 診断根拠 (複数回答可)	1 原発巣の組織診 2 転移巣の組織診 3 細胞診 4 部位特異的腫瘍マーカー(PSA, AFP, HCG, VMA, 免疫グロブリン高値) 5 臨床検査(画像診断、内視鏡・腔鏡・手術所見を含む)	6 臨床診断	患者の全経過を通じて、がんと診断する根拠となった検査に〇(初回治療前の診断に限定しない)			
	診断日	⑫ 自施設診断日 O 西暦 1 昭和 2 平成	年 月 日	・初回治療前に自施設で実施した検査のうち、診断根拠の番号の最も小さい検査の検体採取日や検査日 ・他施設診断の場合は、当該腫瘍の自施設初診日			
		⑬ 他施設診断日 (初回診断日) O 西暦 1 昭和 2 平成	年 月 日	他施設診断の場合に、その診断日をわかる範囲で必ず記入 * 他施設名()			
		⑭ 発見経緯 1 がん検診 2 健診・人間ドック 3 他疾患の経過観察中 4 剖検 9 その他(自覚症状も含む)・不明					
	病期 ・手術の施行の場合は術後評価を優先 ・術前化学、放射線治療後手術の場合は治療前評価を優先 再発では記載不要	⑮ 病巣の 拡がり (大腸がんの場合、上皮内に〇) O 上皮内 1 限局 2 所属リンパ節転移 3 隣接臓器浸潤 4 遠隔転移 9 不明					
	⑯ UICC TNM T [] N [] M [] ステージ []	初発の場合、UICC TNM分類は胃・大腸・肝・肺・乳がんでは必ず記載					
	⑰ 壁深達度 食道、胃、大腸、胆管、胆のうの癌の場合は〇をつけてください 早期癌: (01) is/ep (10) m (20) sm (30) 深達度が不明の早期癌 進行癌: (40) pm/mp/S0 (50) a (51) ss/S1 (52) a1 (61) se/S2 (62) a2/ad (71) si/S3 (72) ai/adj (88) 深達度が不明の進行癌 不明: (99) 切除したが深達度が不明 (97) 非切除、かつ肉眼・画像診断等で深達度が不明						
	届出症例の腫瘍径、リンパ節転移の拡がり、遠隔転移部位など、病巣の拡がりの判定に役立つ情報を記載してください						
初回治療 貴院における初回の一連の治療についてすべてご記入ください 再発では記載不要	⑯ 観血的 治療	手術	1 有 2 無 *	実施日 O 西暦 1 平成	年 月 日		
		体腔鏡的(胸腔鏡・腹腔鏡)	1 有 2 無 *	実施日 O 西暦 1 平成	年 月 日		
		内視鏡的	1 有 2 無 *	実施日 O 西暦 1 平成	年 月 日		
		観血的治療を総合した治療結果	原発巣切除(1 治癒切除 2 非治癒切除 3 治癒度不明) 4 姑息・対症療法・転移巣切除・試験開腹 9 不詳				
		放射線	1 有 2 無				
		化学療法	1 有 2 無				
		免疫療法	1 有 2 無				
	内分泌療法	1 有 2 無					
	その他	1 有 2 無 ()					
⑳ 死亡年月日	O 西暦 1 平成	年 月 日	① 剖検	1 有 0 無			
* 事務局使用欄	壁深達度	[]	観血的 治療日	H []	潜在 [] 早期 [] 多発 []	剖検 []	

* は広島県独自項目

平成22年1月 第3版

UICC TNM 悪性腫瘍の分類 第6版 TNM臨床分類(抜粋)

胃

TX	原発腫瘍の評価が不可能
TO	原発腫瘍を認めない
Tis	上皮内癌：粘膜固有層に浸潤していない上皮内癌
T1	粘膜固有層または粘膜下層に浸潤する腫瘍 ¹
T2	固有筋層または漿膜下層に浸潤する腫瘍 ¹
T2a	固有筋層に浸潤する腫瘍
T2b	漿膜下層に浸潤する腫瘍
T3	漿膜（臟側腹膜）に浸潤しているが、隣接臓器にまで浸潤していない腫瘍 ^{1,2,3}
T4	隣接臓器にまで浸潤している腫瘍 ^{2,3}

注：1. 漿膜下浸潤腫瘍では、たとえ胃結腸間膜や胃肝間膜、あるいは大網や小網内を進展した場合でも、それらの漿膜が浸潤されなければT2に分類する。これら胃間膜や大・小網の漿膜に浸潤が及んだときには、T3に分類する。
 2. 胃の隣接臓器とは脾、横行結腸、肝、横隔膜、腰、腹壁、副腎、腎、小腸、後腹膜を指す。
 3. 胃から十二指腸や食道に浸潤が及んでいる場合には、これらの中で最も深い深達度により分類する。

NX	所属リンパ節転移の評価が不可能
NO	所属リンパ節転移なし
N1	1-6 個の所属リンパ節転移
N2	7-15 個の所属リンパ節転移
N3	16 個以上の所属リンパ節転移

結腸および直腸

TX	原発腫瘍の評価が不可能
TO	原発腫瘍を認めない
Tis	上皮内癌：上皮内腫瘍または粘膜固有層に浸潤 ¹
T1	粘膜下層に浸潤する腫瘍
T2	固有筋層に浸潤する腫瘍
T3	固有筋層をこえ、漿膜下層または腹膜被覆のない傍結腸あるいは傍直腸組織に浸潤する腫瘍
T4	直接他臓器または他組織 ^{2,3} に浸潤する腫瘍、および／または臟側腹膜を貫通する腫瘍

注：1. Tis には腺基底膜（上皮内癌）、または粘膜固有層（粘膜内癌）内に限局し、粘膜筋板を貫通して粘膜下層には至っていない癌を含む。
 2. T4 の直接浸潤には漿膜を介し、他の結腸直腸に浸潤する場合も含まれる。たとえば、盲腸癌がS状結腸に浸潤する場合など。
 3. 肉眼的に、他の臓器や組織に密着している腫瘍はT4に分類する。しかし、癒着部に顕微鏡的に、腫瘍が認められない場合はpT3に分類しなければならない。

NX	所属リンパ節転移の評価が不可能
NO	所属リンパ節転移なし
N1	1-3 個の所属リンパ節転移
N2	4 個以上の所属リンパ節転移

注：結腸周囲または直腸周囲の脂肪組織内の腫瘍結節で、組織学的にリンパ節遺残の確認はないが、リンパ節様の平滑な外形を示すものはpNに分類する。結節の外形が不規則な場合はpTに分類し、同時にV1（顕微鏡的静脈侵襲）とする。もし、肉眼的に確認できるならばV2となる。これらの所見は静脈侵襲の存在を強く示唆するからである。

肝臓

TX	原発腫瘍の評価が不可能
TO	原発腫瘍を認めない
T1	単発で脈管浸潤のない腫瘍
T2	単発で脈管浸潤を伴う腫瘍、または多発性で、最大径が5cm以下の腫瘍
T3	最大径が5cmを超える多発腫瘍、または門脈または肝静脈の大分枝に浸潤した腫瘍
T4	胆嚢以外の隣接臓器に直接浸潤する腫瘍、または肝癌破裂を起した腫瘍

NX	所属リンパ節転移の評価が不可能
NO	所属リンパ節転移なし
N1	所属リンパ節転移あり

肺

TX	原発腫瘍の評価が不可能か、または画像上または気管支鏡的には観察できないが、痰または気管支分泌物中に悪性細胞が存在することで腫瘍の存在がわかるとき
TO	原発腫瘍を認めない
Tis	上皮内癌
T1	腫瘍の最大径が3cm以下で、健常肺組織、または肺胸膜に囲まれているもの。気管支鏡的に癌潤浸が葉気管支より中枢に及ばないもの（すなわち、主気管支におよんでいない） ¹
T2	腫瘍の大きさと進展度が以下のもの： ・最大径が3cmを超える腫瘍 ・主気管支に浸潤が及ぶもの、腫瘍の中枢側が気管分岐部より2cm以上はなれているもの ・臓側胸膜に浸潤する腫瘍 ・肺門に及び無気肺、あるいは閉塞性肺炎があるが片肺全野に及ばないもの
T3	大きさと無関係に隣接臓器、すなわち胸壁（superior sulcus tumorを含む）、横隔膜、縦隔胸膜、壁側心膜などに直接浸潤する腫瘍；または腫瘍が気管分岐部より2cm未満に及ぶもの ¹ 、しかし気管分岐部に浸潤のないもの；または無気肺・閉塞性肺炎が片肺全野に及ぶもの
T4	大きさと無関係に縦隔、心臓、大血管、気管、食道、椎体、気管分岐部に浸潤の及び腫瘍；同一肺葉に散在する腫瘍結節：悪性胸水を伴う腫瘍 ²

注：1. 大きさと無関係に腫瘍の浸潤が気管支内に限局しているまれな表層浸潤型のもので、腫瘍が主気管支に及ぶものでもT1とする。
 2. 肺癌と関係のある胸水の多くは腫瘍によるものである。しかし、中には何回にも及ぶ細胞診検査にて陰性の例もある。非血性で非渗出性である。こういう場合は胸水が腫瘍と関係のないこと、胸水の性状を臨床的判断で決め、その病期から除外しT1、T2、またはT3とする。

NX	所属リンパ節転移の評価が不可能
NO	所属リンパ節転移なし
N1	原発腫瘍の直接浸潤を含み、同側気管支周囲、および／または同側肺門および肺内リンパ節の転移
N2	同側縦隔リンパ節転移、および／または下気管支分岐部リンパ節の転移
N3	対側縦隔、対側肺門、同側または対側斜角筋前、鎖骨上のリンパ節転移

乳腺腫瘍

TX	原発腫瘍の評価が不可能
TO	原発腫瘍を認めない
Tis	乳管内癌
Tis(DCIS)	非浸潤性乳管癌
Tis(LCIS)	非浸潤性小葉癌
Tis(Paget)	腫瘍を認めない乳頭の Paget 病
注：	腫瘍を伴った Paget 病は腫瘍の大きさに従って分類する。
T1	最大径が 2cm 以下の腫瘍 T1mic 最大径が 0.1cm 以下の微小浸潤
注：	微小浸潤とは病理学的に基底膜をこえた隣接組織へのがん細胞の拡がりで、最大径が 0.1cm をこえない病巣をいう。微小浸潤病巣が複数認められる場合は最大径の病巣のみによって分類する（個々の病巣の合計を用いてはならない）。より大きな浸潤癌が多発している場合と同様に、微小浸潤病巣が多発していることを記録すべきである。
T1a	最大径が 0.1cm をこえるが 0.5cm 以下
T1b	最大径が 0.5cm をこえるが 1.0cm 以下
T1c	最大径が 1.0cm をこえるが 2.0cm 以下
T2	最大径が 2.0cm をこえるが 5.0cm 以下の腫瘍
T3	最大径が 5.0cm をこえる腫瘍
T4	腫瘍の大きさに関係なく、胸壁または皮膚への直接進展を示す腫瘍で、T4a から T4d まで表記される。
注：	胸壁は肋骨、肋間筋、および前鋸筋を含めるが、胸筋は含まない。
T4a	胸壁への進展
T4b	乳房皮膚の浮腫〔橙皮状皮膚 (peau d'orange) を含む〕、潰瘍形成および同側乳房に限局した衛星皮膚結節
T4c	T4a, T4b の両者を共有する
T4d	炎症性乳癌
注：	炎症性乳癌は類丹毒の辺縁にみられるようなびまん性の強い硬結を特徴とし、通常、その直下に腫瘍を触知しない。 皮膚生検が陰性で計測可能な限局した原発腫瘍が無い場合に、臨床的な炎症性乳癌 (T4d) を病理学的に分類する際は pTX とする。 T4b および T4d を除き、T1, T2, T3 の皮膚のえくぼ症状、乳頭陥凹、またはその他の皮膚病変は本分類に関与しない。
NX	所属リンパ節転移の評価が不可能（たとえば、すでに摘除した場合）
NO	所属リンパ節転移なし
N1	可動性の同側腋窩リンパ節転移
N2	固定した同側腋窩リンパ節転移、または臨床的に腋窩リンパ節転移を認めない場合で臨床的に明らかな * 同側胸骨傍リンパ節転移。 相互に、あるいは周囲組織と固定している腋窩リンパ節転移。
N2a	臨床的に明らかな * 胸骨傍リンパ節転移のみで、臨床的に腋窩リンパ節転移を認めないもの。
N2b	腋窩リンパ節転移の有無を問わない同側鎖骨下リンパ節転移、臨床的に腋窩リンパ節転移を認める場合の臨床的に明らかな * 同側胸骨傍リンパ節転移
N3	腋窩リンパ節転移、または腋窩または胸骨傍リンパ節転移の有無を問わない同側鎖骨上リンパ節転移
N3a	鎖骨下リンパ節転移
N3b	胸骨傍および腋窩リンパ節転移
N3c	鎖骨上リンパ節転移
注：	* 臨床的に明らかなとは視触診、または画像診断（リンパ節シンチグラフィを除く）から検出されたものである。

M - 遠隔転移

MX	遠隔転移の評価が不可能
MO	遠隔転移なし
M1	遠隔転移あり * * 肺の場合：遠隔転移（同側または対側）、他肺葉に散在する腫瘍結節を含む

問い合わせ先

広島県医師会 学術研修課『地域がん登録室』

〒733-8540 広島市西区観音本町1-1-1
TEL 082-232-7211 FAX 082-293-3363

問い合わせ専用 E-mail

ask-gan@gaku.hiroshima.med.or.jp

※E-mail又はFAXにてお問い合わせください。

3. 広島県地域がん登録届出票（平成18年まで）項目と地域がん登録標準登録票項目の対応表

広島県地域がん登録登録票項目				地域がん登録標準登録票項目				ロジック変換
項目名	区分および説明	項目番号	項目名	区分および説明				
入院患者氏名 (漢字氏名およびがな)		3	姓・名	(姓・名を別々に登録)				
カルテ番号 (貴院のもの)		2	カルテ番号					
性別 男・女		4	性別	1:男, 2:女, 3:その他				
年齢				(項目なし)				
生年月日 (和暦)		5	生年月日					
現住所		6	診断時住所					
臨床診断名 (詳細は要領参考)		11	診断名 (原発部位名)	(登録室では、ICD-O-3-Tでコード化する)				
①部位 左右別 (左右臓器がある場合は該当するもの に○印)		12	側性	1:右側, 2:左側, 3:両側				
②原発・再発 原発・局所再発・遠隔転移※ (原発部位：)・不明 ※今回登録する'がん'が転移がんの 場合は(　)内に原発部位を記入				(項目なし)				広島：原発・再発を、標準：診断結果に置換える (標準化の3に変換するものはなし)
③診断年月日		7	診断結果	1:新発生確診, 2:治療開始後, 3:疑诊 「診断結果」の2:治療開始後の場合記載する。 ※初発(原発)がんの診断が貴院の場合 は貴院での診断年月日を記入				(変換するものはなし)

	※原発がんの診断が他施設の場合は 他施設での診断年月日および施設名 を記入	9	自施設診断日	診断年月日、手術年月日、初回手術年月日の中で一番 早い日を取りてくる。
記入	他施設名()	(項目なし)		
(④受診動機) 診断契機	(受診までの経過で該当するすべてに ○印)	(一つの区分を選択)		
1 任意の受診	1:がん検診	(項目なし)		
2 制度による検診	2:健康診断・人間ドック	広島：受診動機を、標準：発見経緯に置換え、 変換後、一番小さい数字を選択する		
3 任意の健康診断	(1に含まれる)			
4 検診での要精査	3:他疾患の経過観察中 (入院ルーチン検査を含む)			
5 自科でフォロー中	(3に含まれる)			
6 他病の医療施設、自施設他の診療 科からの紹介	4:剖検発見			
7 部検	9:その他(症状受診を含む)、不明			
8 その他	(項目なし)			
受診の際の自覚症状(有・無)	(該当するすべてに○印)	(一つの区分を選択)		
1 病理組織診断	1:原発巣の組織診			
2 細胞診	2:転移巣の組織診	広島 診断根拠を、標準：診断根拠に置換え、 変換後、一番小さい数字を選択する		
3 手術所見	3:細胞診			
4 内視鏡	5:臨床検査			
5 画像診断				
6 臨床所見	6:臨床診断			

	7 剥検			
	8 腫瘍マーカー			4:部位特異的な腫瘍マーカー
	9 その他()			9:不明
病理組織診断名	(病理検査を行った場合はその診断名を記入してください)	14 組織診断名 (該当するすべてに○印)	(登録室では、ICD-O-3-M でコード化(組織型、性状、分化度))	分化度は全て 9
⑤進行度	1 早期がん 2 上皮内がん 3 原発臓器に限局 4 隣接臓器への浸潤 5 所属リンパ節転移 6 遠隔転移 7 不明	13 進展度 (臨床進行度) 1:限局 3:隣接臓器浸潤 2:所属リンパ節転移 4:遠隔転移 9:不明	(一つの区分を選択) (項目なし)	広島進行度を、標準：進展度に置換え、 変換後、 $4 > 3 > 2 > 1 > 0 > 9$ の順で選択する 報告書には広島届出では必ずしも初発時の進展度が 届出されていない
	Stage(可能であれば病期を記入)		(項目なし)	
	1 手術(内視鏡的切除を含む)	16 外科的治療の有無 (初回治療の内容を記載)	1:有, 2:無, 9:不明 (初回治療の内容を記載)	① 今回治療、初回治療両方に手術日がある場合は 手術年月日、と初回手術年月日を比較し早い方の治療 を変換する。
⑥治療内容 (今回入院時行つたがんに対するすべての治療に○印)	(1) 手術日(西暦) (2) 術式 (3) 根治度； a 治癒切除 b 非治癒切除 c 非切除 d 不明	17 体腔鏡的治療の有無 (初回治療の内容を記載) 18 内視鏡的治療の有無 (初回治療の内容を記載)	1:有, 2:無, 9:不明 (初回治療の内容を記載) 1:有, 2:無, 9:不明 (初回治療の内容を記載)	② 今回治療と初回治療両方に治療コードが入っている 時は、初回治療のコードを変換する。但し、初回治 療が「無治療」のみ 1 の時は今回治療を変換する。 ③ 初回治療のみ治療コードが入っている時は初回治 療を変換する。 ④ 今回治療のみ治療コードが入っている時は今回治 療を変換する。
	19	外科的・体腔鏡的・内視鏡的治療の結果 (3) 根治度； a 治癒切除 b 非治癒切除 c 非切除 d 不明	1:原発巣完全切除 2:原発巣不完全切除 3:原発巣切除了治癒度不明 4:姑息/対症/転移巣切除 9:不詳	(初回治療の内容を記載)

	2 放射線療法	20 放射線治療	1:有, 2:無, 9:不明 (初回治療の内容を記載)
3 化学療法	21 化學療法	1:有, 2:無, 9:不明 (初回治療の内容を記載)	
4 内分泌療法	23 内分泌療法	1:有, 2:無, 9:不明 (初回治療の内容を記載)	
5 免疫療法	22 免疫療法・BRM	1:有, 2:無, 9:不明 (初回治療の内容を記載)	
6 対症療法	24 その他の治療	1:有, 2:無, 9:不明 (初回治療の内容を記載)	
7 その他（ ）		(項目なし)	
8 無治療			
	16 外科的治療の有 無	1:有, 2:無, 9:不明 (初回治療の内容を記載)	
1 手術(内視鏡的切除を含む)	17 体腔鏡的治療の 有無	1:有, 2:無, 9:不明 (初回治療の内容を記載)	
	18 内視鏡的治療の 有無	1:有, 2:無, 9:不明 (初回治療の内容を記載)	
(1) 手術日(西暦)		(項目なし)	
(2) 術式		(項目なし)	
⑥治療内容 (過去に治療の ある場合は、わ かる範囲で初 回治療につい ても記載)			
(3) 根治度； a 治癒切除 b 非治 癒切除 c 非切除 d 不明	19 外科的・体腔鏡 的・内視鏡的治 療の結果	1:原発巣完全切除 2:原発巣不完全切除 3:原発巣切除治癒度不明 4:姑息/対症/転移巣切除 9:不詳 (初回治療の内容を記載)	今回治療、初回治療で手術 (1), その他の体腔鏡治 療 (7-4), その他の内視鏡的治療 (7-6) のい ずれかが行われている時のみ変換する (標準3に変換するものはなし)
2 放射線療法	20 放射線治療	1:有, 2:無, 9:不明 (初回治療の内容を記載)	
3 化学療法	21 化學療法	1:有, 2:無, 9:不明 (初回治療の内容を記載)	

	4 内分泌療法	23 内分泌療法	1:有, 2:無, 9:不明 (初回治療の内容を記載)
5 免疫療法	22 免疫療法・BRM	1:有, 2:無, 9:不明 (初回治療の内容を記載)	
6 対症療法	24 その他の治療	1:有, 2:無, 9:不明 (初回治療の内容を記載)	
7 その他（ ）			
8 無治療		(項目なし)	
医療施設	施設名、診療科名、医師名 (項目なし)	医療機関名 1 名称 診療科	(診療科名、医師名は推奨項目)
	25 死亡日		

4. 広島県腫瘍登録データと地域がん登録標準登録票項目の対応表

広島県腫瘍登録 htr tissue		地域がん登録標準登録票項目		mst_area	ロジック変換
Field name	項目名	Field name	項目名		
sysid		1 sysid	登録者ID		
filename	ファイル番号 各データ内で重複は許されません。	2 seqno	登録順序		
res_no	登録受付番号 XXXXXX XX:01~60 YYYYYY:数字	3 hosp_code	医療機関コード		登録愛用番号上2桁を医療機関コードに置き換える
seq_no	順番	4 dept_code	診療科コード		医療機関科コード表に準ずる
sample_no	標本番号				null
pick_dt	採取年月 1973～現在,null(不明)	7 first_diag_dt	初回診断日		前医を含めた診断日
pick_df	日付けフлаг 0~5, 6(不明),9999	8 first_diag_df	初回診断日精度		nullは未収集(D:死亡票等)
hospital	病院コード 病院コード(hospcodeテーブルで定義), null:旧データ、不明:未確認	9 hosp_diag_dt	自施設診断日		自施設診断日精度
chart_no	カルテ番号	10 hosp_diag_df	自施設診断日精度		nullは未収集(D:死亡票等)
biopsy_ope	生・手 1:生検 2:手術 null	5 chart_no	カルテ番号		
multiple	Mu多発性 1:多発 null	11 motiv	免見経緯		1:がん検診 2:健診診断・入間ドック 3:他疾患の経過観察中(入院時レーチン検査含む) 4:専門検査 9:その他症状受診を含む)、不明
icdot	ICD-Oコード(icdotテーブルで定義)	12 icdot	原発部位コード		ICD-O-3局在(T)コード表に準ずる
leftright	左右 0:対器官ではない、1:左側 2:右側 4:両側 9:不明 (左右の区別無しも含む。)	14 leftright	側性		1:右側 2:左側 3:両側 9:不明
icdom	組織診所 ICD-Oコード(icdomテーブルで定義)	25 icdom	組織診断コード		①②以外、広島icdotをとする ②広島behavior 9→C809 ③①②の場合は合計 9 2の場合は合計 null 3の場合は合計 1→1 2→2 4→3 9→9 0→null null→null
behavior	性状 0~3, 6, 9	26 behavior	形状コード		ICD-O-3形態(M)コード表に準する
onc_rev	oncology 改定 1, 2, 3	27 grade	分化度		ICD-O-3形態(M)コード表に準する 0123→そのまま移行 6.9→3 9
grade	進展度	12 dx_result	診断結果		1:新生確診 2:治療開始後 3:鑑診 0:皮内 1:限局 2:所属 3:転移有り 3:隣接臓器への浸潤有り 4:遠隔転移あり 9:不明
suspect	疑診 転移 0:転移なし 1:肝・肺 2:肝・筋 3:臓器 4:不明 null				①広島behavior 2→0 ②広島metastasisが 0→1 1→2 2,3→3 4→9 null→9 但し、今回の変換は①のみ行い、①以外は全て9とする(9/2委員会で確認)
icd_gtp	診断グルーピング 原発部位	icdotgtp proc を使用して変換 icdotgtp proc を使用して変換			
icd_sgrp	診断品目グループ	icdotgtp proc を使用して変換			
prim	ICD-Oコード(icdotテーブルで定義) behaviorが6(転移)はnullでない、	28 conf	診断根拠		1:原発真の組織診 2:転移真の組織診 3:細胞診 4:部位特異的な腫瘍マーカー 5:臨床検査 6:臨床診断 9:不明
		15 c_stage	ステージ(治療前)		0:0期 1:Ⅰ期 3:Ⅲ期 4:Ⅳ期 9:不明
		16 ctnm_t	TNM分類 T		X:IX 0:10 is:Tis 1:11 2:T2 3:T3 4:T4 9:不明
		17 ctnm_n	TNM分類 N		X:NX 0:N0 1:N1 2:N2 3:N3 9:不明
		18 ctnm_m	TNM分類 M		X:MX 0:M0 1:M1 9:不明
		37 ltype	外科的治療の有無		1:有 2:無 9:不明
		38 lapa_thora	体腔鏡的治療の有無		1:有 2:無 9:不明

			39 t_endo	内視鏡的治療の有無 1:有 2:無 9:不明	null
			40 cur	外科的・体腔鏡的・1:原発巣完全切除 2:原発巣不完全切除 内視鏡的治療の結果 3:原発巣切除非治癒度不明 4:姑息/対症/転移巣切 除	null
			41 t_rad	放射線治療の有無 1:有 2:無 9:不明	null
			42 t_chem	化学療法の有無 1:有 2:無 9:不明	null
			43 t_immuno	免疫療法・BRMの有無 1:有 2:無 9:不明	null
			44 t_hormon	内分泌治療法の有無 1:有 2:無 9:不明	null
			49 t_other	その他治療の有無 1:有 2:無 9:不明	null
combi	組合せ	0~99, null			
res	居住地	町コード(machid)アラウ(定義)	6 machi	診断時住所コード 住所所コード表に準ずる	
tr_work	登録室作業用	1:summaryに採用 2:その他(良性含む) 9:旧データ、不明 null;未確認			
updtt	更新日日付	automatic			
			50 c_column	がん記載区分 1:1欄にがん、orその疑いの記載 2:1欄に頭蓋内の良 性腫瘍の記載 3:1欄に頭頸部の記載 4:1欄以外に頭蓋外のがん の記載 5:頭蓋内腫瘍の記載 6:1欄以外に頭蓋外のがん疑い の記載 9:不明既死にデータのみコード可、エントリー時は 不可	null
			51 option1	(文字列)	広島 biopsy_ope=2の時、pick_dtをとる。それ以外はnull。
			52 option2	(文字列)	
			53 option3	(数値)	手術日
			54 option4	(数値)	
			55 entry_dt	登録票受付日	
			56 entry_df	登録票受付日精度 nullまたは収集ID:死亡票等	
			57 entity_id	エンタリードの端末ID エンタリーアクセスされた時点での情報を履歴テーブルから得	
			58 serial_no	エンタリー時の識別番号 登録票受付日精度	
			59 source	資料原 R:届出票 S:採録票 D:死亡小票 M:追跡票 F:補充裏 O:その他	O:その他
			60 sumin_flg	集約フラグ 1~9:グループ分け1でつけた番号	null
			61 insdt	登録日時	
			61		

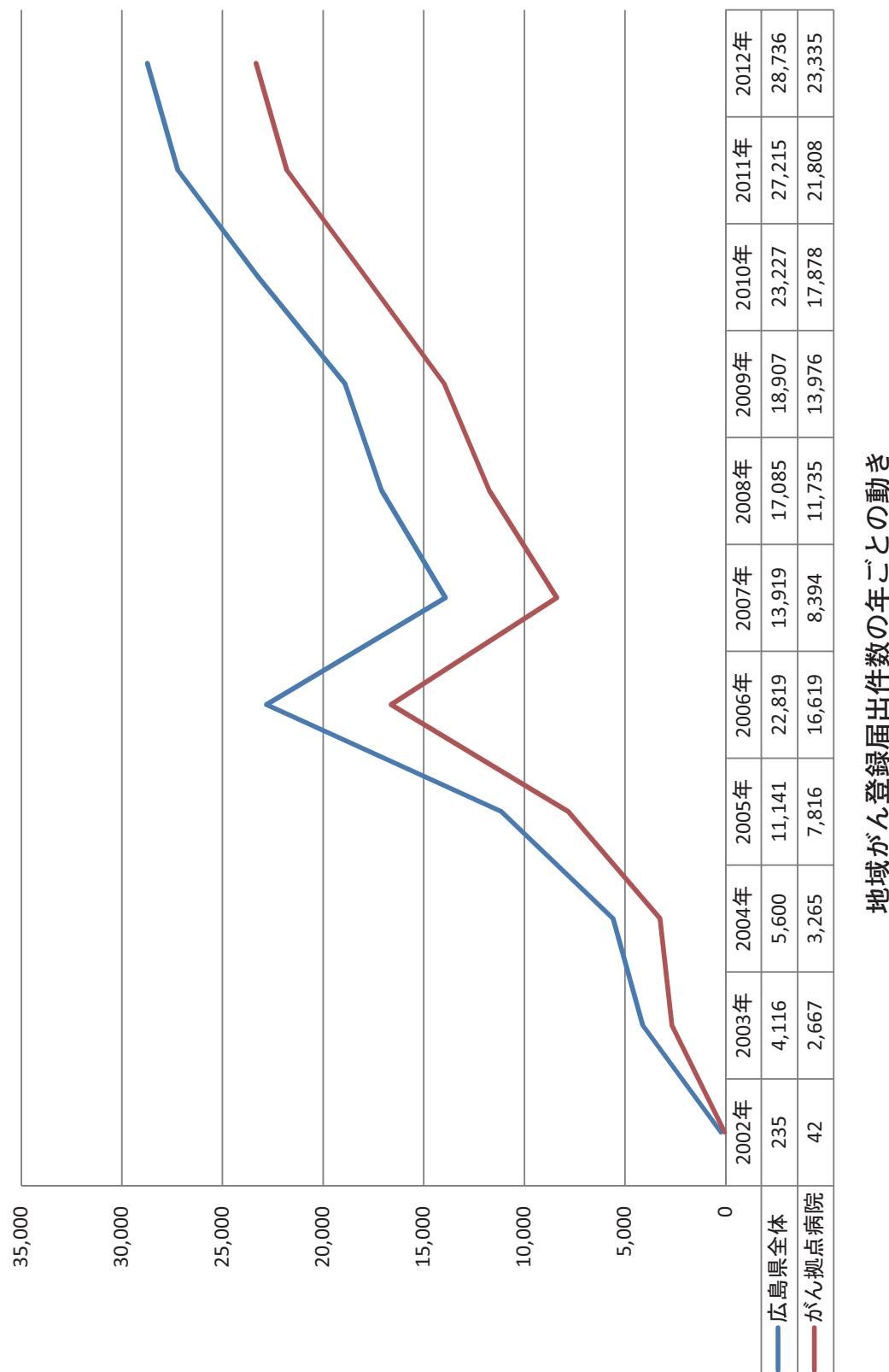
5. 広島県地域がん登録・広島県腫瘍登録届出施設

広島県腫瘍登録事業の件数については、広島県地域がん登録の登録票項目への変換が可能であつたものに限る。また住所の記載が無かったものについては、集計に反映されていない。

二次保健 医療圏	医療機関名	広島県 地域がん登録	広島県 腫瘍登録事業	合計
広島	広島大学病院	2,145	2,828	4,973
	広島市醫師会臨床検査センター	-	463	463
	広島市民病院	2,534	3,308	5,842
	県立広島病院	1,394	1,659	3,053
	広島赤十字・原爆病院	862	1,524	2,386
	広島記念病院	729	925	1,654
	マツダ病院	264	499	763
	広島鉄道病院	62	0	62
	中電病院	253	455	708
	広島大学歯学部口腔病理	-	60	60
	福島生協病院	37	93	130
	吉田総合病院	181	219	400
	広島大学原医研内科	-	87	87
	安佐市民病院	1,641	1,971	3,612
	シムラ病院	74	25	99
	安芸市民病院	12	56	68
	広島共立病院	144	153	297
	土谷総合病院	185	290	475
	吉島病院	137	208	345
	安芸太田病院	15	29	44
	済生会広島病院	152	281	433
	楳殿順記念病院	0	73	73
	五日市記念病院	14	40	54
	広島厚生病院	1	0	1
	八丁堀平松整形外科消化器科病院	0	10	10
	たかの橋中央病院	58	180	238
	広島大学大学院病理学	-	19	19
	広島通信病院	29	56	85
	広島市立舟入病院	3	46	49
	翠清会 梶川病院	0	4	4
	太田川病院	28	0	28
	光仁会 梶川病院	33	49	82
	高陽ニュータウン病院	0	16	16
	一陽会 原田病院	97	45	142
	広島三菱病院	5	35	40
	荒木脳神経外科病院	6	0	6
	野村病院	3	31	34
	日比野病院	0	1	1
	原対協 健康管理・増進センター	8	25	33
	広島中央健診所(岡本病院)	0	1	1
	河村内科消化器クリニック	7	45	52
	平松整形外科病院	0	2	2
	厚生堂 長崎病院	0	7	7
	長久堂 野村病院	0	4	4
	いまだ病院	0	1	1
	瀬野白川病院	0	1	1
	妹尾病院	1	1	2
	医療法人社団 林外科医院	0	2	2
	医療法人社団 古川医院	0	3	3
	岡田外科医院	0	2	2
	医療法人社団 石田内科	0	1	1
	河野産婦人科医院	0	2	2
	加藤内科胃腸科医院	0	2	2
	高橋内科小児科医院	0	3	3
	石田外科	0	15	15
	倉掛のぞみ園診療所	1	0	1
	たなか皮ふ科アレルギー科	0	1	1
	こどい内科クリニック	0	16	16
	かわもと皮ふ科	0	2	2
	中央通り乳腺検診クリニック	96	0	96
	香川乳腺クリニック	31	0	31
	中川外科胃腸科	11	0	11
広島西	広島総合病院	1,127	1,439	2,566
	国立病院機構 広島西医療センター	113	377	490
	メープルヒル病院	1	0	1
	廿日市記念病院	28	0	28
	佐伯中央病院	0	8	8

	国立病院機構 呉医療センター	1,717	1,750	3,467
	呉共済病院	726	850	1,576
	中国労災病院	523	946	1,469
	呉市医師会検査センター	—	52	52
	済生会呉病院	97	0	97
呉	呉市医師会病院	19	107	126
	呉中通病院	1	0	1
	呉みどりヶ丘病院	0	4	4
	前田病院	21	8	29
	後藤病院	0	5	5
	公立下蒲刈病院	0	5	5
	豊田内科胃腸科	0	3	3
	西亀診療院	0	1	1
	碓井サテライトクリニック	0	46	46
	国立病院機構 東広島医療センター	785	692	1,477
	井野口病院	43	57	100
	本永病院	33	64	97
	安田病院	55	94	149
	木阪病院	14	0	14
広島中央	東広島地区医師会臨床検査センター	—	15	15
	県立身体障害者リハビリテーション病院	0	3	3
	西条中央病院	17	0	17
	県立安芸津病院	6	56	62
	医療法人 楽生会 馬場病院	23	0	23
	土肥整形外科病院	0	1	1
	医療法人 かわの医院	41	0	41
	尾道総合病院	1,091	1,497	2,588
	三菱三原病院	65	76	141
	日立造船健保組合 因島総合病院	18	16	34
	社会医療法人 里仁会 興生総合病院	97	115	212
	尾道市公立みづぎ総合病院	49	88	137
	三原市医師会検査センター	—	7	7
尾三	土肥病院	4	33	37
	因島医師会病院	63	0	63
	三原赤十字病院	200	211	411
	尾道市立市民病院	471	547	1,018
	公立世羅中央病院	68	0	68
	三原市医師会病院	89	68	157
	松尾内科病院	14	0	14
	寺田外科クリニック	5	0	5
	中国中央病院	592	834	1,426
	国立病院機構 福山医療センター	928	1,322	2,250
	福山市民病院	1,103	923	2,026
	大田記念病院	7	0	7
	楠本病院	47	58	105
	セントラル病院	35	67	102
	福山第一病院	18	0	18
	日本鋼管福山病院	168	308	476
	神石高原町立病院	5	0	5
	府中北市民病院	21	0	21
	寺岡記念病院	113	0	113
	医療法人 賢仁会 松岡病院	0	3	3
	医療法人 秀明会 小池病院	15	0	15
福山・府中	七才病院	6	0	6
	医療法人 辰川会 山陽病院	0	23	23
	大石病院	0	1	1
	医療法人社団 沼南会 沼隈病院	0	13	13
	亀川病院	0	1	1
	小畠病院	0	180	180
	藤井病院	0	13	13
	井上病院	61	76	137
	うだ胃腸科内科外科クリニック	97	0	97
	いしいクリニック	62	0	62
	医療法人まこと会 クリニック和田	3	2	5
	福山市医師会総合健診センター	10	0	10
	福山記念病院	7	0	7
	市立三次中央病院	609	807	1,416
	庄原市立西城市民病院	0	9	9
備北	庄原赤十字病院	200	318	518
	三次地区医師会臨床検査センター	—	81	81
	三次地区医療センター	27	76	103
	医療法人社団 杏亮会 細川医院	0	1	1
県外	合計	17	0	17
	合計	23,028	30,231	53,259

6. 地域がん登録届出件数の年ごとの動き



<注> 2006 年まではがん患者の退院時に繰り返し登録を行っていたが、2007 年からは初回入院の時の退院時ならびに死亡時に限り登録することになった。

7. 広島県・広島市地域がん登録資料の相互利用に関する協定書

広島県・広島市地域がん登録資料の相互利用に関する協定書

広島県を甲とし、広島市を乙として、甲と乙は、それぞれが実施する地域がん登録事業において医療機関等から収集した罹患資料（以下「収集データ」という。）の相互利用について、次のとおり協定を締結した。

（目的）

第1条 広島県内において異なる主体により実施される広島県地域がん登録と広島市地域がん登録の収集データを相互に利用し、それぞれの登録を補完することで、より精度の高い地域がん登録として発展させていくことを目的とする。

（基本的事項）

第2条 甲及び乙は、それぞれの収集データを照合し、それぞれ地域がん登録で対象とする地域内の症例について、いずれか一方にのみ登録されているデータ（以下「相互利用データ」という。）が発見された場合は、データを持たないもう一方に対して当該データの利用を認める。

2 相互利用データは、原則としてそれぞれの地域がん登録事業の集計、解析等において、自らが収集したデータと同様に使用できるものとする。

3 相互利用する収集データは、この協定書の締結以前に収集・登録されたデータも対象とする。

（協定の期間）

第3条 この協定の有効期間は、平成21年8月1日から平成22年3月31日までとする。

2 前項の期間満了の日30日前までに、甲、乙いずれからも相手方に対して文書により異議の申出がないときには、この期間は、更に1年間延長するものとし、その後において延長した期間が満了したときも、同様とする。

（地域がん登録に協力する医療機関等への周知）

第4条 甲及び乙は、それぞれに実施する地域がん登録に協力する医療機関等に対し、この協定に基づいた登録データの相互利用について理解を求めるものとする。

（守秘義務）

第5条 甲及び乙は、登録データに関する個人の秘密を完全に保護し、個人に関する情報一切を漏洩してはならない。

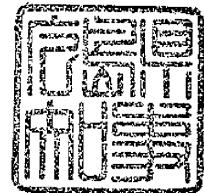
（疑義の解決）

第6条 この協定について疑義が生じた場合及びこの契約に定めのない事項で必要がある場合は、甲及び乙が協議して定めるものとする。

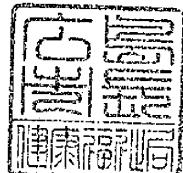
以上のとおり協定を締結したことを証するため、この証書2通を作成し、甲と乙が記名・押印をして、各自その1通を所持する。

平成21年8月1日

甲 広島県
代表者 広島県知事 藤田雄山



乙 広島市
代表者 広島市長 秋葉忠利



8. 広島県がん対策推進協議会がん登録推進部会委員名簿

平成24年度「広島県がん対策推進協議会」
がん登録推進部会 名簿

委員氏名	所属及び役職	備 考
有田 健一	社団法人広島県医師会 常任理事	
板本 敏行	県立広島病院 副院長	
梯 正之	広島大学大学院 教授	
鎌田 七男	財団法人広島原爆被爆者援護事業団 理事長	部会長
菊間 秀樹	広島県健康福祉局 医療・がん対策部長	
兒玉 和紀	公益財団法人放射線影響研究所 主席研究員	
臺丸 尚子	広島市健康福祉局 保健部長	
内藤 博之	社団法人広島市医師会 副会長	
畠中 信良	社団法人呉市医師会 副会長	
妙田 秀未	広島大学病院 報酬対策グループ 病歴管理室	
森木 康之	社団法人福山市医師会 理事	
安井 弥	広島大学大学院 教授	

(50音順)

9. 広島県医師会 地域がん登録運営委員会委員名簿

広島県医師会 地域がん登録運営委員会委員 名簿

役 職	氏 名	所 属
委 員 長	檜谷 義美	広島県医師会副会長
副 委 員 長	鎌田 七男	広島原爆被爆者援護事業団
委 員	峠 誠司	広島鉄道病院
委 員	内藤 博之	県立広島病院
委 員	今井 茂郎	呉共済病院
委 員	畠中 信良	呉医療センター・中国がんセンター
委 員	下江 俊成	福山市民病院
委 員	森木 康之	日本鋼管福山病院
委 員	劔持 雅一	中国中央病院
委 員	石川 哲大	尾道総合病院
委 員	向井 勝紀	三菱三原病院
委 員	石田 邦夫	厚生連廣島総合病院
委 員	多幾山 渉	安佐市民病院
委 員	万代 光一	東広島医療センター
委 員	立本 直邦	市立三次中央病院
委 員	杉山 一彦	広島大学病院
委 員	安井 弥	広島大学大学院分子病理学
委 員	小笛晃太郎	放射線影響研究所
委 員	平井 幸	広島県健康福祉局がん対策課
委 員	梶原 博毅	広島県腫瘍登録室
担 当 理 事	有田 健一	広島県医師会常任理事
副担当理事	柳田 実郎	広島県医師会常任理事

広島県地域がん登録システム推進事業実施要領

(趣 旨)

第1条 本県の効果的ながん対策の推進に資するため、県内で発生するがんの特性を把握し、予防活動の有効性及びがん医療水準の評価等を行うこととし、「広島県地域がん登録システム推進事業」を実施する。

(実施主体)

第2条 この事業は、社団法人広島県医師会、財団法人放射線影響研究所、広島大学大学院医歯薬学総合研究科及び県内の有床医療機関（以下「医療機関」という。）の協力を得て、広島県が実施する。

(事業)

第3条 この事業は、医療機関からの届出によるがん患者の情報を登録（以下「がん登録」という。）することにより実施するものであり、その業務内容は次のとおりである。

- (1) がん登録運営委員会の開催
- (2) 資料利用審査委員会の開催
- (3) がん登録推進会議の開催
- (4) がん登録届出票の印刷、発送及び受理
- (5) 収集データの入力、集計及び解析
- (6) 報告書の作成
- (7) がん登録の制度の普及啓発

(業務の委託)

第4条 県は、前条の業務のうち(4)～(7)について、委託により実施するものとする。

(がん登録の対象)

第5条 登録の対象は、県内に居住する者で、悪性新生物（悪性腫瘍）と診断された後、入院治療を受けた者とする。

(がん登録の方法)

第6条 別紙様式による「広島県がん登録届出票」（以下「届出票」という。）により、次のように個々の患者情報を登録する。

(1) 届出

ア 医療機関の医師は、県内に居住するがん患者が入院治療を受け退院した時点において届出票に所要事項を記載する。

イ 医療機関は、届出票を1か月毎にとりまとめ、翌月の末日までに委託機関へ郵送

(所定の封筒による)により提出する。

(2) 登録

委託機関は、届出票を受理し、個人情報の重複を避けるため氏名、生年月日、性別及び住所による個人を識別する作業(以下「個人同定作業」という。)を行った上で、登録を行うものとする。

(届出票の保存・管理)

第7条 届出票は、個人同定作業が終了した時点において、個人情報部分と臨床情報部分を切り離して別々に保存・管理するものとする。

(がん登録のシステム化)

第8条 がん登録の内容をより充実させ、より精度の高い情報とするため、厚生労働省の実施する人口動態調査の死亡小票及び死亡票(磁気テープ転写分)のデータ並びに広島県医師会が実施する広島県腫瘍登録事業の登録データをがん登録に取り込み、解析することとする。

(死亡小票及び死亡票の取扱い)

第9条 死亡小票及び死亡票は次のとおり取り扱う。

- (1) 死亡小票のうち悪性新生物やその他の新生物の記載のあるもの(別記のとおり)を抽出し、別紙様式第2号に転記する。(以下「転写票」という。)
- (2) がん登録で登録された個人(以下「がん登録患者」という。)とこの転写票とを照らし合わせ、両票が同一患者に由来するものか否かを確認し、別紙集計様式により登録する。
- (3) がん登録患者のうち死因ががんでない患者については、市区町村符号及び保健所符号、死亡した人の住所地、男女別、生年月日の4つの項目を用いて死亡票(磁気テープ転写分)から原死因を確認して除き、別紙集計様式により登録する。
- (4) 死亡小票及び死亡票のその他の取扱い方法については、別途定める。

(事業報告)

第10条 委託機関は、毎年、がん登録状況の集計及び解析結果について、県に報告するものとする。

- 2 委託機関は、前項の場合において、届出票を提出した医療機関に対して、当該施設に係る届出情報の集計結果を報告するものとする。
- 3 事業報告に当たっては、個人が特定されるおそれのある情報を含んではならない。

(結果の公表等)

第11条 県は、委託機関から報告された集計及び解析結果について年報にまとめて公表す

る。

(秘密の保持)

第12条 この事業に従事する者は、業務上知り得た個人情報を他に漏らしてはならない。

(その他)

第13条 この要領に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

附 則

この要領は、平成14年4月5日から施行する。

附 則

この要領は、平成15年7月17日から施行し、平成15年4月1日から適用する。

広島県地域がん登録システム推進事業 資料利用審査委員会設置要領

(目的)

第1条 がんの予防の推進並びにがん医療の向上及び評価を総合的に実施する体制を整備し、県民の健康保持・増進及び医療水準の向上に資するため、「広島県地域がん登録システム推進事業実施要領」第3条（2）に規定する資料利用審査委員会を設置する。

(協議内容)

第2条 この委員会は、地域がん登録事業において収集された登録情報の利用に関する事項について基準を定め、当該申請に係る登録資料の利用の可否について協議する。

(構成員)

第3条 この委員会は、別表の区分ごとに団体から推薦された委員等で構成し、委員の中から委員長1名及び副委員長1名を互選する。

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期については、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任を妨げない。

(事務局)

第5条 委員会の事務局は、広島県健康福祉局がん対策課に置く。

附 則

この要領は、平成15年3月4日から施行する。

附 則

この要領は、平成15年5月7日から施行し、平成15年4月1日から適用する。

附 則

この要領は、平成20年10月10日から施行し、平成20年4月1日から適用する。

附 則

この要領は、平成23年4月27日から施行し、平成23年4月1日から適用する。

別 表

構 成 団 体 等	
1	社団法人広島県医師会
2	広島大学大学院医歯薬学総合研究科病理学
3	財団法人放射線影響研究所
4	学識経験者
5	広島県健康福祉局

広島県地域がん登録資料の利用手続要項

(目的)

第1条 本要項は、広島県地域がん登録事業における登録資料の利用手続について定める。

(定義)

第2条 この手続きは、当該施設以外の登録資料を研究目的で利用する場合について定めるものである。

(利用の申請)

第3条 登録資料を利用しようとする者は、広島県健康福祉局長に、広島県地域がん登録・広島市地域がん登録資料利用申請書（様式第1号）を提出する。

(利用の基準)

第4条 登録資料の利用申請があるときは、広島県健康福祉局長は、広島県地域がん登録システム推進事業資料利用審査委員会（以下「委員会」という。）に当該申請に係る登録資料の利用の可否について諮る。

委員会は、以下の基準に照らし、協議する。

- (1) 登録資料の利用が、がん予防対策及びがん医療水準の向上に寄与するものであること。
- (2) 利用する登録資料が、利用目的を達成する上で必要最小限度の範囲内のものであること。
- (3) 申請者は、登録資料の適正な使用と適切な管理を行うことができる。
- (4) 申請者は、研究実績及び目的達成の研究能力と研究遂行に必要な手段を持つものであること。
- (5) 別表各号に定める事項のうちいずれかに該当するものを含む登録資料を申請しようとする申請者は、申請者が所属する機関での倫理委員会あるいは類似の審査を経たものであること。

(申請の承認)

第5条 広島県健康福祉局長は、委員会の協議結果を受け、申請者に次のとおり回答する。

- (1) 登録資料の利用を承認した場合は、申請者に広島県地域がん登録資料利用承認書（様式第2号）を交付の上、資料を提供する。
- (2) 前条の規定により登録資料の利用を承認できない場合は、申請者に不承認の理由を付して通知する。（様式第3号）

(利用条件の付与)

第6条 広島県健康福祉局長は、登録資料の利用の承認に当たり、利用の方法、範囲等について条件を付することができるものとする。

(利用に関する責務)

第7条 申請者は、受領後の資料の取扱いについては、広島県地域がん登録資料受領書（様式第4号）及び誓約書（様式第5号）を提出するとともに、以下に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 申請書に記載された目的以外に資料を利用しない。

- (2) 申請書に記載された資料の利用期間及び利用方法を厳守する。
- (3) 結果のいかなる公表においても、個人を特定する情報を明らかにしない。
- (4) 結果の公表を行った場合、学会発表抄録、論文別刷等を広島県健康福祉局がん対策課へ提出する。
- (5) 資料の利用期間が終了した場合、あるいは資料が不要となった場合は、直ちに広島県健康福祉局がん対策課へ返却する。
- (6) 資料に関わる全ての機密保持について遵守する。

2 広島県健康福祉局長は、登録資料提供記録（様式第6号）により、提供の状況を把握する。

（その他）

第8条 この要項に定めるもののほか、必要な事項は、委員会で協議の上、別に定める。

附 則

この要項は、平成15年5月12日から施行する。

附 則

この要項は、平成18年3月6日から施行する。

附 則

この要項は、平成20年10月10日から施行し、平成20年4月1日から適用する。

附 則

この要項は、平成22年4月14日から施行し、平成22年4月1日から適用する。

附 則

この要項は、平成23年7月20日から施行し、平成23年4月1日から適用する。

附 則

この要項は、平成25年2月1日から施行する。

（別表）

- 1 生年月日
- 2 死亡年月日
- 3 単一及び複数の情報の連結等で個人を特定することが可能であると広島県健康福祉局長が認めるもの

(様式第1号)

広島県健康福祉局がん対策課	受付	平成 年 月 日	No.
広島市健康福祉局保健部保健医療課	受付	平成 年 月 日	No

広島県地域がん登録・広島市地域がん登録資料利用申請書

平成 年 月 日

広島県健康福祉局长様
広島市健康福祉局长様

申請者 施設名
所属及び職名
氏名 印
住所
電話番号

広島県地域がん登録・広島市地域がん登録事業に係る資料を利用したいので、承認してください。

新規・継続の別	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続 広島県(前回承認:平成 年 月 日／承認番号:第 号) 広島市(前回承認:平成 年 月 日／承認番号:第 号)		
研究課題			
研究目的			
研究方法			
共同研究者氏名 及び所属機関名			
必要とする 登録資料 1~4の項目について、該当する内容の □に○及び()内に 具体的に記載して ください。	1. 対象の 範囲	<input type="checkbox"/> 広島県全域 <input type="checkbox"/> 広島市 <input type="checkbox"/> 特定の地域 []	
	2. 部位	<input type="checkbox"/> 全部位 <input type="checkbox"/> 特定の部位または組織型 []	
	3. 性状	<input type="checkbox"/> 悪性 <input type="checkbox"/> 上皮内がん <input type="checkbox"/> 良性(脳・脊髄・髄膜のみ)	
	4. 診断年	年 ~ 年	
	5. 資料の 入手方法	<input type="checkbox"/> リスト形式(固定長・CSV・MS Excel・MS Access) <input type="checkbox"/> その他具体的な事項[]	
資料の利用期間	平成 年 月 日～ 年 月 日 (基本的に1年とします)		
倫理委員会等の承認	年 月 日 承認番号 第 号		
所属機関の長承認欄 (倫理委員会等がない場合のみ)	上記の申請については、所属機関の長として承認します。 所属機関名 所属機関長名 印		

- 1 別表に定める登録資料を申請しようとする場合は、倫理委員会等の承認を取ってください。倫理委員会等の承認機関がない場合は、所属機関長の承認を取ってください。
- 2 別添の「地域がん登録詳細定義」及び研究計画書を添付してください。

(様式第2号)

が対第 号
平成 年 月 日

様

広島県健康福祉局長
〒730-8511 広島市中区基町10-52
がん対策課

広島県地域がん登録事業に係る資料の利用について（通知）

平成 年 月 日付けで申請のこのことについては、（次の条件を付して）承認します。

(様式第3号)

が対第
号
平成 年 月 日

様

広島県健康福祉局長
〒730-8511 広島市中区基町10-52
がん対策課

広島県地域がん登録事業に係る資料の利用について（通知）

平成 年 月 日付けで申請のこのことについては、承認できません。

（理由）

(様式第4号)

広島県地域がん登録資料受領書

広島県地域がん登録事業に係る資料を、広島県健康福祉局 承認番号
が対第 号により受領しました。

資料の利用に当たっては、別紙誓約書の各事項について遵守します。

平成 年 月 日

広島県健康福祉局長様

施設名
所在地
受領責任者
所属及び職名
氏名

印

(様式第5号)

誓 約 書

広島県地域がん登録事業に係る資料を利用するに当たり、個人情報の秘密保持のため、次の事項について遵守します。

- 1 資料から知り得たいかなる情報も他に漏らさない。
- 2 資料から知り得たいかなる情報も厳重に管理保管する。
- 3 資料から知り得たいかなる情報も申請書の目的以外に使用しない。
- 4 資料利用期間が終了した場合、あるいは資料が不要となった場合は、直ちに返却する。

平成 年 月 日

申 請 者
住 所
所属及び職名
氏 名
電 話 番 号

印

広島県健康福祉局長様

(様式第6号)

登録資料提供記録

申請年月日	提供年月日	承認番号	資料名	施設名 所属・職名	氏名	返却年月日	備考

広島県のがん登録（平成22年集計）

平成25年5月31日 発行

編 集 広島県医師会地域がん登録運営委員会
〒733-8540 広島市西区観音本町一丁目1番1号
TEL (082)232-7211

発 行 広 島 県
社 団 法 人 広島県医師会
公益財団法人 放射線影響研究所

印刷所 レタープレス株式会社
〒739-1752 広島市安佐北区上深川町809番地の5
TEL (082)844-7500
